

(二)施設

1.個人指導

早晚前講話 午前四時—同六時 毎月一回

夏季早晚實習 同

深夜座談 午后十一時

冬季勞作實習 塾教育未設

2.團體指導

自勵會

組織 役員 會長一名 副會長一名

各部長一名 係 二名

事業

學藝部 文集發行 意見發表 研究會 講演會 活動寫真

風紀部 風紀一切

運動部 運動・競技・武道

經濟部 會計・經濟調査

産業部 畑作部 水田部 園藝部 養畜部 農産加工部

庶務部 庶務 會議 記録

奉仕部 奉仕作業 豫定立案施行

3.青年訓練指導方針

一、聖勅を奉體し青年訓練所令により當校教育方針の下に青年の心身を鍛鍊して國民たるの資質を向上せしめ

ることを期す

二、青年訓練に於ては特に青年の心身を鍛鍊し其の志氣を振作し其の性格を剛健ならしむるため左記指導綱領により各職員率先熱心努力身を以て指導の任に當る

1. 團體觀念を明徴にし忠誠の赤心を涵養す (忠節)

2. 堅忍持久・進取敢爲・獻身奉公の志氣を旺盛にす (武勇)

3. 規律・節制・服従・恭儉の精神を養ふ (禮儀)

4. 義務心並に責任觀念を養ひ協同團結の精神を鞏固にす (信義)

5. 質實剛健の氣風を旺盛にす (質實)

(三)教練の指導要領

1.教練指導の要訣

イ、教練の目的精神を充分に理解せしむること

ロ、生徒に對する觀察と理解とを充分にすること

イ) 青年心理の一般的特質に適應すること

ロ) 郷土の一般的特質に適應すること

(生業・人情の長短・文化)

ハ) 境遇並に個性に適應すること

ハ) 自ら青年の先頭に立ち燃えるが如き愛と熱と誠意と澁潤たる意氣とを以て薰化すること

2.指導計畫

イ、教練系統 ロ、各學年別指導案作製

ハ、各學年別月別年度計畫表並實施表

ニ、月別・日別指導案 ホ、日案

3.指導の一般的順序

イ、目的精神の指示

平易明瞭簡單 適切なる事例の引用

郷土社會生活指導に意を用ふ

ロ、示範 指導員若しくは高學年生徒を使用し示範且つ實施法概要を説明す

ハ、分解教授 動作を分解して授く

ニ、綜合教授 要領を大體會得したる後綜合して授く

ホ、反覆練習

ヘ、應用 應用動作を訓練す

4.實施上に於ける諸注意

イ、自信 教材研究 指導計畫 準備を充分にして自信を以て教授す

ロ、服裝並に衛生検査 教授開始に際して行ふ

ハ、助教助手の訓練並分團式相互教育の徹底を期すること

ニ、時間の尊重 時刻嚴守並に活用

ホ、操典の精神に従ひ熱心を以て整正嚴格に實施し常に活氣に充ち溢れること

(四)養護

一、方針

衛生思想の涵養に努むると共に體操・教練・競技・武道により體育自強自育の精神を養ふ

二、施設

1. 體操・教練・競技・武道を課す

2. 遠足・行軍・露營

3. 衛生講話

第八章 後援會

全部落を以て後援會を組織し學校を援助す

第九章 各種團體との連絡

一、青年團 各部と連絡協調す

二、在郷軍人 教練指導援助

三、婦人會 講習講演會社會奉仕連絡協調

四、部落組合 實行組合青年部係と連絡協調す

本校經營に就いて

石狩郡參泉實業補習學校

渡部 乙吉

一、實業補習學校を經營するに如何様に立案すべきか

1. 實業補習學校規程第一條に明示せる即ち實業補習學校は

小學校の教科を卒へ職業に従事するものに對し職業に關する知識技能を授けると共に國民生活に必要な教育を爲すを以て本旨とす。との規程を服膺して

2. 郷土に立脚して

(1) 郷土の一般状態を斟酌して、家庭状態、青年の生活状態

二、郷土の一般状態より攻究して

(1) 規程された學科と共に人間教育の上に最も大切な徳性の涵養並に情操教育に努力し殊に我日本國民固有の傳統的歴史的の精神文化(國民性)を強調し涵養す斯の涵養のため必要缺くべからざる歴史の如き音楽の如き科目も閑却せず規程の各學科と共に授け斯の如くしてこの確固たる不拔の眞の人生觀職業觀及處世觀に生きる良農民を養ふことを得るものでなからうか

三、農業精神即ち眞實推進力

農業教育本来の目的であるべき効果的・能率的・恒久的農業者の根本推進力であるべき眞實精神農業觀念即ち其職業務に對する信念信仰なるものを進めるべきものでなからうか

四、我國史に閃ける眞實思想

然らば如何にしてこの缺陷を補修し得るか他なし我國建國尊農の大精神より歴代天子の勸農尊農の御詔勅御

事歴を知らしめて尊農的愛國心を養成すべきである此の意味に於ては天祖天照大神が既に農神であり御歴代の御政治が尊農愛農の御精神御發露に外ならぬ我國史の如き光輝あるものは世界廣しと雖も何れにあるであらうか到底他の追従を許さぬものである

我國史こそ幾多の活教育資料を供給するものと云はねばならぬ

五、農業愛即郷土愛 (省略)

六、音楽と眞情操の陶冶 (省略)

(以下省略)

萌別農業青年學校の實相

勇拂郡萌別農業青年學校

下田孝一

一、概観 (省略)

二、緒言

最近實業補習教育の叫が高くなつて参りましたので早晚此の地方にも實現せられるであらうと豫想致して居りました時恰も本年二月當支廳管内小學校長會議に際して

現在の經費を以て實業教育振興に關する具體案如何と云ふ御諮問がありまして其の時に實現の前提と直觀致し

ました而して若し私の學校にも設けられたなら經營上餘程考慮を要するなあと考へたのでありますそれに對する私の答申の一節に

實習は須らく校下に進出すべし

實習指導は從來の學校園も或は生徒の自案に依る家庭の一坪農業も可であるが私は作業場を校下に進出せしむることを望むのである方法は幾らもあるであらうが一般家庭の田園納屋厩等を實習場としていふ事が出来たならば實習地の狹隘や資料の不足に苦しむ事も比較的緩和され且其の教育は實際的に良結果を得ること疑ないと信ずる。

要するに實業教育の目的は知識教育のみでもなければ現實的な勞働教育でもなく然りとてまた收益のみを目標とした能率一點張りの教育でもないと考へる吾々の望むのは遠大な理想を持つて正しく社會に活動し得る訓練教育に在るのである。

と斯様に理想を申したのでありますが愈三月二十四日附を以て指令が下りた時は多少狼狽の氣味であつたのでありますが見に角やらなければならぬ併し羊頭狗肉に墮するも本意でない適當な方案もがなと苦心をして居りました然るに四月十五日當支廳管内實業補習學校長會議が開催せられまして色々御指示を受けました關係當局の御意見等も承りまして自分の取つて以て進むべき方針も略立てることが出来たのであります何としても五十名の児童を收容する單級を受持つて居るのでありますから差當り

1. 前期後期を複式取扱ひとせず同時同教材を以て單式の如く取扱ひ度し如何のものにや
2. 單級小學校に實補を設置したる場合の適當なる教育方法を同度し
と質疑した次第でありました、其後村内校長會議も屢々開かれまして次の如く協議が成立つたのであります。

(一) 學級編制

2. 前期後期を合併して複式學級とす
課程は前期一二年を同一教材とし後期一二年を同一教材とし各期二ヶ年循環完結す
2 高等科は四ヶ年を合併して一學級とし學科は同一教材とし四ヶ年循環完結す

3. 教練は前期後期を合併して同一教材とし高等科を合併して同一教材とし高等科を合併して同一教材とし四ヶ年循環完結す

(二) 教科程度 略す

(三) 教授時間割編制方 略す

(四) 教授の時期

晝間教授を本體とす 補充の場合は夜間とす
一三三三の期を利用して十分
教授を進行すること

自學の獎勵 教材を多分にして自學を獎勵す
五、以下略す

三、實際

爾來此の方案を基として教授して参りました以下其の實際に就いて斷片的に私見を加へて申述べます。

- (一) 前期後期は同時同教材によりて單式的取扱を爲すを可とす
- (二) 授業日及授業時間は移動式となすこと
- (三) 實習・教練・體操以外の教科は農閑期に夜間教授をなすこと
- (四) 教材には今日の内外の動きを多分に採入れること
- (五) 實習
 - 1. 實習地 一反歩(借地料一圓五十錢)
 - ア、區分 四班に分つ 各班に同種の作物を付く
 - イ、作物 本年度 燕麥 小麥 馬鈴薯 大豆 クロ
 - バー
 - 種子は全部村農會の手を経て購入(膽振の獎勵品種)
 - ウ、作業 播種より收穫迄全部生徒の手に依る
 - エ、指導 教師・農會技術員・篤農家
 - オ、收穫物 希望者に分與の見込

カ、結果 生徒及校下の聲

馬鈴薯 うちでも來年はあれを播きたい
燕麥 うちで作つて居るのよりよい
大豆 粒は小さいがきれいだ

2. 堆肥場 二坪(小學校と共用)

ア、設置 實習地の圍堆肥場等の設置は一切教師生徒
イ、指導 教師・農會技術員
ウ、結果 生徒の家庭には全部設置
一般家庭にも及ぼす

3. 職員

當校の囑託教師は青年訓練所當時より引續いて居るの
であります。が實習指導は勿論時には自ら馬車を追うて
材料の購入・運搬等をもしてくれま

四、結び (省略)

學校施設經營方案

勇拂鴨川家政女學校
目黒未譽至

(A) 經營方針

一、女子本來の任務に鑑み裁縫家事に重點を置かしめ銳意

研究せしめんことを期す

- 二、各科教材は合科的取扱の方法を一層有効適切ならしむべく最善の方法を講ず
- 三、日本女性の實際的建設を期す
- 四、教育の實際生活化を圖り郷土の事物と密なる聯絡を圖り且つ日常の生活に連繫を保つべきこと
- 五、女子は將來家庭の教育者として立たざるべからざるに
より教育に對する知識を相應に具備せしむべく方法を講ず
- 六、教育環境の整理につきては小學校と相俟つて女子青年
教育的に其の方法を講ず
- 七、教材の簡易なるもの及び平易化する記述法等により自
學を命じ家庭に於て研究せしめ答案提出の方法を行ふ
- 8. 農閑期の招集方法を講ず
- 八、家庭を訪ひ父兄青年に接するの機會を多くし教育の連
繫徹底を圖る。期日は大體小學校の家庭訪問日と一致し
て行ふ
- 九、郷土の一藝一能を網羅し教育機關を擴充すると共に教
育の氛圍氣をして郷土に渾然たらしむることを期す
- 一〇、小學校兒童との連繫を密にし相倚り相助けて研究を
進ましむ

(B) 各科教授方針

- 一、修身科 (省略)
- 二、裁縫科 (省略)
- 三、家事科 (省略)
- 四、實業科
 - 1. 各種蔬菜果樹の栽培法實習
集約的經營法 品種選擇 栽培法 病蟲害驅除豫防法
 - 2. 農産加工の實習を課すること
 - 3. 肥料の造成を實習すること
肥料の殘滓 鶏糞の集積 堆肥 木灰
 - 4. 家禽の飼養
養鶏 自給自足の方針
 - 5. 牛羊兔の飼育 搾乳加工
 - 6. 花卉類の栽植 鑑賞 庭園
 - 7. 一家農業の組織的經營方法
農業標語 土地を肥せ
 - 五、國語科 (省略)
 - 六、算術科 (省略)
 - 七、圖畫科 (省略)
 - 八、躰操及唱歌科 (省略)
 - 九、公民科
一家一村本道國家等其公私生活に對する常識識見を養ひ
明白なる生活をなさしむると同時に之を愛し之に奉ずる

の心を養ふ

公民教育事項

- (a)
- 一、我が家 二、親子親族 三、戸籍相續 四、財産所有權 五、職業 六、生徒 七、一家の生計 八、保健と衛生 九、教育 一〇、婚姻 離婚 一一、家族制度
 - 一二、神社 一三、寺院 一四、木村教育の機關 一五、青年團 一六、愛國婦人會 鴨川委員會 一七、日本赤十字社 鴨川分會 一八、警察署 一九、村役場 村政 二〇、村會議員選舉 町村會 二一、農會 二二、産業組合 二三、土功組合 二四、農事實行組合 二五、郵便局 二六、在郷軍人分會及後援會 二七、消防義會後援會 二八、火防衛生組合 火防衛生婦人會 二九、北海道農産物検査派出所 三〇、贈振畜産組合 三一、運送社 三二、登記所 三三、道路 三四、鴨川村體育協會 三五、鴨川村勢の概観 三六、鴨川村の沿革 三七、農村と青年

(b)

- 一、我が家 二、天皇 三、臣民 領土 四、立憲政治 五、帝國議會 六、國務大臣 樞密顧問 七、行政官廳 八、裁判所 九、國法 一〇、立法司法行政 一一、犯罪 刑罰 訴訟 一二、債權 債務 保證 抵當 一三、強制執行 一四、陪審刑務所 少年裁判所 一五、交通

一九二

- 一六、國防 一七、國交 一八、我が國の産業 一九、經濟の原理 二〇、産業の合理化 二一、海外發展 二二、我が國の財政 二三、世界に於ける日本の地位 二四、教育關係系統 二五、北海道勢の概観 二六、思想問題

階級的思想、社會運動及正當なる理解

二七、社會施設

(C) 精神鍛練方施

- 一、至誠一貫明朗なる心を持ち捧愛和順すること
- 二、向上心に燃え不斷的研鑽をなすこと
- 三、經濟心を持ち勤勞節約利用の態度を充實すること
- 四、健康第一を深念し常に營養及鍛練に努力すること
- 五、信仰心を有し強く且つ知安の生活をなすこと
- 六、土地を肥すの精神を持すること
- 七、趣味に生きる事
- 八、内省を怠らざること

(D) 實施事項

(一) 日本女性日誌

- 一、意義有る人生の行途に歩を進むべく一定の目標を設け内省しつつ進行せしむるために此の日誌を定む
- 二、記載事項は精神鍛練方針と一致し日日の生活に實現したることを記録す

(1) 日誌事項

イ、月 日 天候 精神鍛練の各項

(2) 家計録

イ、目的 家計録習慣の養成 經理の見識を養ふ

ロ、記載事項

1. 毎月の收支豫算の想定(五大家族)

2. 生活費の實際調査

イ、私の衣食費

ロ、一家の醫療費

(二) 花園の設置

小學校と合同にて行ひ情操教育を行ふ

一、純花壇的經營をなす

二、生花盛花材料の自給を兼ね該材料の栽植をなす

三、毎日一回は必ず花壇を巡覽し觀賞除草を行ふ

(三) 野の花採集日

一、野の花採集を行ひ平原に花を訪ふゆかしき情操を養ふと共に生花實習の用に供す

二、身軀の健康のために行ふ

(四) 家政文庫の設置

一、自發的讀書の習慣を養成するために之を設置せり

二、備付書籍種類

- 一、本校に對する社會の認識生徒各自事業の價值認得並に實習材料費調達のために行ふ
- 二、種類
 - 裁縫手藝品

- 1. 精神教育書
- 2. 裁縫手藝に關する書
- 3. 作法書
- 4. 料理農産加工等に關する書
- 5. 育児看護に關する書
- 6. 實業に關する書
- 7. 和歌俳句
- 8. 娛樂の種類
- 三、文章日誌を備へ讀書せし書の名を記載せしむ
- 四、書籍目錄を備付く

(五) 動物の飼養

一、副業獎勵、混同農業建設基礎、情操陶冶を目標とす

二、飼養動物 鶏 兎 緬羊 蜜蜂 牛

三、小學校と合同して之を行ふ

四、日を定めて飼養に任せしむ

五、毎日一回は必ず飼育場を巡覽せしむ

(六) パサー實施

一、本校に對する社會の認識生徒各自事業の價值認得並に實習材料費調達のために行ふ

二、種類

裁縫手藝品

農産加工品 其他

三、年一回之を行ひ時期は年毎に考慮す

(七)和の日

一、郷土愛即ち和を實行す

二、來賓招待

各部落に互り招待者に深甚の考慮を拂ふ

苟も策略的行爲を弄せず

三、敬老的に之を實施す

四、生徒同志會食親睦す

五、材料は大躰自給方法を採る

(八)堆肥テ

一、大地を肥すは農の根本なり此の原理を躰験せしむ

二、毎年五月より十月に至る期間毎月二回之を實行す

三、生産せし堆肥は蔬菜栽培の實習、生花材料の栽培に活用せしむ

(九)實習

一、料理實習材料として農産加工材料として栽培せしむ年度毎に計畫す

二、小學校實習地内に之を設置す

(一〇)教育實習

一、家庭教育者としての實質を具有せしむべく教育實習を行ふ

二、兒童は小學校入學前の兒童を適當招集して實行す
三、科目は修身 算術 國語 唱歌 等とす

(二)身體検査

一、毎年五月一月の二期身體検査を施行す

二、方法小學校のものに準ず

學校施設經營方案

勇拂郡鴨川農業青年學校

目黒未譽至

經營の方針

1. 日本精神に立脚し經濟更正の第一線に立つ有爲の青年たらしむることを期す。精神鍛練方針による。

經濟と國防の二なることに鑑み左記二點に重點を置きて其の達成を期す。

1. 土地を肥せ

2. 軍事教養を練れ

2. 教育の實際生活化を圖り郷土の事物に密接なる聯絡をはかり日常生活に連繫を保つべきこと。

3. 教育環境を整理す、小學校と相俟つて男子青年の教育的に其の方法を講ず。

4. 小學校と連繫を密接にし相倚り相扶けて研究に進ましむ。

5. 郷土の一藝一能を網羅し、教育機關たらしめ教育の氛圍氣をして郷土に渾然たらしむ。

6. 家庭に於ける研究修養の方法を講じ不斷の向上を圖らしむ。

7. 家庭を訪ひ父兄に接するの機會を多くし教育の連繫徹底を計る。

精神鍛練方針

1. 肥土の精神を充實すること、堆肥生成を圖らしむ。

2. 健康第一を深念し常に體育に心掛けしむ、體操實施。

3. 經濟心を持ち勤勞節約利用一家の振興に邁進せしむ、家業精進。

4. 向上心に燃え不斷の研鑽に努むること。

5. 至誠一貫の生活態様に徹底すること。

6. 捧愛協調進取敏活時間勵行の良風を建設すること。

7. 趣味に生くること。

8. 信仰心を啓培し清く且つ知安の生活をなすこと。

實際施設

一、實習地

1. 農業經營の研究をなすこと。

2. 通學區域内各部落に設置す。

3 各班試作方針を確立せしむ。

4. 堆肥場を附設す。

5. 學校農會巡回指導に任ず。

6. 成績を審査し評賞狀を授與す。

二、動物の飼育

1. 動物愛護の精神を涵養す。

2. 飼育動物、牛・羊・兎・蜜蜂・鶏。

3. 小學校と相助けて飼育に任ず、飼料の一部を整ふること。

4. 本校草刈場を設備す。

三、實業文庫

1. 農業に關する事項の研究をなさしむ。

2. 備付書籍は主として農業に關する書とし普通科及軍事及娛樂的の書籍雜誌類。

3. 文庫誌を備へ讀書者の氏名及讀書事項を記載せしむ。

4. 文庫書籍目錄を備付く。

四、自治班

1. 自治的訓練及校外統制のために自治班を設く。

2. 自治班は部落別により八班とす。

3. 各班は協議會を開き實行事項を審議勵行す、年二回(又は臨時)全班の總會を開き統一を圖る。

4. 班の協議は自治的とし職員參列す。

5. 自治班誌を備へ協議事項並に實施狀態を記録す。

五、入所出席の奨励

- 1. 村役場は青年團に依頼毎年二月入學年令該當者の調査をなす。
- 2. 村長は入學年令該當者に對して入學勧誘をなす、右入所勧誘書は青年團長及農事實功組合長に依頼し督勵を請ふ。
- 3. 學校は不入學者に對し訪問督勵す。

- 4. 出席督勵も亦大要右に準ず、尙自治班によりて班長及び生徒相互にて勧誘す。

六、身體検査

- 1. 毎年二期身體検査を施行し健康の促進をはからしむ。
- 2. 検査要項は小學校に準ず。

七、農業日誌

- 1. 農業經濟上の基礎的研究として農業日誌記載の習慣を養ふ。
- 2. 記録事項左の如し。

- イ、月日、天候(晴・曇・風・温度)
- ロ、作物の播種期・發芽・手入收穫。
- ハ、施肥の狀況。
- ニ、反當收穫及結果の考察。
- ホ、數區劃により特に研究記載せしむ。

八、清淨デー

- 1. 淨化精神の養成をなす。

- 2. 小學校の道路清淨デーと連絡し毎月一回之を行ふ。
- 3. 淨化デーを施行すること左の如し。

- 家の内外の清淨整理。
- 小學生と合同して道路の清掃。
- 4. 職員は巡回奨勵す。

九、和の日

- 1. 和の精神湧起のために此の日を設く。
- 2. 家政女學校と合同して實施す。

- 3. 實施事項左の如し。

- イ、會食。
 - ロ、研究、一つ話し餘興。
 - ハ、來賓を招待す。
- 村役場關係者其他公職有志老人等より適當に招待法講ず。

ニ、料理

實習地産物により家政女學校生徒料理に任ず。

一〇、成績考査

- 1. 日常の成績によりて考査す。
- 2. 十點法とす。
- 3. 毎學期毎に成績考査簿に記録す。

我校施設經營の實際

爾志郡明和實業青年學校

壘 規矩 郎

(一) 教育方針

村相から歸結して本村青年教育上最も力を注ぐべき點は

- (1) もつと村を開發し産業の振興を圖り住民の經濟生活を潤澤にしなければならぬ
- (2) もつと積極的な發展性を持つ明るい朗らかな人物にしなければならぬ。

右の二點であるが更に國家的時代的情勢及學校独自の使命をも考慮して教育の根本目標を左の如く定める。聖旨を奉體し昭和の新時代に應ずる智徳を高め漁民精神を堅持する有爲なる若き乙部村民を養成せんとす。

而して之が達成を期すべき方針として

- 一、國體觀念の涵養に努めると共に敬虔感謝の精神養成に精進する。
- 二、郷土に立脚して教育の實際化生活化を圖り以て郷土の發展を期する。

(二) 教員の信條

本校職員は信條として左の五ヶ條を遵守せんことを期する。

- 一、聖旨を奉體し常に穩健中正なる思想を以つて生徒指導の任に當るべし。
- 二、當校職員は漁村に於ける補習教育の目的精神を體し誠實熱心に生徒教養の任に當るべし。
- 三、青年期にある生徒の心理状態に徹し環境を究め情意の交流を密にし個性に應ずる適切なる指導をなすべし。
- 四、常に自己の修養に努め高き理想に生きよ。

(進み行く人のみ人を教ふる資格あり)

- 五、口舌を以つて説かんよりは寧ろ身を以て示せ。

(理窟言ふひまに汗を流せ)

(三) 組織 (省略)

(四) 教 授

A 一般方針

- 一、教材は十分精査して授け且之を練つて應用的能力を高めることに努むると共に飽く迄徹底を期し生徒に満足を得せしめるやうにすること。
- 二、常に青年心理の研究と理解とに努め個性を尊重し自發的創造的活動を促すこと。
- 三、生徒に接するには親切同情を以てすること。
- 四、教授は郷土に出發して郷土に歸結せしめ實地有能の智能たらしむること。
- 五、各科の連絡を緊密にし無駄を省き重複を避くること。
- 六、實習實驗を重んじ且つ記帳の習慣を作ること。

(各科の方針省略)

B 施 設

(各項の説明省略)

- 1. 教授細目の編纂
 - 2. 教授資料の編集
 - 3. 郷土室の設置
 - 4. 揭示教育
 - 5. 自省箋
- 教科教授要目・出席状況・其他一目瞭然たらしめた自省箋を用ひ、生徒の自省に供すると共に保護者

(五) 訓 練

A 方 針

- 1. 青年期の心理を洞察し教師自ら活模範を示し生徒の全人格養成に努める。
- 2. 生徒の環境・個性に留意し常に温き同情を以て慎重なる指導をなす。
- 3. 生徒の人格を尊重し自治的訓練の達成に努める。
- 4. 青年期の訓練は特に道徳的・職業的・公民的の三方面より考へ、各方面の施設が連絡提携以て全人格を陶冶し有爲なる郷土住民の養成に資す。
- 5. 本校訓練の目標として
 - イ、敬虔感謝……主として道徳訓練
 - ロ、流汗勞作……主として職業的訓練
 - ハ、協同責任……主として公民的訓練
 尚ほ、女子部には右の外に

との聯絡を圖る。

- 6. 定期或は随時に學藝會及講演會を開催す。
- 7. 随時討論會又は座談會を開催す。
- 8. 毎年一回、水産・農産製造加工品評會を開催す。
- 9. 毎年一回裁縫手藝展覽會並にバザーを開催す。
- 10. 定時或は随時修學旅行並に各種の實習及び見學等を實施す。

『明るく』温かに『淑かに』まめくしく』

B 施 設

1. 國體觀念の明徴

- イ、毎回始業前朝禮式並夕禮式を行ひ奉安所禮拜皇大神宮遙拜・適當なる訓話をなし聖國の精神に觸れしめ敬虔感謝の念を養ふ。毎週月曜日には國旗掲揚式を行ふを通例とす。
- ロ、祝日には黎明、校庭に參集して國旗掲揚式を行ひ奉置所前にて國歌を奉唱し奉祝の式を擧げる。但し女子部は小學校の拜賀式に合同する。

2. 敬 神 崇 祖

- イ、祝日の擧式後、歸宅前、各字の氏神に參拜す。
- ロ、漁撈實習に依り得る魚は進んで氏神に供饌せしむ。

3. 愛郷心養成

- イ、郷土に保有せらるゝ史蹟名勝・天然記念物等調査蒐集し愛郷精神の涵養に資す。
- ロ、郷土史傳の人物及先輩中模範行爲の人物を訓話資料とする。
- ハ、毎年一回、村の統計を調査せしめ正しき理解に基づく愛郷心の養成に資す。

4. 尊 漁 精 神

(六) 養 護

護

- 1. 海祭及船祭の實施
 - イ、海祭及船祭の實施
 - ロ、海の神祕に關する資料蒐集
 - ハ、海並に漁業に關する迷信の指導
- 5. 自治精神
 - イ、級長・副級長 最上級の生徒より互選せしめ學級の統率をなさしむ。
 - ロ、班長・副班長 學區毎に之を置き出席督促と校外風紀取締りに當らしめ且、學校よりの傳達・其他の勞に當らしむ。
 - ハ、研究委員 高等科の上級生を主班として漁撈・製造・養殖の特殊研究をなさしむ。
 - ニ、文藝委員 生徒の作品を印刷し一般に配布、新聞・雜誌の購讀、學藝會・辯論會の開催、文庫・書籍・貸付・整理等の任に當らしむ。
 - ホ、體育委員 野球俱樂部・卓球俱樂部・水泳俱樂部其他各種競技の分班を統整し、且運動會・競技會・行軍等の諸計畫を掌る。
 - ヘ、自治會及役員會 定時或は随時に生徒自治會を開催各段に互り研究討論し且隨時委員會・役員總會等を開く。

A方 針

1. 先づ生徒各自に體育の必要感を促し自ら身體的修養に努めんとする自覺を持たしめること。
2. 青年期の生理上に留意し各方面の運動を課し身體各部の均齊的發達と體位の向上を期する。
3. 精神鍛鍊に重點を置き質實剛健堅忍持久の精神を養成せんとする。

B 施設

1. 積極的方面
 - イ、基本的學校體操の實施
 - ロ、ラヂオ體操の普及獎勵
 - ハ、各種競技の普及獎勵
 - ニ、武道並に教練の實施
 - ホ、青年運動會の開催
 - ヘ、青年競技會(陸・水)の開催
 - ト、遊戯並に民踊の指導獎勵
 - チ、登山及行軍演習
2. 消極的方面
 - イ、體育指導の講演會並映畫會開催
 - ロ、衛生的方面の講演會開催
 - ハ、定時並隨時身體検査施行
 - ニ、早起會大和働の獎勵
 - ホ、營養並家庭生活の改善指導

(七) 出席督勵

- 一、間接的督勵
 1. 趣旨普及徹底
 - 〆、體重表、武道・競技の進級表、其他一般競技の記録を公示すること
 - ト、漁撈音頭の實施獎勵
 2. 後援會の組織

青年學校後援會を組織し趣旨の普及徹底を圖ると共に各役員をして出席督勵の任に當らしむ。
 3. 母の會の組織

母の會を組織し趣旨の普及を圖ると共に各役員をして出席督勵の任に當らしむ。
 4. 兒童督勵團

青年學校生徒を兄・姉として有する小學校兒童をして督勵團を組織せしめ出席勸誘の援助をなさしむ。
 5. 生徒門標

各家庭の入口前に門標を掲げ生徒の自覺を促すと共に他面出席督勵の便に供す。
- 二、直接的督勵

1. 自省箋

出席日數、各科の受講時數、教科目其他の事項を一目瞭然たらしめた自省箋を用ひ、保護者との聯絡を圖り出席督勵に資す。

2. 通學班組織

校下一圓を十班に區劃し各班毎に班長一名・副班長二名を置き風紀取締をなさしむると共に出席督勵の任に當らしむ。

3. 出席名札

各教室毎に出席名札板を置き出席の狀況を一目瞭然たらしめ出席督勵の資に供す。

4. 精勤證並精勤章

別に内規を定め精勤證を授與すると共に豫定時數以上授業を受けたるものに對しては精勤章を附せしむ。入學以來卒業に至るまで六ヶ年間の精勤者にして特に成績佳良の者に對して特別表彰を行ふ。

5. 班賞

班全體の出席良好にして何等の事故等の發生を見ざる優秀班に對し獎勵旗を授與し表彰す。

(八) 出稼青年の指導

當村青年の大多數が出稼又は奉公するの現狀に於て、其の指導は青年教育上最も重大なる問題である。

教育者がこゝに關心を有することは青年の單なる知育・德育指導の教育上の問題であるのみならず、その實生活に浸潤するところの社會政策への積極的進出を意味するものである。

これこそ眞の意味に於ける教育の社會進出でありこの達成こそは教育の最高最終目的の實現である。

A 指導原則

- 一、經濟生活の確立 (省略)
- 二、剛健中正なる思想の確立 (省略)

B 指導具體案

- 一、經濟生活確立の方面
 1. 地方各種産業組合の發展に資する指導
 - イ、産業組合・漁夫供給組合等の内容の理解
 - 〇 組合の發展によつて出稼先の漁業をその手に經營し、各出稼人の生活を潤澤にすること。
 - 〇 地方産業を統制し、其の發展を期すること。
 - 〇 優良産業組合等の事業經過調査
 - 〇 出稼先事業經營をなすつゝある組合の成績研究
 - 〇 其他内容の調査
 - ロ、計画的個人經濟觀念の養成

豫算生活(家計簿使用)
 2. 仕込制度から脱却する指導
 - イ、自主的精神の養成
 - ロ、計画的個人經濟觀念の養成

- 現在 擬銃二六 手旗四五 ゲートル五〇 ラッパ二二
 指揮刀二 飯盒七
 3. 青訓大會參加 4. 忠魂祭參拜行軍
 5. 入所出席の奨励(方法前項にあり)
 1. 計畫左の通り
6. 青年訓練の講讀 7. スキーの奨励
 五、産業施設
 部落の現状を察し餘剩勞力の經濟化に力む。即ち加工方面
 養殖方面に意を注ぎ部落更生の手段をはからんとす。

月	項目	要旨
四	航海術	コンパス(羅針儀)の使用 法と各部の名稱 水温、海の深、潮流、 ブ拉克トン調査して延 縄の實習 魚肥製品の比較研究と魚 油の良否研究
五	漁撈	各種建網見學と構成法 鮮味淋干の製造 鳴戸ワカメの製造
六	航海	發動機船を使用しコース の練習並 水温、水の深さ、潮流 ブ拉克トン調査
七	航海	海圖の使用法 練雲丹、雲丹霰、泥雲丹製

月	項目	要旨
八	漁撈	海洋を調査し 鮪延縄研究 鮪建網研究 (當地にて未だ發達せぬ 鮪漁業を特に研究したい)
九	漁撈	海洋を調査し 鮪漁業研究、網の保存 法とその原料調査 ハマナスシヤム製法 磯掃除、投石法(昆布) 磯の愛護心を養ひたい
十	漁撈	延縄、手繰網の實習 敷昆布、昆布佃煮製造
十	漁撈	海洋調査し 鮫釣の實習 大鯖節、燻製鮫 タンポ焼蒲鉾

製 造	月 二	月 十	月
	品評會	養殖	製漁
味付海苔	青年學校、小學校、村有志の研究せる水産品評會	海苔發生研究とその養殖法 蒲鉾類製法 ホツケ燻製	大鯖流網研究 開講會 烏賊塩辛製造 鱈味淋干 村婦女の休暇を見て當地に適した製造加工の講習會を開きたい
研 發 表	月 一	月 一	月 一
	各種の水産業について研究發表と論文提出	製漁	海洋調査し 鱈實習 鱈味淋干 ロールドミンダヒ 鱈味噌製造
味付海苔	柔魚針の製法	海苔製品と比較研究	柔魚粕漬 雨柔魚利用法

製 造	月 二	月 三
	映画	漁撈
味付海苔	並通興業映画を排して産業上知識智能を養成する映畫を道廳より借入れ僅かばかりの下足料を徴收しこの料金を水産實習費とする	海苔製品の比較研究 柔魚針の製法
研 發 表	月 一	月 一
	各種の水産業について研究發表と論文提出	各種の水産業について研究發表と論文提出
味付海苔	並通興業映画を排して産業上知識智能を養成する映畫を道廳より借入れ僅かばかりの下足料を徴收しこの料金を水産實習費とする	海苔製品の比較研究 柔魚針の製法

2. 盛業期の巡回指導
水産科教員を先達とし全職員労働服にて自ら體驗す。
(後略)

當校の施設經營に就て

桧山郡江差實業青年學校

名達 孫 一

A 教育の基調

- 一、教育の理想 (省略)
- 二、郷土に立脚 (省略)

三、職業に關する智能を啓發す (省略)

四、青年教育 (省略)

B 教育の目標
一、理想に燃ゆる青年 (省略)

二、よりよき郷土を建設する青年 (省略)

三、確固たる江差魂を持つる青年 (省略)

C 教育の方法
發動的 研究的 創作的 生徒中心
その方法として
1. 分團研究

4. 今後の實習計畫

計畫種別	着手完成豫定年度	經費支途	備考
實習地擴張	十一年度 三反歩完成		新築實習(校地)
堆肥場設置	十一年度 三反歩完成		農會の指導を得て實習豫定
農産加工	十年度着手		實習地生産品を主として
温床増設	十年度完成	實習地收益金	本年度内に材料は作成の豫定
綿羊蕃殖	十年度着手	實習地收益金	牝一頭十年度拂下の豫定
兎舎建設	九年度完成	實習地收益金	現在羊舎に二坪増設豫定
牛の飼育	十年度着手	實習地收益金	飼育研究目的に最初牝の當才一頭購入豫定

女子實業補習教育經營の實際 二二三

茅部郡鹿部實業專修學校

高橋次四郎

一、本校設立の理由

1. 駒ヶ岳爆發と本村の慘害
2. 本村の復興と教育制度改廢
3. 高等科廢止計畫と實業補習教育
4. 男子青訓充當と女子通年制實補教育開始

二、本校女子部の實際

1. 本校設立趣旨
 2. 學則
 3. 本校の特色
 4. 本年度豫算
 5. 本校教職員
 6. 學級及生徒
 7. 教授時間割
 8. 受持學科別
 9. 教科書圖書
 10. 昭和八年度實施の技能科の成績と其の功程
- イ、和裁・洋裁・手藝の細目とその進度表
ロ、和裁・洋裁・刺繻・編物の成績と統計
ハ、水産科教授の内容

11. 昭和九年度に於ける技能科及特殊施設と其の教授要項・時數

- イ、和裁・洋裁・手藝
ロ、産婆擔當教授要項
ハ、水産科教授要項
ニ、運針基礎練習表
- 三、本校女子部の特色
1. 郷土を中心とし漁村更生中堅女子の養成を目的としたる實業補習教育
 - 近き將來に於て男子も高等科を廢止して實業補習教育施設の豫定
 2. 授業料の一切不徴(前後期を通し四ヶ年共)
 3. 本年度豫算 二〇二五圓
 - イ、給料 一六二〇圓
ロ、雜給 一七五圓
 - ハ、需用費 二三〇圓
 4. 資格教員の採用配置
 - イ、裁縫科・手藝科の専任 二 (東京女子美術専門學校卒業)
 - ロ、水産科擔當専任 一 (北大水産専門部卒業)
 - ハ、普通學科擔當者 三 (兼任小學校訓導)
 5. 特別囑託又は講演講話
 - イ、篤志家・體験者・古老
ロ、村醫
 - ハ、産婆
ニ、各種産業指導者
 6. 専用教室 二ヶ

更に本年中一教室増築の豫定

7. 郷土にて編纂せる教科書使用
イ、算術教科書
ロ、鹿部村郷土讀本
- ハ、鹿部村水産讀本
8. 教材の選擇考究と廢物利用の實用實習
 9. 技能科に於ける教材配當と進度表の比較揭示
 10. 運針基礎練習表の公示と指導
 11. 水産科として海濱指導と校外教授
 12. 家庭副業の奨励と講話講習
 13. 本校後援會の組織と活動
- 四、女子部特殊施設の一二
1. 水産科擔當教員の採用方に關し漁業組合との連繋の妙味並に鹿部村水産教本の原稿完成迄の經過
 2. 運針基礎練習表
- 前期後期各學年共毎月末「一分間」に於て個人別に實施調査
目標……長さ針目數同一なるべき事

月別	前期			後期		
	標準	長さ	針目數	標準	長さ	針目數
四月	三五cm	三六cm	三八	五〇	五〇cm	五六
五月	四五	四六	五五	七〇	七八	七八

二	月	一	月	二	十	月	一	十	月	一	十	月
上旬	下旬	十五日	三日	一日	上旬	十四日	中旬	十一日	十日	上旬	三日	旬
		第三學期 新年宴會 同窓會	元始祭 新年宴會 同窓會	四方拜(拜賀式)		義士講 冬期休業		蠅蟲驅除デー 青年記念日 新嘗祭(休業)	國民精神作興詔書下賜記念日		明治節(拜賀式)	
成績品展覽會準備	課外講演 書道展覽會 始業式、父兄懇談會		歌留多會		第二學期成績考查 講話會お伽會 書初練習 第二學期終業式 年末大掃除		衛生講話 課外講演 令旨奉讀式(聯合青年團) 新嘗祭講話 自治講話會 音樂會(女子青年團主健)		展覽會(女青)準備 音樂會(女青)準備 奉讀式		課外講演 煖爐取付火防注意	
新入生徒募集	月末統計、全欠報告				月末統計、全欠報告 家庭通信 學期末統計		月末統計、全欠報告		來年度教育費豫算調査		月末統計、全欠報告	

月	三	月
上旬	六日	十一日
中旬	三日	二十三日
下旬	二十七日	紀元節(拜賀式) 新年祭
	國際聯盟離脫詔書下賜	
	成績考查(學年末) 學藝會(小學校) 講話及修養會 講話會 前日講話 成績品展覽會 謝恩會、同窓會	雪中運動會 神社參拜 學藝會準備 課外講演
	學年末諸帳簿整理 學年末統計 學年末統計 新學年準備 生徒募集	卒業生職業紹介 月末統計、全欠報告

(後略)

實業補習學校生徒入學出席に
關する研究

札幌郡江別第二實業補習學校

鈴木常作

實業補習學校入學率並出席率の向上に關して

一、小學校卒業生を直ちに實業補習學校に入學せしむること。

1. 小學校卒業以前に於て、上級學校入學希望者、他に轉出する者、其地方に居残つて家業に手傳ふ者等を調査し之等に對し實業補習學校入學勧誘をなす。

(前略)

- 2. 小學校卒業前に實業補習學校を十分に理解せしむ。
- 3. 小學校卒業後直ちに實業補習學校生徒として召集し。入學式……紹介式……親睦會等開催
- 4. 實業補習學校としての目標・事業・計畫等打合
- 二、實業補習學校同窓會設置
 - 出身者を以つて組織し母校の發展の爲努力せしむると共に會員相互の親睦を圖り特に入學及出席督勵の任に當らしむ。
 - 三、小學校父兄會……青年訓練後援會 或は出來得れば實業補習學校父兄會を設立し此理解と入學・出席其他の援助を受く。
 - 四、農事實行組合其他各種團體と密接なる連絡を圖り實業補習教育の正しき認識を得、斯道進展の爲援助を受く。
 - 五、通學區を數組に分ち其の組々に對して入學並に出席狀況を傳達す。
 - 揭示板利用 出席成績傳達簿
 - 六、青年の心身發達程度に留意すること。
 - 1. 青年の心理を了察し之を善導する。
 - 2. 青年各自の修養向上は自己自身の爲であると共に將來有爲なる郷土人となり善良なる帝國々民たることを自覺せしむ。
 - 3. 卒業者に對する優遇の方法
 - 七、家庭に於て入學並に出席獎勵に就て
 - 1. 實業補習學校に於ける指導事項は可成的實生活且實業的訓練をなさしめ生徒をして實際家庭に實行せしむると共に常に之が巡廻指導をなす。
 - 2. 生活改善に資すべき事項を指導し實際家庭に於て改善實行をなさしむ。
 - 3. 一家の平和と幸福と繁榮を圖らしむ。
 - 4. 家庭實習地を設置し 作物・果樹・蔬菜等を栽培せしむ。
 - イ、地方主要農作物たること。
 - ロ、抽出 立毛 實物 品評會
 - ハ、勤勞の習慣養成と貯蓄心の涵養
 - 要するに善良なる家庭の一員として立派に働き得る補習生徒を作り上げ、更に一家の中堅となり活躍なし得る者たらしめんとす。
 - 八、實業補習學校職員
 - 1. 自己の尊き職を自覺し専心一意斯教育の爲努力の覺悟を要す。

- 2. 斯教育に關する研究と施設を考慮し特に郷土の調査に力を注ぐこと。
- 3. 時々家庭訪問をなし入學の勸誘出席の督勵をなすと共に實業に對する指導をなすこと。
- 九、實業補習學校施設經營 (特に入學出席成績向上に關するもの)
 - 1. 出來得る限り獨立 又は獨立校舎 獨立教授室 (圖書館兼用)
 - 2. 通年制 冬期制 或は 晝間 夜間
 - 3. 地方の事情により開校期及教授時日を考慮し最も適切な方法を選ぶ。
 - 4. 一通學區域を數組に分ち移動教授をなす。
 - 5. 入學情況生徒出席狀況を圖表となして要所に掲揚す。
 - 6. 適切なる娛樂に關する研究。
 - 7. 學校實習地を設けて地方主要農作物の栽培研究せしむると共に左記方法により地方産業改發並に職業に對する正しき理解と趣味を養成せんと努む。
 - イ、地方産業改發へ
 - ロ、地方主要作物の栽培 土地・肥料・播種・畦巾・床間・施肥等に關する研究
 - ハ、實習地を嚴正に分ち各區毎に實習係長並に副長を置き。
- 栽培に關する萬般に就て計畫を樹立せしめ區員助け和合協力して一年間に於ける實習の成績を擧げんことに努力せしむ。
- 二、實習收益の利用方法
 - 實業補習學校生徒の參考書購入
 - 罹災者に對する校としての見舞金
 - 視察見學旅行(修學旅行)旅費
 - 優良農具 種苗購入
 - 學校研究材料 機械等の購入
 - 講習費用 其他
 - ホ 農産加工の獎勵と試食會
- 斯くして補習學校に興味を有せしむると共に職業に對する研究と改善をなさしむ。
- 一〇、授業料の輕減或は免除
 - 一一、部落・町村に於て、入學獎勵に關して適當なる方法を講ずること。

粟等を栽培し土地の立體的集約利用法等

ロ、農産物加工の

農産物生産の適期を期して農産物の加工實習をなし
試食を行ふ。

(2) 家庭實習

生徒各自家庭に就き實習畑の一定方案を指導樹立せし
め巡回をなして對談臨場指導をなす。

(3) 委託實習

適當なる時期に實習上参考となるものあるときは當該
農家に委託し教員立會の下に各種實習を行ふ。

(4) 農業經濟演習

農閑期を利用し農産物市場を調査せしめ又販賣、購入
農事實行組合事務の見習、農業生産費の計算等の演習
をなさしむ。

(5) 特殊技術者の囑託指導

各種農業技術中特に堪能なる技術を有するものあると
きは之を囑託し實習指導を受けしむ。

14. 講習會講話會の開催

農業各般の事項に就き農閑期を利用し講習講話會を開
催し聴講せしむ。

15. 通信教授

農業行事中特に必要なる事項に就き之れが解説を騰寫

刷となし通信を行ひ指導す。

16. 揭示教授

各種農業試験成績、其の他必要なるものを教室に掲示
し教授の補助となす。

17. 見學旅行

農閑期を利用農業各般に就き参考となるべき個所を見
學し又見學旅行をなす。

18. 卒業生指導

指導方針

1. 既習知識技術の復習、擴充
2. 新知識技術の附與
3. 有爲有能なる農民への發展援助

施設

(1) 個人指導

農繁期、農閑期、家庭を訪問し又通信により農業各般
の知識技術の指導をなす。

(2) 集合指導

農閑期を利用し學校に集合せしめ學科並に技術の新知
識を授く。

(3) 見學指導

適期を見計ひ農業經營上参考となるべきところに教員
引率の上見學をなす。

(4) 農業相談部の開設

卒業生の爲農業相談部を設け農業各般の相談に應ず。

(5) 實習實驗用具の使用並に標本室の閲覧許可

卒業生にして農業各般の中特に實驗實習を行はんとす
るものに對し用具、藥品の使用を許し又標本室の閲覧
を許可す。

(6) 研究の指導

農業各般の中特に研究をなさんとするものに對し種々
なる助言便宜を與へ指導す。

農業家庭實習の施設に就て

上川郡西神樂實踐女學校

岡部 藤吉

一、家庭實習地設置の理由

1. 學校に於ける教育は生徒の家庭生活を善導することに目
標を置き度い。殊に農業勞作は生徒が家庭に於て日夕營
むところであるから此の家庭作業を農業實習に充當して
學校に於ける教育の時間を他の指導に用ひたい。
2. 自分の畑といふ觀念から興味も多く努力もする。
3. 學校實習よりも生徒にとり實習し易い。
4. 學校實習は適當の教師なき場合兎角成績が上らなす。

二、實習地

1. 面積、一人十坪を標準とする。
2. 作物、蔬菜類を主とする。
3. 家庭に實習地を得られぬ者には學校の實習地を使用せ
る。

三、實習計畫

1. 實習地の分與につき父兄の諒解を求める。
2. 生徒の住所分布圖を作製する。
3. 種子の準備。
4. 立札の準備。

四、指導の方法

1. 冬季間栽培法を教授する。之がために専門家、實際家を
講師に囑託せる。
2. 栽培設計書を作らせる。雛形は學校で作る。
3. 栽培日誌を書かせる。
4. 巡回指導をする。二回位。

六、成績處理

1. 品評會を開催する。

審査して優良者を表彰する。
2. 試食會を行ふ。兼て蔬菜料理法の研究をする。

八、連絡
村役場勸業部 村農會 産業組合 農事實行組合 學校後援會と連絡提携して事業の遂行につとめる。

本校農業教育の概要

上川郡神居青年學校
阿部 長 信

- 一、青年教育に於ける農業教育論 (省略)
- 二、郷土農業の基本調査
農村其のものに直接した獨自性を強調する爲めには、農村農業の實態を足場にしなければならぬ。自村の農業の實態をながめ、將來如何に進まねばならぬか、如何なる點に改善を要するか、如何なる方面に努力を要するかを指導者も生徒自身と共に現實を見窮め批判を下す時始めて理解と自覚が湧き立つものであり、従つて指導の原據が発見され其の實績を挙げ得るものと思ふ。……出來得る限り指導者と生徒との共同調査をする。……

A 郷土農業の基本調査要綱
一、自然的狀態

- 郷土の位置面積
- 地勢地質土性
- 土壤の肥瘠反應
- 水(水利水質反應)
- 氣候(平均溫度・晴雨・霜雪の始終・降水量・暴風雨)
- 天産物等の調査
- 二、經濟的状況
- 市場の距離交通の難易
- 交通機關運輸
- 市場の廣狹
- 主要農産物の時價平均價
- 販賣の方法
- 農場需要品の時價購入の狀態
- 勞力の供給勞働契約賃銀の状況金融の狀態

B 郷土農業の經營調査要綱

- 一、郷土農業の沿革
- 時代の變遷農村の盛衰
- 土地利用法の變遷農業士木水利
- 二、郷土農業統計
- 土地資本勞力の統計
- 作物統計家畜統計
- 建物統計
- 主要生産費目統計
- 三、農業組織の状況
- 1、自作小作大小農の程度地主小作人の關係
- 農場規模の大小及面積の状況農場經營の平均面積
- 2、粗放農業約農の程度農民の勤惰状況
- 3、耕種組織の状況
- 主要作物の耕種法主要作物反

當收獲高輪作連作の状況

ニ、養畜組織の状況 家畜の種類及飼育法

ホ、副業組織の状況

農業生産(農産製造)の状況 農業手工、林業水産の状況

四、農家經營及生活の狀態

農事改良の狀態 農家經營法の巧拙 生活様式

農業住宅の状況 農民人格の狀態

五、農業獎勵機關の利用

農業教育機關 村農會の状況 農業基礎團體の状況

産業組合の發達 農業金融状況 農業警察の状況

農業教育を受けたる人員程度

六、郷土に於ける産業是の調査

七、郷土に於ける農家年中行事の調査

三、郷土調査に依る實習指導例

農村に於ける實業補習教育は、郷土の調査を基準にして教材を選択し、實習を指導し、訓練上の施設をなし、所謂彼等青年の實生活に即して教育するやうに改善することが、今日の農村補習教育に於ける改善上最要の問題と思ふ。次に其の指導を記す。

一、町村の移出入品の調査と實習指導

實習指導上郷土調査を土臺にして行ふべき事項の第一として申して見たいことは町村の移出入の調査をなさしむることである。部落部落に於て買入れる品物と賣出す品物を調査する。品物の名前と數量と價格との調査が十分に出來てゐる程結構だと思ふ。斯様に調査させたならば其の中で、買入れてゐる品物で自給し得べきものは、どんなものがあるかを研究させる。これは相互に調査した表によつて研究すればよい。さうして其の結果によつて實習の上に力を注ぐやうに工夫すれば郷土農業の改善に即した、生きた活力ある實習指導が出來ると思ふ。

例。購入品(移入品)

實習指導

- 金 肥
- 自給肥料の増産(堆肥綠肥實際)
- 味噌醬油
- 味噌醬油の製法指導
- 草履、箒及藁細工品
- 箒草の栽培藁細工の指導
- 漬物及其他の加工品
- 農産製造の實習指導
- 販賣品(移出品)
- 米雜穀類
- 經濟的增收の研究指導

二、勞力の分配調査と實習指導

郷土調査の第二として勞力の分配調査を生徒にやらせるのも一案であると思ふ。之は自分の家の調査もやり、部落としての調査もやる。之などは一村全體としての

調査は家と部落とを主臺としての調査がよろしい。補習學校生徒の通學區域別又は實行組合單位に調査することも一策であると思ふ。

其の調査が出来たらかういふ風に勞力の配當の状態がなつてゐるが此の勞力の分配から見ても尙ほ餘剩勞力がかなりある。此の餘剩勞力の利用についてはどうすれば最も宜いかと言ふことの研究からして、實習指導事項の決定が矢張り起つて来る。

三、土地利用の調査と實習指導

次に土地利用の調査と實習指導 田は如何様に利用されてゐるか、(畦、水路土手等)畑は如何、山林は如何、荒蕪地は如何、宅地は如何、……と言ふやうなことを實習指導事項とする。

例、1、宅地の利用による農業實習

宅地の周圍に風防林をつくることによつて植樹の實習が出来更に果樹等を植栽することによつて果樹栽培の實習が自然の中に出來生産的にも益する點が多く、又宅地の美觀を増すことが出來、趣味養成の上にも與つて力があると思ふ。
2、畑地の利用による農業實習
燕麥と荳科の牧草と混播することによつて肥料の研究

究が出来收穫の増加が工夫せられる。其の他蔬菜類の栽培などについては幾多の研究の餘地があると思ふ。

四、栽培法及家畜飼育の調査と實習指導

次に郷土調査として現在の作物の栽培法を調査する。其の調査をしたならば實習指導の眼目を何處に置くべきかを研究して決めなければならぬし、稲作を家庭實習としてやらせるならば其の指導の中心を此の村としては何處に置くべきか、蔬菜其の他の作物を家庭實習或は部落別實習としてやらせるならば其の栽培の如何なる點に眼目を置いて指導すべきか、つまり現在の作物を家庭實習又は部落實習として課する場合には其の目的を明かにしてかゝらねばならぬ。

家畜家禽の飼育實習に於いても同様である。何のために飼ふか如何なる點に主眼を置くかを明かにしてかゝらねばならぬ。

五、農業經營其の他の調査と實習指導

更に郷土の生産物の販賣状況はどうかを調査して、それに對する指導施設を考へる。或は購入する状況を調査させたならばそれに對してどういふ方法を取つたらよいか。或は小部落を單位とする農業經營力状況を調査させたならば、其の農業經營を改善して行くにはど

農業科指導の目標

本科指導の目標も要は、本村農業の實態を明確に眺め、而して將來進まねばならぬ方向進むべき方向に教師生徒共に努力し學校に於ける農業の指導自家農業の改善發展を促し、總て本村農業の伸展へと進むべきものであらねばならぬと考へる。
然しながら本校創立後日尙淺く、加ふるに職員一同又着任後幾ばくも月を経るため、本村農業の實態を正確に把握することが出來ず、従つて計畫の樹立よりも其の基礎工作をして確實にすることに専念してゐるのである。
數字的統計(稍古いものではあるが)及其の他を綜合して考へるに、

- 1. 一戸當り耕作面積の比較的小なることより考へて
 - 2. 勞力の分配上より
 - 3. 肥料の自給生産より
 - 4. 地力の維持増進より
 - 5. 市場の近接より考へて
 - 6. 自給經濟より考へて
 - 7. 農業の經營的才能より考へて
- 「小家畜の飼育↑↑」
- ↑↑ 堆肥の増産、堆肥場の設置
- ↑↑ 綠肥の栽培普及、排水の完備客土
- ↑↑ 蔬菜園藝果樹の栽植
- ↑↑ 酸性土壤の矯正
- ↑↑ 味噌醬油の自給其の他農産加工
- ↑↑ 計畫的經營……農業簿記

一、本校農業教育の概要
郷土農業の實態(省略)

以上の諸項目は單に其の例を掲げたに過ぎないが、要は調査すること、其のものを一つの活きた實習と考へ調査することによつて自村の農業自家の農業經營に對し認識を深めると同時に自村、自家農業の將來進むべき動向を察知し或は察知せしめ而も自覺的に自發自奮農業實務の研究と之が實習に當らせて一面には自村農業の改善向上に努力せしめやうとするものである。生きた題材によつて明確な目標に向つて進む時にのみ本科指導の目的が達成されるものと考へる。

うすればよいか。或は部落單位としての共同耕作とか共同作業とかいふことに對する指導の必要も起つて來るのである。

例。産業組合に對する研究 農事實行組合の研究助成
農事實行組合事業の擔當 農會指定獎勵事業の研究助成、實習

例(四)に連絡

栽培設計表の作製指導 速成栽培軟化栽培の研究
施肥法の研究 家畜家禽の飼育管理法の實習
飼料の栽培 肥育、搾乳

8. 農事團體の現状より考へて…其の理解と機能の發揚

9. 産業組合の現状より考へて… 共同の經營と其の精神の振作

10. 共同の經營の狀態より考へて… 木工又は粘土製品

11. 郷土農業の特産物より考へて… 以上は短日月の間にみだ本村農業の狀態より將來への動向を察知したものである。従つて本科の指導も此の流れに倣すべきであるを考へる。

農業科指導の態度

1. 精神的陶冶を基調とする。
2. 體驗の基礎を家庭に置く。
3. 環境の總べてを實習の場所とみる。
4. 本村農業の實態よりみて其の進まねばならぬ方向に重點を置く。

農業科教授要項 (省略) 農業科施設概要

一、實習の場所

イ、學校實習

畑(五段六畝) 綿羊舎(綿羊二頭) 堆肥場(青年學校生徒製作)…小學校と共用

ロ、家庭實習

本年度は自由實習をなさしめ一人一研究の發表をなさしむ。(農業研究座談會或は文書にて)

ハ、部落別實習

農會、農事實行組合、青年團農事研究部等と提携して部落別班別の實習をなさしむる計畫

二、實習の範圍

實驗實習の配當

種別	男子の部	女子の部
肥料	定性分析、鑑定、配合、肥料試驗、堆肥、燐炭肥料製法	鑑定、配合、堆肥、燐炭肥料の製法
土壤	土壤の鑑定、土性實驗、土地改良	土壤の鑑定
昆蟲	害蟲の採集、經過習性の觀察	害蟲の採集、經過習性の觀察
病原菌	接種病因の調査、經過病徴の觀察記録	病徴の觀察記録
除豫防の一般	農用藥劑の調製、施用法	農用藥劑の施用法
自家經營	面積、地目、地價、地租諸稅、土性、肥料	面積、地價、地租諸稅、小作料

地の調査	肥料計	簿記	普通作物	特用作物	飼料作物	果樹園藝	蔬菜園藝	花卉園藝	農産加工	販賣購買	農業手工	養畜	測量	農具使用			
施用量、病害の狀況(小作料) 農具の種類、員數、價格、評價 各種肥料の成分量と價格 各種農用帳簿類、自家經濟調査、勞力調査、收支計算 稻、麥類の栽培、病害蟲の驅除豫防増收法の研究 良品種の研究栽培 除蟲菊	肥料施用量 農具の種類、員數	家計簿記、自家經濟調査	水稻の生育調査(自家) 稻麥、荳類の栽培病害蟲の驅除豫防 除蟲菊	除蟲菊	除蟲菊	除蟲菊	除蟲菊	除蟲菊	味噌、醬油の製法 生産物の共同出荷、必需品の共同購入 農具の製作修理、針金・藥、粘土細工 養雞、養兔、綿羊、乳牛等の飼育、管理、酪農、兔皮加工 家畜家禽の疾病手當 氣象の觀測記帳、統計表 距離、面積、高低の測量製圖 農用發動機の構造、使用法、其の他	味噌、醬油の製法 生産物の共同出荷、必需品の共同購入 農具の製作修理、針金・藥、粘土細工 養雞、養兔、綿羊、乳牛等の飼育、管理、酪農、兔皮加工 家畜家禽の疾病手當 氣象の觀測記帳、統計表 距離、面積、高低の測量製圖 農用發動機の構造、使用法、其の他	味噌、醬油の製法 生産物の共同出荷、必需品の共同購入 農具の製作修理、針金・藥、粘土細工 養雞、養兔、綿羊、乳牛等の飼育、管理、酪農、兔皮加工 家畜家禽の疾病手當 氣象の觀測記帳、統計表 距離、面積、高低の測量製圖 農用發動機の構造、使用法、其の他	味噌、醬油の製法 生産物の共同出荷、必需品の共同購入 農具の製作修理、針金・藥、粘土細工 養雞、養兔、綿羊、乳牛等の飼育、管理、酪農、兔皮加工 家畜家禽の疾病手當 氣象の觀測記帳、統計表 距離、面積、高低の測量製圖 農用發動機の構造、使用法、其の他	味噌、醬油の製法 生産物の共同出荷、必需品の共同購入 農具の製作修理、針金・藥、粘土細工 養雞、養兔、綿羊、乳牛等の飼育、管理、酪農、兔皮加工 家畜家禽の疾病手當 氣象の觀測記帳、統計表 距離、面積、高低の測量製圖 農用發動機の構造、使用法、其の他	味噌、醬油の製法 生産物の共同出荷、必需品の共同購入 農具の製作修理、針金・藥、粘土細工 養雞、養兔、綿羊、乳牛等の飼育、管理、酪農、兔皮加工 家畜家禽の疾病手當 氣象の觀測記帳、統計表 距離、面積、高低の測量製圖 農用發動機の構造、使用法、其の他	味噌、醬油の製法 生産物の共同出荷、必需品の共同購入 農具の製作修理、針金・藥、粘土細工 養雞、養兔、綿羊、乳牛等の飼育、管理、酪農、兔皮加工 家畜家禽の疾病手當 氣象の觀測記帳、統計表 距離、面積、高低の測量製圖 農用發動機の構造、使用法、其の他	味噌、醬油の製法 生産物の共同出荷、必需品の共同購入 農具の製作修理、針金・藥、粘土細工 養雞、養兔、綿羊、乳牛等の飼育、管理、酪農、兔皮加工 家畜家禽の疾病手當 氣象の觀測記帳、統計表 距離、面積、高低の測量製圖 農用發動機の構造、使用法、其の他	味噌、醬油の製法 生産物の共同出荷、必需品の共同購入 農具の製作修理、針金・藥、粘土細工 養雞、養兔、綿羊、乳牛等の飼育、管理、酪農、兔皮加工 家畜家禽の疾病手當 氣象の觀測記帳、統計表 距離、面積、高低の測量製圖 農用發動機の構造、使用法、其の他

三、實習の處理及び獎勵施設

- イ、神饌
- ロ、實習地の相互參觀
- ハ、生産物、農産加工、農業手工、手藝品の展覽品評會出品
- ニ、生産物の共同出荷販賣
- ホ、栽培設計成績の評價
- ヘ、試食會
- ト、實習事項研究事項の發表、農事座談會
- チ、標本製作
- リ、翌年度實習材料としての貯藏
- ヌ、次年度の經營費充當
- ル、家事科實習材料としての供給
- ヲ、農産種子の無償交付費に充當
- ワ、品評會に於ける褒賞其の他に充つ
- カ、卒業記念寫眞帳購入補助費に充つ
- コ、家庭實習、經營共進會
- ク、農技競演會
- レ、收穫祭……毎年秋に行ふ、順序左の要領にて

- A 前日……職員男女生徒代表の餅搗
- B 當日1.學式の辭 2.唱歌「君が代」 3.招神祭 4.修祓 5.詔書奉讀 6.祝詞奏上 7.玉串奉奠 8.校長式辭 9.昇神祭 10.閉式の辭、11.紅白餅配布
- 四、家庭實習年中行事表 (省略)
- 五、學校實習行事表 (省略)
- 六、將來の計畫
- 1.農場の擴張
田畑の實習地を擴張し生徒學校實習の範圍を増大したし。
- 2.果樹の栽植
校地の周圍及び農場に果樹を栽植し生産的に集約經營をする計畫
- 3.家畜家禽の飼育増加
養鶏及び乳牛の飼育
- 4.農村藝術への進出
粘土焼物其の他
- 5.種苗の配布
學校にて種苗を育成して生徒の家庭に配布する考へ

6.家庭實習・部落實習

- 7.農事調査
校外班別の生徒團と共に毎年村内農事諸調査をする。
- 8.専用校舎の増設
村當局へ要望、畜舎は生徒と職員自力合作としたい。
- 9.卒業生との連絡
短期講習會、巡回指導、通信指導等により更に研究指導の途をひろくと共に在校生との結合を有機的に活動せしむる部面を講ずる計畫。

我が校農業實習の一端

檜山郡水堀實業青年學校
清水正義

學校實習地に於て左記輪作式の下に合理的栽培を行ふ

區別	年	初	二	三	四	五	六	年
第一區五〇坪	赤燕 クローバー	麥混播	馬鈴薯	小豆	秋作 蔬菜	馬鈴薯	菜	豆
第二區五〇坪	馬鈴薯	小豆	秋作 蔬菜	馬鈴薯	菜	豆	赤燕 クローバー	麥混播

(前略)

一、實業實習に對する私の信念

- 1.教員は熱と努力と研究とを要す。
- 2.一施設の徹底を期す。

二、我が校農業實習の指標

- 1.地力維持増進
郷土の實情をよく見て
- 2.土地の經濟的利用
- 3.記帳訓練
- 4.郷土に適せる品種の研究
- 5.精神陶冶

三、實施々設

- A 地力維持増進
- 1.輪作實習

第三區五〇坪	小豆	秋蒔小麥	馬鈴薯	跡蒔蔬菜	馬鈴薯
第四區五〇坪	秋蒔小麥	馬鈴薯	菜豆	赤燕麥	馬鈴薯
第五區五〇坪	馬鈴薯	菜豆	赤燕麥	混播	小豆
第六區五〇坪	菜豆	赤燕麥	混播	馬鈴薯	秋蒔蔬菜

2. 堆肥製造實習
- イ、共同製造——學校實習地に使用する堆肥
 - ロ、個人製造——堆肥品評會
 - ハ、堆肥舎 堆肥場(ネンドタタキ)設置奨励
- B 土地經濟的利用
- イ、丸扁蒲の栽培實習
 - ロ、乾瓢製造實習

- C 記帳訓練
- 1. 記帳實習
労働日誌と金銭出納簿とを兼用したる簡單なる左記様式の帳簿により實施す(様式省略)
 - 2. 簿記講習
- D 郷土に適する水稻品種の研究

津輕坊主一號 1. 四種につき何れの品種が多收穫にして品質良好なるかを比較實習せしむ。

萬太郎 井越 片石

E 精神陶冶
協同 責任 勤勞愛好の精神と習慣との養成

本校農業實習の方針と其の實際

札幌郡平岸青年學校
菊池次郎

農學は事實を對象とする應用科學であるから眞に之を徹底せしむるには常に研究態度を養成し、實驗實習によつて成果を納めなければならぬ。而して補習學校に於ては特に一般的より更に郷土を中心としての具體的な教材を取り、

之を基礎として合理的な發展を遂げしむるにあり。

一、方針

1. 學理の研究を一層明確ならしむ。
2. 農業技術の練習に重きを置き。
3. 農業に對する趣味と自覺を與へ愛農愛土勤勞の精神を養成す。
4. 經濟的觀念を養成し、經營上の能力を培養す。
5. 農事改良工夫獨創の性格を涵養す。

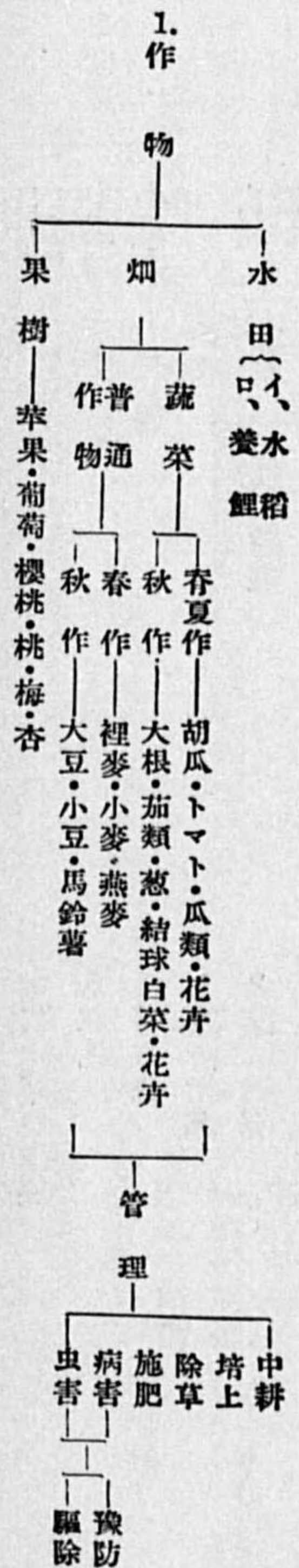
二、學校實習

學校實習は家庭實習・部落實習上の基礎となり當校中心としての農業開發上の源泉をなすを以て常に學理を應用し、研究的に經營せしめ、實習を通じて共同自治責任節制の精神を涵養し公民たるの資格を養はんとす。

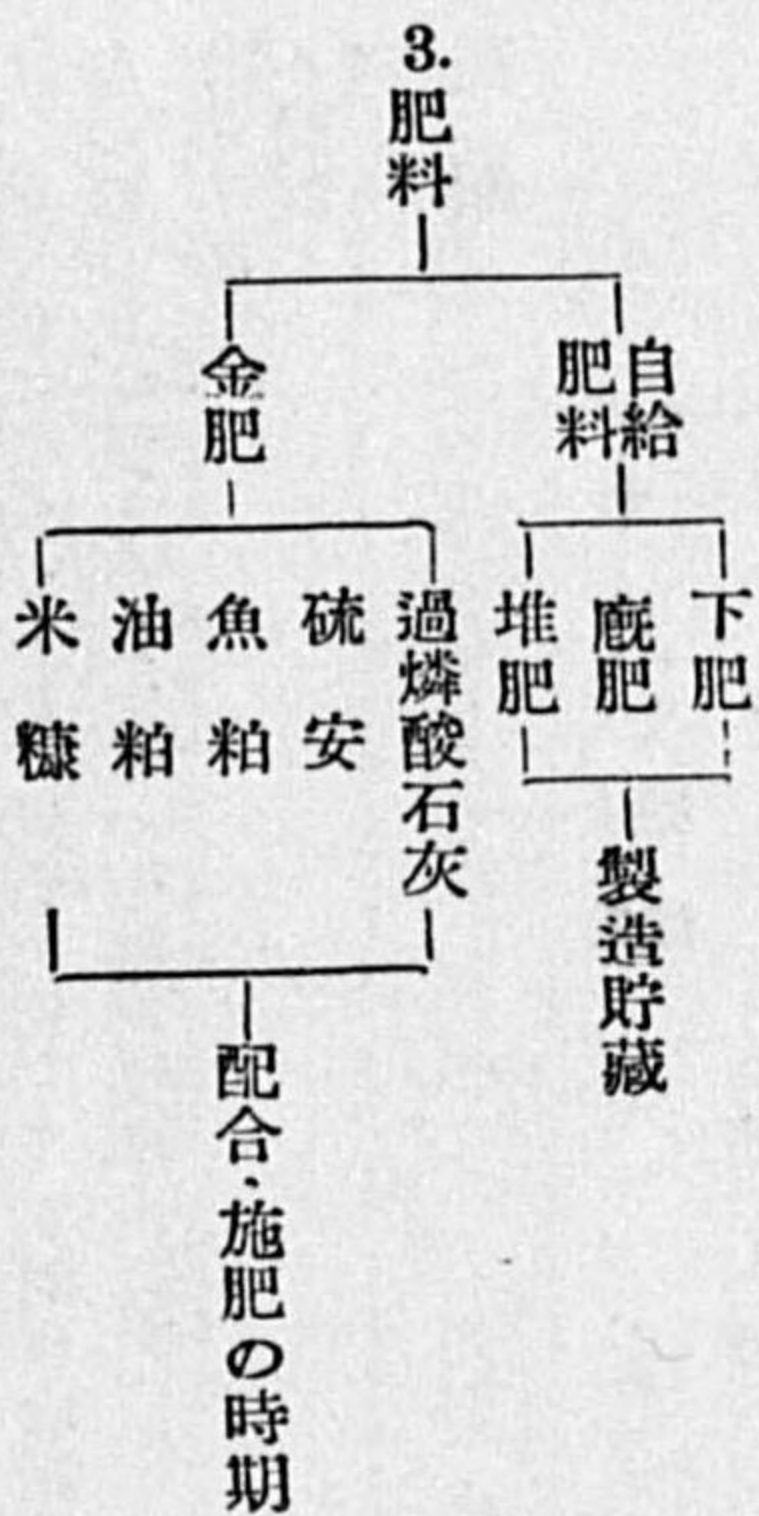
三、家庭實習

本校の最主力を注ぐ處にして、生徒は晴耕雨讀を目標とし常に家庭にありて業務の間に一定の實習地を定め、最合理的に研究經營せしめ、生徒を通して各戸の農業經營の合理化を期せんとす。

A 種類



2. 家畜
 大動物—乳牛・馬
 中動物—豚・綿羊
 小動物—兔・鶏



3. 肥料
 4. 副業
 藁細工—繩
 農産加工—納豆・味噌・醤油
 竹細工—籠類

B 實習方法

1. 實習地の設置……土質灌溉等の調査
2. 父兄の理解——家庭實習の必要を理解せしむるため部落巡回各種總會の席上又は家庭訪問等の折に個別的に諒解を得
3. 青年團員の應援連絡
4. 養畜組合——養雞・養兔組合加入共同販賣
5. 温室温床の管理

C 設計書の作製

1. 設計指導
2. 巡回指導
 1. 班別指導
 2. 個別指導
 3. 家庭指導
3. 處理並簿記指導

年行事表 (省略)
 果樹藥劑撒布曆 (省略)

本校に於ける農業科經營の實際

檜山郡上ノ國中央青年學校
 葛籠喜久雄

はしがき (省略)

一、農業科經營方針

補習學校に於ける農業科の要旨は別に法規に依つて規定されてゐないのであるが其の補習教育の本質から考へて農業教育の本旨徹底言ひかへると農業の社會的地位並に任務を知らせて更に農業生産、農業經營の智能を授け、

農業に依つて社會國家に貢献し得る實力を養成すると共に農業を愛し土に親しむの精神を涵養し勤勞を尊ぶの習慣を與へ農業者たるの人生觀を確立せしむるにあると思ふ。更に特に本校の經營方針として分類したる項目をあげれば次の如し。

1. 地方の須要農業に對する知識技能を授け以てその職業を改善せしむること。
2. 農業の國家に對する地位を知らしめ之に依つて國家に奉仕する信念を養ふこと。
3. 農業的精神陶冶をなし其の職業に全力を注いで働くの精神を養ふ、要約すれば額に汗する産業公民の養成を以て方針としてゐるのである。

二、農業科指導方法

1. 教材 (省略)
2. 教授上の留意點
 - a 實際化すること——實際に出發して理論に至り更に實際に歸結する。
 - b 郷土化すること——教材の選擇も教法の吟味も總て郷土の現在に照し將來を考へて行ふ。
 - c 時代化すること——時代を無視した教育は無意義である、時勢を知らしめ時代順應の能力を得しめる。
 - d 趣味化すること——研究の啓培も愛業の精神の養成も郷

土安住の確信も多くは教授の趣味化によつて得られるのであるから常に此の點に注意を怠らぬこと。

- e 道徳化すること——勞働それ自身が道徳だと言ふ強き信念を得させる。
- f 宗教化すること——農業は天を相手とする勞働であり神の御手から直接生活資料を受ける仕事であると言ふ尊き信念を養ふ。
- g 科學主義の教育を重んじ研究的創造的態度の養成に努むること。
- h 學科教授に於ては業務的知識の授與に偏せず皮相的學者乃至は口舌家に墮せず確固不拔の根本的精神を養ひ農民人格の向上に努力する。
- i 農業者の現状考察と教育方法の確立 (省略)
 - (1) 農業精神の缺乏——根本精神・薄弱
 - (2) 農業趣味の缺乏
 - (3) 自治協同の念に乏し——公民的素質の缺陷
 - (4) 合理的科學的活動不充分
 - (5) 研究的試驗的態度を缺く——進取的態度の缺乏
 - (6) 機械化工業化の幼稚——時代順應の不如意
 - (7) 商的行爲の拙劣

三、施設事項

a 家庭實習の重視 (省略)

- b 通信教授の施設 (省略)
- c 共同實習の奨励 (省略)
- d 記帳訓練 (省略)
- e 一人一研究の勸奨 (省略)

本校の實習教育に就て

標津郡計根別實科農學校

小 館 衷 一

一、緒言 (省略)

二、實習教育の要項

(1) 經營法——科學に立脚し酪農を主體としたる經營
 根釧原野の今日迄の酪農家は牛を持つて居たが爲めに連年の凶作に遭遇しても他の農家に見られる様な困憊をしなかつたのでなくして牛の持ち得る農家であつたが爲めに未曾有の乳價の下落にもよく自己を守り得たのであります。然し、もはや、根釧原野は酪農に好適する種々な條件が判然し、まして酪農を主體として之に自給自足的經營を加味し科學に立脚して行くなら根釧原野の酪農は近き將來に於て必ず先進酪農地帯を凌駕すると考へるものであります。下はその序に當りこの知識、技術にそしてこの精神に飢えてゐると、思ふものでありますから本校の實習も科學に立

脚し酪農を主體とし更に自給的教材を配當したものであります。

(2) 組織——組合組織

如何に種々な好條件に恵まれてゐましても個人的では最後まで望まれません。どうしても、團體的であり團結力が必要であります、それ故實習の組織もこの主旨をとりまして、組合組織として行きます。單位は個人でありますがこの個人が數名集りまして一つの組合となします。その一つの組合には一定の耕地を與へます。

一組合の人員は五名内外でありまして中一名は組合長とし他は組合員となします。組合員は前期生をもつてし組合長は後期生をもつて任命します。一組合の耕地は二〇アールとし内十九アールはクロバリーを加へた四年輪作普通作物の栽培にあたへ残りの一アールは蔬菜畑とします。栽培は個人的でありますが作業を團體的となし、組合内の統制は組合長を以て之にあてます。更に各組合の組合長たる後期生をもつて一個の組合を作り教師が組合長となり直接指導の任にあたり尚、各組合の聯合組合長として統制・指導にあたります各組合の作業上のことに關しては特に指導注意を要する外は組合長の合議により實行させます。又特に全生徒が必要に應じては一組合員の形で行動を起す場合もあり、家畜の飼養管理は各組合毎に交代で行ひます。各組合員

には必要なる帳簿を備置き必要事項の記入をなさしめま

す。以上は男生徒に對しての場合でありますが女生徒は家庭にあつて自給自足的部門を司らねばならぬ大切な立場におかれます故、その實習組織は一組合五名内外とし各組合毎に一アールの蔬菜、〇・二アールの花卉の肥培をな

(3) 主義——尊農主義

本校に於ける實習指導の主義は前記事項を眞に活し、そして伸ばして行くため尊農主義であります、そして體験、鍛鍊、趣味、技術の諸主義はこの尊農主義から枝となり、葉と開かせて完成させて行きたいと考へます。農業は眞に農村生活を信するものでなくては其の成功は期し難い、農村生活即ち尊農の生活でなくてはなりません。報恩、感謝、奮勵努力、敬虔謹慎の生活であり敬神崇祖の信仰生活であることをあらゆる機會に於て體験感得させたいと思ふものであります。

一粒の麥も春土にこぼれて秋至れば穂はに稔る。之神秘であり、神の力であることを悟らしめ特に力を傾けて尊農祭の盛大を期し、昔は耕起の前に種子を捧げてよき收穫を祈り、秋は收穫な奉つて神と我が農業界の先哲者の靈に對し

て感謝す、この精神の養成を期して尊農の主義の下になつてあります。

三、實習教材の配當

1. 前期

- a 主要作物耕種法の練習
- イ、禾穀類の栽培、收穫調製の練習
- ロ、菽豆類の栽培收穫調製の練習
- ハ、根菜類の栽培收穫調製の練習
- ニ、蔬菜、花卉の栽培練習……男子は蔬菜のみ
- ホ、耕種、收穫、調製用農具の使用練習並能率調査
- b 家畜飼養管理の練習
- イ、牛馬の飼養管理の練習
- ロ、搾乳の練習
- ハ、堆肥製造の練習
- c 農業手工の練習
- イ、製俵、菽・草を利用したる器物の製作練習
- ロ、兎、鶏舎・養蜂箱の製作練習
- d 家事の練習……女子
- イ、和式裁縫の練習
- ロ、家事初步の練習
- e 日誌記載の練習
- イ、寒暖計、溫度計、地温計の計り方見方練習
- ロ、授業日誌記載の練習

其他前期、後期を通じて鎮守の美化奉仕は勿論、努めて機会を捉へ産業に關する見學實習をなさしむるものであります。

四、結論 (省略)

農業簿記教授調査用紙に就て

河西郡上美生青年學校
月居 正 二

緒 言

古來より我が國農民は大きな謬れる觀念を有して居つた否寧ろ一般が有して居た觀念であるが百姓は筆をとる必要の無いものとされてあり又相當の有識者にあつても何の無理も無しに是を是認し肯定して居つた。勿論斯かる觀念に謬るを感じない時代は長かつたが今や我々はこの觀念を絶対に排撃せざるべからざるに立至つた。最も良き經營は最も組織的であることを要する。而して經營組織の充實を期せんとすれば常に各生産部門の收支の狀態が明瞭に比較對照し得るを要する、之が爲には正確なる簿記知識に依る確然たる整理がなされねばならない。從來の單一的平面農業より、愈多角的立體農業へと複雑化したある今日この經營を健全ならしむるが爲に、又各部門の

2. 後期

- a 前期生耕種法の指導
- b 飼料作物の耕種法の練習
 - イ、牧草の栽培管理、收穫・貯藏の練習
 - ロ、根菜類の栽培收穫貯藏の練習
- c 農用器具器械類の使用、分解修理の練習並に能率調査
 - イ、耕種、收穫、調製農具の修理の練習
 - ロ、農用機械類の使用分解修理の練習並に能率調査
- d 家畜の飼養管理の練習
 - イ 前期生家畜飼養管理法の指導
 - ロ、小家畜、飼養管理法の練習
 - ハ、剪毛染毛紡織の練習……女子
 - ニ、飼料の調製練習
 - ホ、家畜疾病の簡易療法の練習
- e 家庭食品製造練習
 - イ、畜産製造の練習
 - ロ、農産製造の練習……女子
- f 家事の練習……女子
 - イ、ミシン裁縫の練習
 - ロ、料理生花の練習
 - ハ、育児、衛生の練習
 - ニ、家計簿記載練習
- g 農業簿記の記載練習
- h 各種品評會審査練習

圓滑なる運營を計るが爲に正確なる簿記知識を徹底せしむることの急務たるを感じる次第である。

簿記の記入に際しては細大洩らさぬ記帳が絶対に必要であるが之は言ふ可くして仲々困難なことである。然し之も常に記帳して居れば何等の困難なしに記入出来るものである。本校に於ては五ヶ年計畫を以て指導し適確なる生産費の算出、勞資の分配等其經營改善に資する研究をなさしむると共に生活費を研究せしめて生活改善をなさんとす。

一、作付表 (様式省略)
二、労働調査表

作物生産費決定の問題は最も重要な問題であるが、生産費決定に最も大きな構成要素として勞力を擧げ得ると思ふ。而してその記入は「日」を以てしても「時間」を以てしても良いが最も正確なる計算を得る爲には「時間」記入の練習をせしめ度いと思ふ。(様式省略)

本表で最も注意を要することは確實に勞力使用の目的物にこの労働時間を記入することである、例へば「稻葉取片附け」に五時間を要したから直ちに「摘採へ五時間」と記入したのでは確實でない。稻葉を加工に用ひる爲のものが草草に使用する爲のものかによつて勞力を薬加工に或は飼料に草草に課すべきか定まる、又肥料の配合に要した時間を「肥料に何時間」と記入せずにこの配合は何作物に用ふるものであるかにより其の作物へ要した勞力としなければならぬ。

而して毎日本表を一枚宛使用し一ヶ月を廻れば次の月集計表に各作物其他作業に夫々記入し毎月の勞力使用物の比較を明らかならしむる。

各月勞力調査表 (様式省略)
労働調査表 (様式省略)

これは前記各月勞力調査表を一ヶ年分を取纏めたるものであり記入時間は總べて成男換算を以て記入すべきものとす、各部門計算に使用さるべき数は本表に依るものとす。

三、飼料給與日記 (様式省略)

本日記は大家畜に限らず羊・豚・鶏・兎等の小家畜にも個畜別に記入す、量記入に際しては重量を用ひ單位容量を秤量し摘要欄に記入し置けば容量を用ふるも可なり、放牧個所には自己の放牧地なるや又は放牧料を要する土地なるやを區別し、摘要欄には堆厩肥生産、分娩、疾病等の事故一切を記入することなり。

月別飼料給與集計表 (様式省略)
飼料給與表 (様式省略)

四、牛乳日記 (様式省略)
五、産卵日記 (様式省略)

毎月一枚を使用するものにして「計」の欄に於ては其月に於ける産卵数の計を記入し「累計」欄に於ては前月よりの殘高をも含めたる數量を記入す。摘要欄には主なる販賣先産卵

休止、其の他事故を記入すべきものとす。
本表も前記同様「日」欄を「月」に直し産卵臺帳として利用す。

六、現金・現物貸借受拂表

最も重要な原簿にして本原簿記入は主として最高學年に對し徹底的教授をなさんとす。

毎月の受拂を雜然と記入するさへ困難なるに本原簿は仕譯欄を設け何れの部門に屬すべきやを記帳せんとするものなれば相當練習を積まざる中は完璧を期されぬものと思はれる。(様式省略)

七、部門計算表 (様式省略)

原簿より仕譯帳に仕譯けるべきだが寧ろ直接部門計算表に毎月記入して了ふ方法を取る。

各口座中「家事」のみは余りに記帳事項が繁雜となるから取纏め得る事項は取纏める様にし何か適當な用紙を用ひ特別仕譯帳を用ひる必要もないと思ふ。

「金錢・現物・貸借受拂表」「勞働調査臺帳」の外次の「財産調査表」を用ふ。

八、財産調査表

本調査は毎年前期作付表と同様年度末に於て調査するものであつて、次の各資本に亘り調査するものとす。而し價格は購入現物の外は總べて見積價格を以て記入し生産物の如

きは數量を明確にして置けば生産費決定後に於て記入してもよいと思ふ。

建物、農具等は勿論豫め維持年數を決定して毎年其の減價格を見積らねばならぬ。

- 一、土地資本 二、建物資本 三、動物資本 四、業具資本
- 五、植物資本 六、自家生産物 七、自家製加工品
- 八、諸材料 九、肥料 十、飼料 十一、掛買並に掛賣
- 十二、貸金並に負債 十三、預金及之に準ずるもの (様式省略)

本校水産科指導の實際

廣尾郡廣尾實業補習學校

青木 二郎

一、教授の方針 (各項の説明省略)

- 一、郷土化・實際化の重視
- 二、獨創心の啓發
- 三、學習興味の惹起
- 四、教授の要旨
- 五、水産科教授
 - 一、本村水産業の状況を詳かに研究し、特に改善を要し又は助長を要する點につき力説指導すること。

口、實地實物教授を主とし許す範圍内に於て、なるべく多く宿題課題を課し以て教授の應用練達に努むること。

ハ、水産の歴史を辿り國家社會に對する水産の位置を覺らしめ、漁民的自覺を高めること。

ニ、經濟觀念の養成に努め一個の水産業者としての經營才能を養ふこと。

ホ、最近の水産問題に對して水産學的解釋を與ふること。

2. 水産實習

イ、水産に對する趣味と嗜好とを長ぜしむること。

ロ、收得せる知識を應用せしむること。

ハ、水産に關する技能を練習せしむること。

ニ、實習に於て勤勉力行の習慣を養成せしむること。

三、教授の實際

1. 水産科教授

本校生徒は殆んど家業に従事し中六割余は各部落に居住する水産業者の子弟にして、出漁常なく、一定時間に招集、授業をすること殆んど不可能なり、たとへ荒天にて休漁時たりとも、漁獲物の處理、漁具の手入等繁忙にて、正午より休憩一―二時間を利用し得るに過ぎず。

故に休漁時たりとも二里余に互る通學區域の生徒に一齊教授すること能はざるが故に、次の方法により教授の徹底を期す。

イ、部落別に青年會館に招集出張教授す。

ロ、夜間教授

學校所在、市街地附近の生徒は夜間招集教授す。

ハ、通信による教授

本校生徒は漁業期に至れば浦河、釧路方面に出漁するもの多し生徒に接するの機會全くなき場合あり。

斯の如き場合は出漁中注意すべき事項を印刷し、各碇船地に送付し、其の徹底を期す。

ニ、家庭訪問に際し、生徒の質疑に應答す。

2. 水産の實習

1. 學校實習

水産に關する一般の實習をなさしむ。
但し本年度は經費の關係上設備なく、所期の目的を達し得ざるの状態にあり、只漁業組合より提供せられたる磯に於て除藻を行ひ來年度の海藻の増殖を計りたるに過ぎず。

ロ、家庭實習

漁撈・製造共に各個の家庭につき研究的に實習せしめ、家庭訪問に際し個別指導す。

ハ、依託實習

特に漁業経営家に依託して、漁撈、漁船運用・網具製作・水産製造等の實習をなさしむ。

四、訓練の實際 (省略)

就學獎勵 (省略)

本校男子部の漁業實習に就て

宗谷郡知來別實業青年學校

淺井正雄

本校實業科の目標

本村の現在産業は漁業を以て主となし殊に漁撈に重點を置くも將來は更に左記各項を重視する必要ありと認め本校に於ては寧ろ目前の得失よりも今後の動向を重んぜんとす。

- 一、水産製造に關する知識技能
- 二、販路並販賣に關する研究
- 三、漁業の科學的經營
- 四、副業としての家畜飼養
- 五、農業への進出

水産實習の範圍

實業科を重要視し殊に實演實習に力を注がんとす。

實習は農業漁業及販賣の三方面に就いて行ふも特に漁業實習を重視し就中製造實習に力點を置く

製造實習は左記諸項に當るものに就きて行ふ。

- 一、從來殆んど或は全く閑却せられ輕視せられたるもの
- 中研究加工の如何に依りて、經濟的に相當價值ありて優に商品としての可能性あるもの。
- 二、當地特産品

三、特産品にはあらざるも目下當地に於て製造加工を研究中のもの又は過去に於て研究せられしも加工法拙劣なりしたため成績の佳良ならずと認められしもの。

實習の種類及指導者

家庭實習及共同實習に分ち専任教諭及地方篤漁者之を指導す。

實習の程度 一、加工品 第一年 試験程度 第二年 見

本程度 第三年 販賣程度 二、其他 實用

將來の施設

- 一、共同製造場經營
 - 二、簡易罐詰工場經營
- 昭和九年度以降數年間の實習豫定事項

實習事項	材	料	備	考
糖塩漬製造	鯉、鱒、鮭	鮭	同	將來特産物たらしめんとす
燻製	鯉、鱒、鮭	鮭	同	同
飯	鯉、鱒、鮭	鮭	同	同
蒲鉾	鯉、鱒、鮭	鮭	同	同
佃煮	鯉、鱒、鮭	鮭	同	同
生利	鯉、鱒、鮭	鮭	同	同
沃度及沃度灰	鯉、鱒、鮭	鮭	同	之は過去に於て製造せられしも不結果に終れるものなり
罐詰	鯉、鱒、鮭	鮭	同	同
白乾	鯉、鱒、鮭	鮭	同	現在當地特産品なり
黒乾	鯉、鱒、鮭	鮭	同	同
ヤマメ製品	鯉、鱒、鮭	鮭	同	材料非常に豊富なるも製造粗惡にして賣品とならざる現状に在り
製油	鯉、鱒、鮭	鮭	同	現在には不純分の混在多く優等品なしと雖も研究を積んで加工せば將來重要な産物たるべし
水温調査	鯉、鱒、鮭	鮭	同	當地特産物を販賣するものと假定して其時期及理由の研究をなさしむ
氣象調査	鯉、鱒、鮭	鮭	同	同
販賣時期研究	鯉、鱒、鮭	鮭	同	同
販賣實習	鯉、鱒、鮭	鮭	同	同
漁具網具の製造及補修	鯉、鱒、鮭	鮭	同	同
栽培實習	豚	兔	同	當分花卉蔬菜類に止む
家畜飼養	豚	兔	同	自家用を主目的とす

水産科の教授要項に就て

苫前郡鮎尻青年學校
佐々木憲隆

本村水産品の漁期漁法製造概要 (一覽表省略) 水産科教授要項 (普通科・中等科)

- 一、水産事業の沿革
 1. 未開時代 2. 半開時代 3. 開明時代
- 二、我國の水産業
 1. 地理的關係 2. 經濟的關係 3. 其他の産業との關係
 4. 水産業の地位
- 三、本道の水産業
 1. 水産業の發達 2. 現在の狀況 3. 將來の水産業
- 四、魚類
 1. 近海魚 2. 洋海魚 3. 深海魚 4. 漁場
- 五、鮭
 1. 漁期 2. 習性 3. 分布 4. 漁法
- 六、鮭製造物
 1. 身欠及其副産物 2. 魚油 3. メ粕 4. 燻製 5. 其他
- 七、漁撈法
 1. 大要 2. 要素

八、網漁と鈎漁

- 九、網具
 1. 原料 2. 編み方 3. 附屬品 4. 局部の名稱 5. 種類
 1. 保存 2. 染料
- 一〇、網の保存法及染料
 1. 保存 2. 染料
- 一一、刺網
 1. 構造 2. 使用法 3. 漁場
- 一二、鰯
 1. 種類 2. 習性 3. 漁法 4. 利用
- 一三、海鼠、雲丹
 1. 習性 2. 捕獲法
- 一四、海鼠の製造法
 1. 海參其の他 2. 雲丹
- 一五、海藻
 1. 種類 2. 効用
- 一六、昆布
 1. 種類及習性 2. 採取と分布 3. 利用 4. 製法
- 一七、あまのり付てんぐさ
 1. 習性 2. 効用
- 一八、海藻の利用
 1. 成分 2. 沃度 3. 糊料 5. 食料
- 一九、水産物乾燥法

一、乾燥法 2. 乾製品

二〇、鮑及乾鮑

1. 種類 2. 採収法 3. 乾鮑製法 4. 其他の製品

二一、魚貝類の繁殖

1. 産卵期 2. 産卵の場所 3. 保護

二二、魚類の養殖

1. 養殖の目的 2. 海藻養殖 3. 介類養殖

二三、風及氣象

1. 風 2. 天候豫知

二四、警戒信號

1. 全國暴風警報 2. 地方暴風警報 3. 氣象信號

高等科

一、本村の水産業

1. 産額 2. 漁期 3. 漁場 4. 漁船其他 5. 漁族

二、水産製造一般

1. 鹽藏品 2. 加工 3. 燻製 4. 罐詰 5. 肥料 5. 其他

四、北海道水産食料品の製法

1. 水産品の營養價値

五、鮭製品

1. 身欠鮭 2. 燻製 3. 数の子 4. 鹽鮭

六、鮭製品

1. 味淋乾 2. 親子漬 3. 鱈子

七、いか製品

1. 鰯 2. 鹽辛 3. 其他

八、章魚製品

1. 乾章魚 2. 酢章魚

九、海鼠、雲丹

- 一〇、昆布製品

1. 昆布の製品 2. 加工品

一一、鮑製品

1. 干鮑 2. 罐詰

一二、我國水産業の現況及其將來

1. 漁業者 2. 漁船 3. 漁業 4. 産額、分類

一三、本州の主な漁業

1. 漁業の概況 2. 産額

一四、北海道樺太の漁業

1. 概況 2. 漁業者漁船 3. 漁業並製造業

一五、歐米に於ける水産業

1. 世界の水産國 2. 英 3. 佛 4. 諾威 5. 米 6. 加奈陀

一六、魚肥

1. 乾製肥料 2. 壓搾肥料 3. 魚骨肥料 4. 流動肥料

一七、魚油

1. 魚油の種類 2. 成分 3. 効用

一八、水産業と經濟

- 一九、産業組合法
 1. 信用組合 2. 販賣組合 3. 購買組合 4. 生産組合
 二〇、漁業法
 1. 定置漁業 2. 區劃漁業 3. 特別漁業 4. 専用漁業
 二一、漁業組合
 水産會

我が校の水産科経営及其の實施

太樽郡鶴良實業青年學校

佐々木 法道

施設經營案

水産知識の普及及發達兼ねて、水産に對する趣味の涵養並に勤儉的精神の養成に留意、堅實なる漁村青年水産教育をなし、疲弊困窮せる漁村の打開に資せしめんとす。

一、學習方面

郷土水産の將來と現在に於ける漁村伸展上必須なる學科漁撈、製造、養殖、水産法規等圖書を加味し而して郷土の實狀に照し水産學習の完璧を期せんとす。

二、實習方面

實習、實驗に重きを置き、常に更生的精神の涵養に誘導一面、勤勞、趣味、經濟の發達を期せんとす。

施設事項

- 一、漁撈
 1. 季節的漁業につき、操業の指導教育をなさんとす。
 2. あわび・かき採實習(依託に依ることあり)
 將來、あわび・かき採法に改良せしむる前提として本實習を行はんとす。

3. 編網法實習

4. 操船及運用、航海に關聯の實習(依託に依ることあり)

5. 教辨物、作製(漁具、網の模型)

6. 其他隨時適切なる事項の指導を行はんとす。

二、製造

1. いわし、こうなご、あわび、いか、さめ、ほつけ、さば、わかめ、こんぶ、のり、其他郷土産魚貝藻類

右につき適切なる實習研究を行ひ、技術と經濟の二法を究めんとす。

4. 販路開拓の研究

加工品の販賣に依り、經濟心の喚起をなさしむ

4. 製品の試食及製法研究(製法、能率、經濟等)

三、學習

郷土に即せる適切なる學科を選択教授せんとす。

方法

1. 漁撈方面、漁村青年讀本、漁撈論、水試旬報、其他參考

書より拔萃

2. 航海方面、航海、運用書籍
 3. 製造方面、水産名産品製法、海産物利用法、其他
 4. 水産法規、漁業法一般(漁業法書籍)
 5. 其他、水産雜誌、新聞の利用
 (後略)

我校に於ける航海術指導の實際

久遠郡久遠青年學校

小 田 壽

一、航海術の必要とその目的 (省略)

二、本校に於ける航海實習とその要領

A 準備授業

該計畫は慎重を要するものなるが故に萬遺憾無きを期する爲め特に準備として運用、氣象、航海術等の航海實習に必要な範圍の學科を課した。

教授事項

a 氣象學

- 一、天氣 二、颱風 三、日本四季の氣壓及風 四、天氣豫報 五、颱風避航法

b 運用術

- 一、船體各部名稱 二、船舶の積量、三、船燈及び救命具 四、海錨使用法 五、單暗車船の運轉法 六、海難 七、船内に於ける職務 八、沿岸航海の要領

c 航海術

一、用語の解説 二、度と哩の換算法 三、測程具 四、測深具 五、マグネティックコンパス 六、チャート

七、日誌 九、船位の測定 一〇、航海の要領と海圖使用の練習

船舶安全法

B 航海實習の實際

實習船 第七渡津丸(久遠村渡邊氏所有發動機船六噸四十四馬力)

實習船 久遠青年學校生徒 三拾四名

自久遠港(東經139°49'30"/北緯42°13'40"/)

至岩内港(東經140°30'/北緯42°59')

豫定航程 61哩10分13

豫定針路 添泊沖CG₀WNW 1/2 W 15哩

大田岬CG₀NNW 1/2 N 2哩

尾花岬CG₀N 4哩

茂津多岬CG₀NNE 1/2 E 18 2/5 哩

小田西岬CG₀NE N 5哩

岩内港外CG₀E NE 1 1/2 哩

船内勤務

實習班の編制

34名の生徒を5班に分け第一班第二班第三班第四班第五班と名付け各班交代にて實習をなす。
一班六名、第二班以下七名ずつとす。

當直(ワッチ)

甲班

A(二人)機關室勤務 B(二人)操舵實習、C(二人)見張

乙班

速力測定、日誌記載、航程羅針路風向、(晴雨計寒暖計、天候)船位測定、當直交代の時宣告、其の他一般事務

勤務時間

1時間半交代とす、甲班のものはA.B.C.共に交代になすもので
A(30分)B.30分)C(30分)とす、勤務す。

A (30分後) B 30分後 C

← 30分後 →

準備品

海圖(IWANAIKOTOHVKYANAKO)甲、乙號No. 11

遠程具、海水寒暖計、大気寒暖計、晴雨計、羅針儀、砂漏

計、パス、三角尺儀、望遠鏡、時計、小黑板、ナロー

日程

七月一日午前五時半出帆(久遠)

同日午後二時(豫定)

見學

冷蔵車、ローラー門太魚掛置及製造場、魚油工場

魚市場、輪炭取況、アムバラカス製造工場、肝油工場、

佃煮工場

七月二日 午後一時出帆(岩内)

午後九時(久遠港入港豫定)

九時半 解散

本校教授細目の編制

上川郡神居青年學校

山田貞一

一、序

1. 青年教育の本體 (省略)

2. 補習學校規定の探求

3. 本校學則中關係章の紹介

二、教授上の留意點

1. 全般的の見解及留意點

教授上の留意點は勿論、學校經營中に明示され、その目的に添ふよう、又は經營方針に従ひ、併せて本校の校訓七綱領に準じたものであるが、更に之を學理的に言へば前記せる職業、公民兩教育の主眼に合致せしめ

る。

特に農村青年指導としての本校は、郷土に即せぬ教育、生活そのものに取材せぬ教育の缺陷を考へ、この缺陷を打破し、所謂露天學校への建設を目ざすものである。斯くて本校第一年の計畫は、郷土の調査に着手し、更に二次への調査と進展して、この活用、教材化につとめ、同時に基礎工作たる小學校教育に連關して、その發展につとめる。

換言すれば、青年教育の眼目に違ひ、職業、公民教育の方針に取材し、之を本村に適合せる生活、指導に留意するものである。

2. 各科別指導方針 (省略)

3. 實際指導計畫

(3) 授業時期 (時間表)

男子部

a 毎月授業 五日(午後一時より四時乃至五時間)

b 繼續授業 一日四時間宛

六月上旬(六日間) 七月下旬―八月下旬

(五日間)

六月中旬(五日間)十一月下旬(七日間)

十二月下旬(三日間)一月上旬(三日間)

女子部

a 毎月授業 三日(午後一時より四時乃至五時間)
b 冬季授業 十二月上旬より三月下旬迄約十三週間
(一日六時間)

共にこの他儀式、祝祭日登校をなす。

男女共に學年始に一年間の時間表を配布、尙家庭の父兄及後援會役員にも送附して、出席日を明瞭にする。

(3) 教材選擇の基準

a 生徒の心身發達程度を考慮すること。

b 本村の實態に即し教授時期及び指導時間を考慮。

c 校下農村の自然人文中より多く教材をとること。

d 農村生活の慾求を満たし、自己發展の價値興味を起

しうるもの。

e 時事問題中よりも適切なるものを取り入れること。

(4) 教科書

教科書は學年始に於て教師一ケ年分を編輯し、その内容は別記の教材選擇基準により、且細目を定め之に準據する。

参考 教科書

北海出版社發行 新青年訓練教本 九年年用

帝國地方行政學界發行 修身、國語、數學、地理、歴史、

農業(卷一)各青年教育教科書

北海出版社發行 女子修身教本

女子國語教本(上)

開成館發行 補習教育算術教科書(農村前期用)

⑤教授細目

細目についての具體的事項は次に記すも、主眼、要項、連絡教材、準備、注意事項等を、題目及要項、附記の二欄にそれ／＼記入す。

尙、二ヶ年、又は四ヶ年の教材配當表を作製し、この題目により一年度用・二年度用等、細記する指導要項を作り、併せて一部の細目とする。本校現在の細目は生徒数の關係により、男子部は高等科用と前後期科用の二組、女子部は一組として高等科を中心に作製す。

三、教授細目の活用

1. 細目必要の理 (省略)

2. 本校細目編制の留意點

種々ある力點を次の三項に考へて之を特に留意點として、編制に考慮する。

a 三大主眼の活用

職業、公民、體育の三主眼を尊重し、各科に連絡、徹底せしめる工夫に努む。

b 郷土調査の活用

郷土調査の結果を指導材として使用に努め、又連絡することに留意す。

○小學校教材との連絡

小學校教育擴充の意を徹底せしめるため、連絡教材を考慮し、尙又連絡系統案を作製せんとす。

3. 記載形式及内容

細目は、教材配當表と、指導要項より成り、教材配當表は卒業迄の指導進度の題目及び教授配當時間を記入して、二ヶ年或は四ヶ年の目標を定め、指導要項は各一ヶ年の指導を細部につくつたものである。(形式省略)

4. 細目實際使用法 (各項説明省略)

- (1) 教科書作製
- (2) 教材研究
- (3) 全科細目の研究
- (4) 細目の可否判断
- (5) 進度の参考
- (6) 教授者の反省 (省略)

實業補習教育に於ける訓育施設に就て

白老郡白老青年學校 小石川 夏

緒言

一、實業補習教育の目的

- (2) 言語の明瞭・簡潔
- (3) 命令の服従、快諾直ちに實行。
- 返辭の仕方「ハイ」
- 實行後の報告

- (4) 姿勢・服裝の端正……訓練服にて押通す。
- (5) 物品授受の態度作法
- (6) 長上の話注目謹聽……聽講道の徹底
- (7) 寢食其他生活の規律化
- (8) 時間勵行、約束實行
- (9) 動作活潑、勇往邁進
- (10) 絶對禁酒禁煙
- (11) 斬髮勵行
- (12) 貯金勵行……國防貯金、積立貯金、其他

二、住宅整理

石狩信濃國民學校規定を參照し印刷配布の上實地訓練を行ふ。

本校生徒は左記要項に基き創意工夫をなし住宅の整理をなすべし。

- 一、門柱若くは門口に戸主の門札を掲ぐること。
- 二、戸主の門札と並べて自己の名札をかゝぐること。
- 三、神棚・佛壇・床の間は常に清淨にし活花も亦新鮮なること。

二、徳性の涵養

- 1. 徳性の涵養
- 2. 實業に關する知識技能の陶冶
- 3. 身體の鍛鍊

以上の三大目的は、渾然たる三位一體の指導を要求する事は勿論であるが、特に徳性涵養の訓育的指導を其の中心根幹とせねばならぬ。若し然らざる時は、徒らに實利的功利主義に惰して、世相の弊害を益々深からしむる結果を招來するに到るだらう。勿論、經濟に立脚せざる生活はあり得ないし、眞の知識技能は、道德的品性の背景を絶對的必須條件とするものであらうし、又補習教育設立の使命に農漁村の經濟更生を策するものではあるが、何と言つても、農民道、商人道に基く精神的訓育に其の基柢を据へねばならぬと信ずる。誰かの言の如く「汝の國の青年を示せ、然らば其の國の將來をトせん。」と。我々は村の青年の風儀、態度、言行、人情、それ等の生活訓練、精神陶冶に力を致さねばならぬと信じて居る。以下特に本校に於て採りつゝある訓育的施設の一般を述べて御叱正を希ふ次第である。

實 際

一、生徒實行事項

(1) 敬禮の嚴肅……内に恭敬。禮儀の根幹

- 四、毎日服膺すべき家訓或は教訓其の他心得書の如きものを適當なる個所に掲ぐること。
 - 五、書類箱又は書類袋を設け類別して整理すること。
 - 六、時計・桂曆各種の表け最も活用する、場所に置くこと。
 - 七、雨具類は入口等に整然と吊すこと。
 - 八、下駄箱(空箱利用も可)を設け各自名の所に始末すること。
 - 九、住宅の周囲を美化する爲め適宜に花壇庭園を設けること。
 - 十、壁・襖・戸障子等の破損は直ぐに修理すること。
 - 十一、流湯・井戸端・風呂場の清潔整頓を計ること。
 - 十二、塵芥は穴を掘つて投棄し、肥料となるものは堆肥場に入れること。
 - 十三、間毎に充分機能を發揮するやう工夫し、押入れ其の他すべて立體的に利用整理すること。
 - 十四、非常の際を考慮し家族協議して部署を定め且つ搬出の準備順序を考へ置くこと。
 - 十五、すべて整理は能率的、經濟的、美的、衛生的に工夫すること。
 - 十六、金品の貸借表を設け或は小黒板を吊して備忘、計畫に役立たしむること。
- 三、各心得書類分**
- (一) 農家十訓
 - 一、土を愛せよ。
 - 二、草を生やすな。
 - (二) 青年十訓 (或る雑誌より)
 - 一、汝の總べての瞬間をして、自己の向上の最善の過程たらしめよ。
 - 二、主入の心に同化して働くが奉公の眞義。
 - 三、奉公に來た日の心いつ迄も。
 - 四、退辭ははつきり、大きく早く。
 - 五、客には商品と満足を賣れ。
 - 六、日向より陰の仕事がよく光る。
 - 七、勤勞と報酬を天秤にかけるな。
 - 八、希望を未來に持ち全力を現在に注げ。
 - 九、骨惜みせず時間を惜め。
 - 十、事に當つては責任を重んぜよ。
 - (三) 商店員十訓
 - 一、土地を遊ばさぬやうにせよ。
 - 二、播種收穫の期を誤らず販路に注意せよ。
 - 三、利益ありとて一種類のみ作るな、天災あるを知れ。
 - 四、長種より良作生る。
 - 五、堆肥を作れ、自給自足は總て農家の本分と知れ。
 - 六、家畜を飼へ、而して愛せよ。
 - 七、冬期間の収入の道を計れ。
 - 八、稲穂は汝の辛勞に對してのみ首を下げるものと知れ。
 - 九、自力更生 起ち上れ、吾れに無限の力あり。

- めよ。
 - 二、打てば火が出る、切れば血が飛ぶ、潑刺たる意氣の所有者たれ。
 - 三、静思せよ、而して健闘せよ、確信ある道に向つてのみ邁進せよ。
 - 四、働けば凍る間もなし水車、安逸は汝を墮落へと導く。
 - 五、七轉するも八起して運命の轉廻を圖れ、失望は自殺なり。
 - 六、大器は晩成す、成功に急なる勿れ、百里の旅の半は九十里なりと知れ。
 - 七、明日を頼むな、現在を働き抜け、刻々の勝利が最後の勝利となる。
 - 八、俯仰して天地に愧づるな、人生最上の幸福は心中の光風霽月にある。
 - 九、毎日汝が父母をしのべ、孝養の念類れたる時は汝は誘惑の淵に沈みつゝあるなり。
 - 十、國家社會の現状を見て泣け、行住坐臥、汝の一言一行、國家愛、人類愛の發露たれ。
- 四、校訓**
- 流汗鍛鍊 同胞相愛
 - 一、生徒は忠孝を盡すを本分とすべし。
 - 一、生徒は規律禮儀を正しくすべし。
 - 一、生徒は自治協同を重んずべし。
 - 一、生徒は公德を重んずべし。
- 五、訓育の機會**
- 一、生徒は勤儉を旨とすべし。
 - 登校して修學、習業、休憩、娛樂の間も、日常家庭にありて業務に従事する間も各自の注意により修養の機會ならざるなき事を自覺せしめる。
 - (1) 學校にある場合
 - 登校下校の途中及時刻 教室の出入
 - 當番勤務 備品の取扱
 - 圖書閱覽の際 教師に對する態度
 - 修學習業上の心得
 - (2) 家庭にある場合
 - 家庭に對して 家族に對して
 - 隣人に對して
 - (3) 諸會合の場合
 - 公共物 公共事業に對して
 - (4) 村内長老先輩に對して
 - (5) 生徒の催す諸會合の場合
- 六、社會奉仕**
- (1) 神社佛閣及御駐蹕の跡清掃奉仕
 - (2) 學校神社の植樹奉仕
 - (3) 祭典奉仕
 - (4) 道路の修理

七、其他

- (5)其他
 - (1)非常時訓練……非常召集、火災に處する特殊訓練
 - (2)自治班組織……班長副班長、自治協議
 - (3)日誌記載……金錢出納簿を兼ね
 - (4)受戒講習……宗教的情操陶冶
 - (5)國體觀念……根本的指導精神
- 神社參拜、神宮・宮城遙拜、國旗掲揚式、……等

青年學校出席督勵に就て

澗棚郡種川青年學校
山口安之助

(前略)

- 一、三月中の家庭訪問
- 1.家庭に於ける當人の働き 2.相當年齢に達したること。
- 3.父兄としての責任 4.社會人としての責任。
- 5.國民としての責任 6.出席の重大なること。
- 二、入學式に於ける自覺的訓示。
- 1.身體的優秀なるものになること。
- 2.精神的優秀なるものになること。

- 3.世界の主班たる日本人となること。
- 4.部落を支配する青年となること。
- 5.出席の重大なること。

三、後援會の活動

- 1.其部落の役員の活動。 2.設備の後援。

四、母の會の活動、青年團(男女)、在郷軍人會の活動。

- 五、出席の爲又生活し得ざるものには
- 1.物品の給與。 2.金の給與。 3.生徒の手傳。

六、誓約捺印

- 1.事面倒と見たるときは前日保護者と誓約をなす。
- 2.怪しと見たるものに實印を捺さしむ。

七、肉彈督勵

當日督勵 校長自ら出頭、朝、晝、午後。

本校數學科指導の實際

上川郡神居青年學校
藤原香雄

一、序

- 1.青年教育と數學科 (省略)
- 2.農村生活の數理的反省 (各項の説明省略)
- (1)農村生活の窮狀

特別授業日 農閑期

5.本年度指導力點

- (1)珠算・筆算を課し實用的計算に習熟せしむ。
- (2)經濟的觀念の涵養につとむ。
- (3)精確なる思想と精密なる思考力を養ふ。

四、細目の作製

1.教材選擇の基準

- 公民科、職業科との連繫
- (1)生徒の身心發達の程度を考慮する。
- (2)本村の實情に即し教授時數並に時期を考慮する。
- (3)校下農村の自然人文中より多く取材。
- (4)農村生活の慾求を満たし自己發展の價值興味を起し得るもの。
- (5)時事問題、偶發事項中適切なものを取る。

2.教材の排列

- 1.基本的教材毎年繰返す。
- 2.其の教材は一定年間に循環。
- 3.時事問題、偶發事項は隨時。

○必しも教材の發展系統によらない。

本校數學科の教授細目 (省略)

五、指導の實際

1.教科書

	前期	後期	高等科
男子	五〇	三五	一五
女子	五〇	五〇	一五

但し女子は本年度 前後期共一五時

4.教授時期

通常授業日 男子毎月五日(五、一五、二五)

女子毎月三日(三、一三、二三)

(2) 細目指導要項に従ひ問題並に指導事項を掲げて教科書作製

(2) 生徒の學習に便するために形式は、ノート併用のものとす。

(3) 形式並に内容例 (省略)

1. 珠算と簿算

珠算は毎時十分乃至二十分練習。

時間の最初或は中途に珠算を入れる。

3. 時事問題並に事實算

新聞の産業記事、農業雜誌、郷土公民教材の活用、生徒が家庭で起つた問題を提供して之を解く。

4. 他教科(公民科、農業、家事科)との連絡

(後略)

教練指導上の私案

札幌郡平岸青年學校

南留三郎

一、現代青年指導法

A 迎合的指導法

B 率制的指導法

青年は強く眞理を求め、又眞理に對し青年は誠に弱

し。

二、教練の如き主として形而上よりのものは必ず心的効果を求め、宗教的指導を要す。

三、主事校長と指導員並に生徒三者互に信じ合ふこと。特に指導員は中間的存在なれば生徒の校長に對する人格的感化せしむる様努むべきである。

四、校長の指導員に對する絶對的信頼。

五、校長指導員間の絶對的兩者の信頼の構成はたとへ兩者の缺點不備を補ひ猶生徒をして兩者を信ぜしめ得。

六、生徒指導にあたり善惡混用し迎合すべきでない。

善惡を率直赤裸々に導くとき現代青年を明くす、これ唯一の手段方法なり。暗き青年(煮え切らぬ)とは善惡混用の教化を受けたるに因す。(眞理にふれない教育)

七、入所出席並に教育効果について、

八、青年には何を教ふべきか。

青年と眞理考察

九、結論

郷土の更生と公民教授の行き方

留萌郡三泊青年學校

街道重治

一、前言 (省略)

二、郷土更正と青年學校教育

1. 自力更生運動と漁農村の教育 (省略)

2. 青年實業補習教育の本質 (省略)

3. 郷土化教育の眞意義 (省略)

三、郷土の更生と公民教授の行き方

1. 公民科教授の行き方

青年實業補習教育の本質と農漁村更生運動の提唱から考察して青年學校に於ける公民教授の行くべき道は郷土化教育の徹底に在ることは前述の通りであると考へる。

曩に文部省訓令第十五號を以て公布された實業補習學校公民科教授要綱を都市用と農村用と對照して考察して見ると前の法制經濟科時代と其の趣を異にし教材に於て教授要旨に於て多分に郷土化生活化を採用してゐることは喜びに堪えない次第である。

公民教授の郷土化の要諦は一言にては言つくせないが次に示す。郷土に於ける人口の増減、出入、産業、金融、

交通、衛生、選舉等の公民生活の實情を青年と共に調査研究してその長所短所並に特殊の色彩を捕へ之を理解せしめ、常に問答式課題式の教式を活用し生徒をして之が對案を作製せしめ、郷土更生に努力せしめると共に、一般社會問題の本末輕重についての判斷力を養成するに在りとするものである。

2. 教授實際上の留意點

(一) 教授と訓練

公民教育の方法論としては公民教授と公民訓練との二つに分つても教授といひ訓練といふも個々別々に單獨に施さるゝものではない。即ち教授のうちに訓練が潜み訓練の蔭に教授が宿つてゐるものである。公民教授はその性質上特に兩者の相關的關係に立つて一つの渾然たる指導に依つてのみ所期の目的を達することが出来るのである。

従つて公民教授に際しては常に訓練の機會を忘れず又訓練によつて教授の効果を一層大ならしめるやうな心掛けること肝要である。

(三) 生徒が現に公民であることの認識

生徒が現に漁村の一員として社會共同生活を営み生命財産の保護教育衛生其他諸般の社會的施設の恩澤に

浴し、公民たるの社会的地位については何等大人と異なることがなく唯年齢の差異に依つて其の盡すべき任務を異にしてゐるのみであるといふ自覚である。公民教授を施すに當りこの間の關係を明らかに認識し生徒を若き公民として取扱ふべきである。かくして始めて公民教授は郷土並に生徒の實生活と契合し公民教授の郷土化教育の目的を實現し得るものと信ずるのである。

問答式課題式等の教授様式を活用し生徒をして社會施設を理解せしめると同時に之が對策を計畫するの習慣を養成し以て社會共同生活に責任を感じる態度を培ふやうにしたい。殊に郷土並社會の諸問題を調査計量しこれが價値を判斷してその實行方法を考究せしめることは公民教授の特色である。

3. 公民教授の施設

1. 揭示教育
2. 公民科資料綴
3. 新聞
4. 見學
5. 郷土調査とその發表會
6. 討論會
7. 公民科資料展覽會

(三) 教授の様式(教式)

従來の公民教授は講演式にのみ依つてなされたのであるがその効果に對し疑ひを持つものである。殊に郷土更生に志向する公民教授に於ておやである。

四、我校に於ける公民教授要綱 (一部)

題目	要目	細目	郷土の考究	課題其他
我が町村	一、我が町村	一、我町村の現勢	一、留萌町と三泊村の現勢	留萌の發展と三泊の將來
二町村と町村民	二、町村と町村民	二、自治の精神 一、町村の自治 二、町村制に本旨	二、同 沿革 一、留萌町發展と町民の意氣 二、三大願願 税關、沿岸鐵道、市制	

町村の自治	公民	議員の選舉	町村會	町村役場
一、自治 二、町村の自治	一、町村民 二、公民權の尊重	一、町村會議員 二、選舉と公正	一、町村會 二、議員の心得	一、町村吏員 二、町村の事務
一、自治 二、自治の精神 一、町村の自治 二、町村制に本旨	一、住民と公民 二、公民の權利と義務 一、公民權の尊重	一、議員の選舉 二、選舉權 三、被選舉權 四、選舉方法 一同 上	一、町村會 二、町村會權利 一、町村會の議事 二、町村會の心得	一、町村長 二、其他吏員 一、町村の事務 二、町村の事業
	一、公民と青年 一、棄權統計による自覺及地方自治の革新	一、村民理解の程度 二、違反の實例と我等の自覺	(町會見學傍聽)	一、各課の事務內容 二、我町の水道、町立病院
			町會傍聽の感想	

町村の財政	町村の財政	町村の財産	租税	産業組合
一、町村の財政 二、豫算と決算	一、町村の財政 二、歳入歳出 一、豫算と決算	一、同 二、基本財産	一、租税 二、納税	一、産業組合 二、(漁村)と産業組合
一、町村の財政 二、歳入歳出	一、町村の財産 二、町村の營造物 一、基本財産 二、基本財産の造成	一、租税 二、租税の種類 一、納税の心得	一、産業組合 二、同の種類 三、同と會社 一、漁村と産業組合 二、組合員の心得	一、産業組合 二、同の種類 三、同と會社 一、漁村と産業組合 二、組合員の心得
一、我町の歳入と歳出 種目別による歳出入及各種の割合 一、我町の一般會計特別會計 二、地方債と町債三百萬圓償還問題	一、我町の財産 二、營造物の使用料及心得 一、基本財産の現状	一、租税、一戸當、漁家負担額 二、租税の種類と手數料 一、納税組合の現状	留崩信用購買販賣組合 北聯組合産青聯	留崩信用購買販賣組合 北聯組合産青聯
町債問題について	營造物使用心得 基本金造成案			組合に関する調査 漁村更生と産業組合

北海道の行政 (我が府縣の行政)	漁村の開発 (農村の開発)	水産會と漁業組合 (農會)	金融	
			一、金融機關 二、信用	
			一、信用組合 二、頼母子講 三、銀行 一、信用の種類 二、信用證券	
		一、水産會 1. 水産會 2. 水産會の事業 3. 水産會と我漁村 二、漁業組合と我漁村	一、留崩信用組合 二、講數、落札、返濟事情 質屋、留崩公益質屋 三、殖銀道銀と我漁村	一、留崩信用組合 二、講數、落札、返濟事情 質屋、留崩公益質屋 三、殖銀道銀と我漁村
一、北海道の自治 1. 同 2. 北海道長官 3. 道會、道參事會 二、北海道行政官廳 1. 北海道廳 2. 支廳	一、漁村の特質 二、漁村の生活 三、建網刺網と引込關係 四、模範漁村			一、留崩信用組合 二、講數、落札、返濟事情 質屋、留崩公益質屋 三、殖銀道銀と我漁村
	我部落の長所短所 模範漁村への道			頼母子講調査

我が北海道 (我が府縣)		
備考	1. 題目、要目、細目は文部省訓令第十五號實業補習學校公民科教授要綱に依る。	
		一、北海道の沿革 二、同上の現勢 拓殖計畫

本村青年教育に於ける生活指導に就て

石狩郡新篠津第二女子實業補習學校 背戸直記

緒言

郷土全青年實生活指導の徹底を期す (全郷土を教室として)

- 方針
- イ、勤勞第一主義
 - ロ、郷土愛の涵養
 - ハ、共存共榮 相互扶助の達成
 - ニ、農村に對する研究的創作的態度の養成

ホ、農村生活に對する人生觀の確立

信條

「キメタ事は實行する」
一事貫行 努力第一主義

施設概要

社會教化運動

イ、修養會
修養會新篠津支部を設置、村の中堅たる青壯年之れが團員となり、今や全村的に男女青年の参加を見るの狀況にあり。農閑期は毎月一回農繁期は隨時向上會を開催、總親和總努力を目標として善風の作興に精進努力す。

ロ、社會奉仕
道路の改修 神社佛閣境内の清掃 墓地掃除
指導標 揭示板 公德箱 主要道路の除雪
其他の奉仕事業

更生運動

各種團體と協力村更生計畫の一部を分擔し之れが實行に参加す。

男子青年に對する施設

組織を修養部と産業部に分つ

修養部は更に學藝部と體育部に分れ産業部は生産部と經濟部に分ち各々部長を定め分業的に活動方法を考察指導す、而して各部に於ては其の細目を擔任するに過ぎず事業實行に當りては全員一丸となりて行ふ。部屬の分れは交互に指導者の位置に立たしめる爲である。

一、修養部

- イ、學藝部……主として學校と聯絡を保ち知徳の向上を計る……
 - 1. 夜學會(毎年十一月月上旬より十二月下旬まで)
 - 2. 修養會(向上會)
 - 3. 會報新篠津青年の發行
 - 4. 講習會(一日講習・一夜講習)
 - 5. 辯論會
 - 6. 見學視察
 - 7. 農事懇談會
 - 8. 青年巡回文庫 (四ヶ所に設置)
 - 9. 巡回講話會
 - 10. 修養書の購讀(青年カード・修養團雜誌・家の光)
- ロ、體育部……主として在郷軍人分會と聯絡を保ち體育の向上を計る……
 - 1. 剣道(冬季間三ヶ月行ふ 全員参加)

二、産業部

イ、生産部……主として農會の活動に協力生産の増收に努む……

- 1. 採種圃の經營 (農會よりの割當により實施す)
 - 2. 堆肥・綠肥の増産 (各部より堆肥増産計畫案を提出せしめ且其成績を調査し優良部へ獎勵金を交附す)
 - 3. 病蟲害其他の被害防止
 - 4. 防風林の手入及造成
 - 5. 家禽家畜の増殖
 - 6. 農作物作付及施肥の合理化
- ロ、經濟部……主として産業組合と連絡を保ち組合の利
用と貯金の獎勵に努む……
- 1. 貯金(毎月一回經濟班員は受持区内より集金の上産業組合に預入る)
 - 2. 備荒貯蓄(農事實行組合の活動に協力徹底的勵行に努む)
 - 3. 農業簿記の記帳(農業經營に於ける收支を明確にし經營の合理化に資せんとす)

女子青年に對する施設

イ、修養方面

- 1. 女青ター(毎月一日・十五日を女青ターとし一日一善を勵行カードに記入す年度末に展覧をなし相互の修養に資す)
- 2. 修養會(向上會) 講習會(一日講習・一夜講習・禮儀作法)
- 3. 青年カード・修養團雜誌・家の光購讀
- 4. 女子青年巡回文庫
- 5. 見學 視察
- 6. 敬老會

ク、生活改善方面

- 1. 制服の設定
- 2. 生活改善展覧會
- 3. 講習(料理・編物・廢物利用・家庭衛生・家庭染色・家庭パン)
- 4. 臺所改善

ハ、家庭經濟方面

- 1. 家計簿
- 2. 食卓の自給自足
- 3. 味噌醬油の全量自給
- 4. 貯金の勵行(預入先は産業組合とす)

ニ、奉仕的作業

- 1. 神社佛壇境内の清掃
- 2. 道路の清掃
- 3. 學校使用の雑巾奉仕

結 び (省略)

小學校に於ける農業經營の私見

雨龍郡妹背牛小學校 鹿角 猛 夫

一、緒論 (省略)

二、本論

- 1. 小學校に於ける農業科に就て (省略)
- 2. 小學校に於ける女子の農業科 (省略)
- 3. 小學校農業科の設備に關して (省略)
- 4. 學校中心の農業經營 (省略)
- 5. 農業教授に當りて (省略)

6. 該科の徹底を期する爲兒童を表彰する方法を講ずる事

7. 實習に於ける工夫 (省略)

8. 本校に於ける農業經營の狀態

一、農業教育の方針

自然の恵を多分に受ける我々人間生活の根柢としての農業科は實業的修練を與ふべきものにして決して農村に於ける一農民を作るべきものではない。即農村の自然と生活を通して眞の國民眞の人間を育てる事でないならばならぬ。従つて我校の教育方針としても堅實に自然の中に於て土に親しみその業に勤む習慣を養ふ所謂勤勞教育汗の教育を理想目標として進みつゝあり。即ち

○學校全體の空氣をして農業尊重の空氣を作ること。

- 1. 全校職員の有機的活動
- 2. 全校兒童の農業的訓練

勿論右訓練に於ての教師の態度は單なる農業の知識や技術の教授でなく農業に關する趣味の養成である。自然に對する親しみを養ふ心情陶冶に努めなければならぬ。

二、農業科の教授方面

1、教材

指導者は一單元の教授の分量並に其教材の目的及び其

主眼點を確實に握むこと。即教材を自由に取扱ふ様にし同時に郷土に於ける參考資料を十分に準備し一面之が教授の出發點となり研究點として、より環境に順應せる教育を施す。

ロ、方法

教授の方法は之を徹底せしむべく研究工夫を要する事は勿論であるが次の事項に注意すべきこと。

- 1. 實際化する
 - 2. 趣味化する
 - 3. 郷土化する
 - 4. 宗教化する
- 學科と實習との關係は常に密接なるものにして之を區別して取扱ふ事は一考を要すべきだと思ふ。従つてその教授は屋内で之を行ふか或は屋外で行ふかの區別位に考ふべきだらう。要は直觀教授體驗教授にして實驗實習より入つて教科書を眺める様に努めること。

三、農業科の實習方面

A 實習の方針を述べれば

- 1. 學理を實地に應用し實驗觀察を尊重すること。
- 2. 農業趣味の養成に努むること。
- 3. 農業教育を郷土化し郷土の名産郷土の特産物を發見するに努め一途進展を企圖す。
- 4. 努力と經濟的なることを重視し常に厚生利用の精神を養成す。

B 實習方法

- 1. 實習能率を高める爲に廊下に實習豫定板を設け(男子・女子共に)各組のその時間になすべき仕事を明示す。生徒はそれを見る事により休時間に仕業に取かゝる準備をなし作業進展の圓滑を期す。
- 2. 實習中教師は常に巡視して個別指導をなし一般兒童に知らしむる必要がある場合には全兒童を集めて注意すること。
- 3. 實習終了後は農具を清潔にし農具舎に整頓後一定の場所に兒童を集合し講評をなす。
- 4. 實習中出来るだけ無駄はぶく。

C 實習の種類

學校實習は左の三種に類別することが出来ると思ふ。

- 1. 共同實習
- 2. 組別實習
- 3. 個人實習

以上三種の中個人實習は一面長所を有するも學校實習地の關係其他に考慮を要する點あるを以て、本校に於ては共同組別の二方法を探つてゐる。學校の個人實習の代りに家庭に於て「二坪農業」を行はしめてゐる。即郷土を中心における農業教育は單に學校にのみ止まらず家庭迄及ぼし兒童の農業に對する興味を養ひ兼ねて勤勞利用の習慣を養ひ家庭との連絡を圖り進んで學校を中心として農業改良を行ふにある。

D 學校實習地

總面積 ○・九五五ヘクタール
1. 學校園 面積 ○・〇九五ヘクタール
尋常二年以上尋常六年迄と高一、二年の女子
各級分担受持指導のもとに管理しつゝあり
a 教材園 面積 ○・〇三ヘクタール
b 學級園 面積 ○・〇六五ヘクタール
種苗は農業担任より各級に配布す。

2. 農業實習地
a 面積 ○・八六ヘクタール
高一、二男子實習地 ○・七ヘクタール
高一、二女子實習地 ○・一六ヘクタール
b 地質
女子實習地 砂質壤土
男子實習地 植質壤土
c 栽培作物の實際
イ、普通作物
○大豆(中生裸) ○菜豆類 ○馬鈴薯(エゾ錦・男爵芋)
○燕麥(ピクトリー一號)
○玉蜀黍(ロングフエロー・ゴールデンパンダム)
○小豆(早生大粒)
ロ 蔬菜類
○甘藍(パンダーゴ・コッペンハーゲンマーケット)
○蕃菽 ○越瓜(高田越瓜) ○結球白菜(松島)

○南瓜(テリシヤス・甘栗) ○大和芋(徳利芋)
○人蔘(札幌大長) ○胡瓜(加賀節成) ○夏大根
○葱(札幌太葱) ○土當歸 ○みつば
○蕃茄 ○體菜(札幌白莖) ○アスパラガス
○苺 ○蒔
其他果樹として梨・梅・葡萄等を栽培せり。
以上作物の選擇標準は
イ 郷土を中心として考へたるもの。
ロ 児童に出来るだけ多くのものを知らしめたい。
ハ 販賣利用に便なるもの。
ニ 趣味多きもの。

E 畜舎

職員児童の手によつて出来上りたるものにして外觀頗
る粗雑なるもその教育的過程を思ふ時良き體驗を得た
と思ふ。
現在飼育しつゝある家畜は
○牛(ホルスタイン(牝當年三才目下妊娠中)
○細羊(メリノウール種) ○豚(ヨークシャヤ(先月大頭分娩))
○兎(ニュージランドホワイト・カスターレットキス)
○雞(白色レグホン(アトキンソン系))
1. 牛(受持學年高等二年男子)
經濟的なる飼育管理法並に合理的農業經營に必要なものな
ることを知らしむ。

F 堆肥場

農業經營費用の大部分は肥料代となり現今盛に唱導されつゝあ
る堆肥製造も結局は金肥の節約に外ならぬと思ふ。此意味に於
て本校に於ては全學年を通じて一本の草一本の葉をも無駄にせ
ず堆肥場に積む習慣を養つてゐる。

G 農事々務所

實習地家畜一般に亘りて經營するに當りてその事務も廣汎に亘
る故その統制を圖る爲畜舎前に事務所を設け日誌及び注意事項
を記載せる黑板をおき児童は此處に於て日誌を記入し注意事項
を見てその仕事に當る。

H 畜舎・農具修繕

手工との關聯をとり畜舎は勿論簡單な農具の製作修繕は児童職
員の手によりてなす。

I 農事休業・夏季休業中の指導

1. 定期召集 2. 課題作業

J 實習物の處理

實習はその收穫が目的でない事は勿論なるも收穫物も又教育的
に處理すべきである。

1. 家事科との連絡をとり試食會を行ふ。
2. 販賣實習 3. 統計的の調査 4. 品評會

K 農業祭

農業奨励と農業慰安、家畜作物に對する感謝を目的として關係
學年及び全職員出席して農業祭を行ふ。此機に學校長初め各職

2. 細羊(受持學年高等一年男子)

飼養管理を教ふるのみならず進んで加工法を授け兒童をして
自給自足の念を養ふ。

3. 豚(受持學年高等一年男子)

農村に於てやかましく言はれてゐる養豚は廢物利用によりて
飼育せられ農家副業として最適なるものなり。尙豚をして汚
物扱せし一般の皮相的見解を改め兒童をして衛生的飼育並に
管理法を教ふ。

4. 雞(受持學年高等二年女子)

農家の副業として飼育するは勿論將來一家の主婦として家畜
に對する理解並に毎日記入する日誌によりて後日の參考と
し、又簿記の練習並に經濟的觀念を養成せんとす。

5. 家兎(受持學年高等一年女子)

家兎の合理的飼育を教ふる。兎は温順なる動物故大人は勿論
子供にも養ふことの出来るものであり飼料は殆んど無代價で
あり農學の副業として最適なり。

6. 温室(受持學年高等二年女子)

娛樂的經營から一般化されつゝある温室は總て農村に於て實
用化されつゝあることは事實なり。花卉栽培によりその趣味
を養成し情操陶冶を行はんとす。

7. 丘室(管理高等二年男子)

冬季間の野菜貯藏並に蜜蜂の越冬、卵貯藏、茸栽培、灌木類
置場(冬期間)等を使用せり。

員の感想並に兒童の經驗感想の發表を行ふ。

L 優良兒童の表彰

授業日夏季休業中等よく精勵したるものには第二學期初めに於て精勵賞状を授與し第三學期に於ける卒業式には賞状を授與し卒業學年に限り賞品を授與す。

M 設備(農具)

- 1. 唐鍬 四〇
- 2. 鎌 四五
- 3. レーキ 一〇
- 4. ホー 一〇
- 5. ホーク 五
- 6. 切替鍬 一
- 7. 條立器 一
- 8. 移植鋤 一〇
- 9. シヤメル 一五
- 10. スペード 四
- 11. 其他荷車 一

三、結論(省略)

當校に於ける高等小學校實業科取扱に就て

檜山郡柏樹小學校 針谷 爲治

- 一、小學校令施行規則と實業科目(省略)
- 二、訓令より見たる高等小學校の目的(省略)
- 三、高等小學校に於ける職業指導(省略)

四、當校に於ける實業科目取扱の試み

A 父兄職業別及兒童將來の志望に依る學級編制

農・水・商・上 } 本年度より實施

級學校志望

B 學科擔任

C 實習

(一) 水産の實習

牡蠣の垂下式養殖……支廳水産係・江差水産加工場の指導によりて目下試験的に實施

(二) 商業實習〔高等三年〕

- 1. 資本 二十圓 兒童保護會より一時借入
- 2. 備付帳簿(單式簿記) 本學期中途より複式に改むる計畫

元帳・賣上帳・仕入帳・日記帳・現金出納簿

3. 仕入

仕入先 町内卸商店を主とし、稀に注文による事もある。

仕入商品 主として學用品……擔任教師指導の下に、商店との交渉に當らしむ。

4. 販賣 現在八學級内を主として、漸次に範圍を擴大する豫定なり。賣價は市賣を標準とす。全級を八分し一組の實習期間を一週間とし、

週毎に帳簿の締切をなさしむ。

別に係員を定め、實習補助及連絡に當る。

5. 効果

- イ、簿記法の實際練習
- ロ、商業に對する興味喚起
- ハ、仕入販賣に對する理解
- ニ、諸書式の實際練習
- ホ、其他別式的に消費經濟の合理化、生産的知識、協同一致、積極堅忍等の道徳涵養

裁縫科と他教科との連絡に就て

常呂郡訓子府實業補習學校 棚澤 磯子

裁縫科と修身科

技能教科として女子の日常生活に必要な裁縫の技能を授ける事を本務とはいたしますが本科が女子のみに課せられてゐる特殊の學科である關係上技術の修得と共に女子としての躰をなすに最も適當なる學科であると思ひます。今修身科に於て學んだ及學ばんとする徳目中裁縫科との連絡關係のものをあげますと、

一、禮儀作法

- イ、言葉遣ひを正しくすること。
- ロ、動作をしとやかにすること。

ハ、容儀を整へること。

ニ、服裝を正しくすること。

ホ、物品などの受渡しに注意すること。

ヘ、私語せぬこと。

二、よい習慣規律

イ、針は細小鋭利なもので且危險の虞れが多いから紛失せぬやう大切にすること。「作業の始と終りに必ず數を調べること」

ロ、學年により使用する針を調べておく。

ハ、用具の整頓に注意すること。

ニ、自分の所持品には必ず氏名を記しておく。

三、勉強忍耐

イ、勉強する事によつて運針及び其他の作業の熟達を圖ること。

ロ、着手したる作業は中途にて止めることなく成しとげること。

ハ、他人に依頼せず自分の力にてなすこと。

四、儉約

イ、華美に流れぬこと。

ロ、安りに流行を追はぬこと。

ハ、學習用布・道具・小切・短き糸・屑糸に至るまですべて粗末にせぬこと。

ニ、洗濯、補綴等によつて用布の節約をはかること。

五、工夫

イ、時代に適應して改良に注意せしむること。

ロ、裁ち方、積り方等にも工夫考案を奨めること。

ハ、古きもの、繕ひ方及其の利用の方法などを考へしめること。

ニ、古き大人物を小人物に、四つ身を三つ身に、羽織を着物に仕立換へ或は蒲團袋等に作りかへる等。

ホ、裁ち落し切れ等を利用する方法を考へしめる。

六、主婦の務

イ、婦女子として身分の高下にかゝらず是非學ばねばならぬ學科はいろいろあるが、特に裁縫科の巧みに出來ると否とは家庭生活上に大なる影響を及ぼすものなることを知らしむること。

ロ、總て器具・材料品の取扱方、衣服の保存法及出し入れ等については秩序・清潔整頓の大切なるを知らしむること。

以上これらの課との關係について考へを進めたわけですが要は常に兒童の精神生活の指導に重きを置き而してその管理・訓練方面には特に注意すべき必要があらうと思ひます。

裁縫科と國語科 (省略)

裁縫科と算術科

裁縫科は兒童が算術科に於て學んだ知識を應用する場合が多いので以下主なるものを擧げてみますと尋常科四學年までに長さに關しては相當に學習もし又尺度を使用して實測することも可なり練習してゐるやうでありますから是に關係して、左の諸點に留意して教授に當りたいものと思ひます。

尋 四

一、メートル尺の目の読み方や各單位間の關係を練習せしめる。

二、素縫と本縫との糸の長さ、學習用布の長さ廣さなどを測ることから各種縫方、駢方・紵方等に於て縫代・縫目・着せ紵代・紵目等普通寸法を知らせる。

尋 五

三學期(七十九頁)左の圖は着物のたちの寸法を示す圖である此の着物を作るに要する反物の長さは何メートルか(圖略す)

教師用 着物の各部の名稱即ち袖・身頃・衽・衿を實物に就て説明し此の處に掲げたるものは大人女物の寸法なることを注意すべし。

教師用 圖の寸法よりも身頃と衽が三糧づゝ短いと反物の長さは何程あればよいか。

尋 六

三學期(七十九頁) 左の圖は四つ身筒袖の着物の裁方寸法を示す圖である。此の着物を作るには切れが何程いるか。

教師用 此の圖は四つ身筒袖の着物の方の寸法を示せるものなり。裁方の本裁と異なる點を説明すべし。

教師用 圖の寸法より袖が二十六糧長くて身頃二糧短いと切れの長さは何程いるか。

裁縫科と國史科

裁縫科と國史科とは服裝の變遷などを説く場合關係が多い。國史教科書にある人物の圖などによつてその服裝が古代より現代まで如何に變遷せるかを觀察せしめ大要の説明を加へる。そして現代の我が服裝が如何なる點に長所や短所があるか、或は如何に改善せらるべきか等につき考へさせることも必要であると思ひます。

裁縫科と地理科

衣服の材料として用ひられる織物の産地に關し地理科との關係が多い。實物や標本によつて其の織物の特色、衣服として適、否、代價、國産としての關係等を知らせたいものと思ひます。(種類と産地表省略)

裁縫科と家事及び理科

裁縫科に使用する各種の材料は動物や植物からとるものが多い。又染色や洗濯等に關しては理科及家事の知識に俟つ

ものが多い。(後略)

裁縫科と圖畫手工

圖畫・手工科に於て養はれた審美的觀察力によりて意匠をねり衣服の配色・柄・模様等の選擇及技術の巧拙・美醜等に對する觀念を正確ならしめること大切であると思ふ。教授細目に定められた題目に對しては繪畫・標本(實物・擴大・部分・兒童用)各種について直觀せしむること。

更に手工科に於て學習した手指の運動と綿密・整頓・清潔・秩序等に注意して物品製作能力を養ひこれを助長する事に注意すべきであります。

裁縫科と體操

裁縫作業に熱中したゝめ指先目などにのみ力を注ぎたる時姿勢をくづし又あきを生じ時には體操に於て學んだやうに指・腕・首・胸・脊・下半身等の運動をなし又は深呼吸をなす等も仕事の上に心氣一轉能率を増進させることができると思ひます。

結 び (省略)

家事裁縫科に對する私見

爾志郡明和實業青年學校
青山美和

(前略)

家事科に對する指導精神

先づ家事科から申しますと衣食住を根柢に看護・養老・育兒・家事經濟・一家の教育・一家の社交・一家の管理等凡そ主婦として母としての一切の任務を包含して居ります。

二百八十二戸調査

事實私共婦女達は朝から晩まで土に塗れ、魚の油の中に忙しいその日／＼を走りまわつて居ります。その婦女達の手で果して其の子女達へ、どれ程の家事的知識や技能を授け得るであらうか。しかも、これ等の娘達はやがて人の妻となり、一家の主婦となり、更に進んで尊い人の子の母となる運命を持つ人々でございます。私は茲に青年學校としての家事科の重大性と尊さを痛切に感じさせられるのでございます。この意味に於きまして各家庭の情況を調べて見ました。

臺所	明るい家、二〇七	暗い家、七五	改良なし
飲料水	川水、七七	湧水、七六	水道、一〇四
食品	朝食	カ	井戸
		液物	
便所	外便所、二一七	晝食	米飯・焼魚 米飯・南魚 其の他
風呂	有、一一八	な	米野米 魚料理
主婦の教育程度	小學校卒業程度、一五二	中途退學 其の他	裁縫を教へ得る人 一三〇
經濟思想・衛生思想に乏しく日常生活の潤澤を欠く			裁縫を教へ得る人 一三

右の様な事情でございますので指導精神などもいきほひかうした所から生れるのでございます。

そして彼等娘達の清い尊い魂と優しい純な自覺の許に疲弊せる村を幾分でも救ひ上げ、眞に幸ある家庭生活にまで引き上げた、あまりにも傳統的な現在の家庭生活をもつと現代化し、科學化し、社會化する様に精進しいのでございます。

裁縫科に對する所感

次に裁縫科に對する所感の一つを申し上げますと、縫ひ針は女の道のつかさなり

覺えてくらせ一生の徳

戰場にあつては敵を威伏せしめた乃木大将も、其の半面にはかうした女の業にまでお心をおかれましたことがよく了解されます。

凡そ世に女子と生れたるものは何人と雖も家事を治めなければなりません。衣類は衣食住の一として日常生活に缺くことの出来ないものであります。

随つて裁縫に關する知識と技術の如何は直に一家經營の上に重大なる影響を及ぼすものでございます。又裁縫は單にかうした實用上からの重要學科であるばかりでなく、之によつて勤勞・努力の効果を教へ、或は綿密・正確・忍耐等の習慣を養ひ婦徳の涵養上からも極めて價値の多い

教科でございます。で大體目標となるべき事柄を研究致しましたが

裁縫科の目標

單に現存せる衣類の作り方を指導し之を實習せしめて其の方法を納得せしむるを以つて満足するものではございません。之を學習せしむることにより郷土に立脚し日常生活の凝視の上に立つて、よりよき、より便利な、より合理的な、より經濟的な、より能率的な成果を目ざして常に創造的意義と即實的使命とを遂行するを以て本科の目標と致します。

目的遂行の手段方法 と致しまして

- 一、郷土を知る
- 二、生徒を知る
- 三、要求點を知る ことが大切でございます
- 四、發見上の一助 として

- 一、家庭 調査
- 二、家庭との連絡
- 三、各生裁縫科に對する要求
- 四、村内裁縫所(私宅教授)に對する空氣
- 五、教 材

等によつて容易に探知することが出来ます。即ち以上の調査によりまして最も郷土が要求する日常生活に合致し

た所の裁縫の姿が明かになるわけでございます。右卑見の一端を述べたにすぎませんが、理論も實際も品性陶冶も、系統だつた指導をするには結局系統だつた要目なり細目なりが必要でございます。かうした必要にせまられました貧弱乍ら一通り作つて見ました。お手元へ差上げました要目につきまして御説明申し上げます。

実施の跡

入學當初は基礎的技術に精勵致しました。本校訓練の目標

- 一、敬虔感謝 (道徳的訓練)
- 一、流汗勞作 (職業的訓練)
- 一、協同責任 (公民的訓練)

の三ヶ條を胸にし「明るく」「温かに」「淑かに」「まめく」「しい」氣分をもつて學校一致、生徒は習ふべき統一したる要目並に成績記載簿の自省筆を各自が持つて、着々取りかゝつて居ります。

卒業期に至つては、模様もの、重ねもの、男女兒洋裁に關するもの等競つて仕立て、展覽會・バザー等思ひがけぬ製作品に感銘することがございます。今日中に、明日中にと至急の仕立物を持ちこまれたり、運動會用の男

女兒服の御依頼を受けること等も、珍らしくございませぬ。來客の應接・饗應の場合の給仕など、施設の乏しい本村では、かなり調法がられて居ります。淺學な上に體驗の乏しい私には甚だ貧弱ではございませぬが只校長のおさしづのまゝ、進んで参りました過去を反省し、結局仕事の上に又仕事、山なす仕事を眺めては微笑することの出来る、清い正しい人格の陶冶こそ、我が郷土乙部が期待する眞の女性ではないでせうか。或は夢見る様な空想で實現の覺束なきを恥かしく存じますが實業青年學校家事裁縫科に對する私の態度でございます。

第四 其の他

原野生活改善への一考

野村郡然内小學校 佐藤八十八

- 一、新開地原野の食料自給
 - イ、入地初年
 - ロ、初年以後
- 一、昭和七年の凶作
 - イ、被害の大なる理由
 - ロ、原野民の狀況と原野の覺醒
 - 五ヶ年計畫の樹立による王畜農への轉向
- 一、將來の食料自給政策
 - 適地適作物の耕作により食料自給の基礎を安固ならしむるを以て此の政策の根本とす。
- 一、農産物の加工一例
 - イ、小麦 ○特殊のパン製造 (及びカステラ)
 - ロ、馬鈴薯 ○薯あん ○薯だんご ○薯うどん(そば)

- 薯せんべい ○薯羊かん ○薯饅頭
- 薯味噌 ○薯醬油 ○雪の華

- ハ、燕麥 そば 大麥
- 一、農産物加工による生活改善への指導
 - イ、男女青年の自覺
 - ロ、小學生の指導
 - 補習科に於ける指導
- 一、時間と經濟の考慮
 - イ、農閑期利用の講習
 - ロ、學校の美化より家庭の美化へ
 - ハ、我等の覺悟

漁村發展考察

利尻郡仙法志青年學校

堀田武一

- 郷土水産業概
 - 一、海面狀況 (省略)
 - 二、水産業者 (省略)

- 三、漁 船 (省略)
- 五、漁業種別 (省略)
- 六、漁業労働の特性 (省略)
- 七、漁業権の状態 (省略)
- 八、専用漁業権 (省略)

漁村發展の諸項及考察

天然資源の開發と之が保護とは、人類生存上の一大要務なり。食料問題に付此の要務にして果さることなくんば、木の葉を食ひ盡したる毛蟲が自滅の餘儀なきに至ると同じく、文物技藝は勿論、道義禮節をも打捨てて、忽ち餓鬼道に陥るべし。食糧問題は實に人類否生物に取りて最も眞剣なる問題なり。水産資源につき蕃殖保護の高く叫ばれる所により。

一、蕃殖保護及蕃殖助成

抑も茫漠たる水界に棲息する生物は、其の一種類たりとも、人力を以て殲滅せしむることは元より容易の業にあらず。即動物學的には無盡藏と稱することを得べきも濫獲の結果は所謂利益の境界に到達すること容易なるが故に水産生物は産業上決して無盡藏にあらず。彼の自給自足經濟にありては水族の蕃殖に比し採捕は至つて僅かにして、濫獲の弊は漁獲物が漸く商品化し來り、流通經濟時代に至りて醸成せられたるものなり。而して今日にありては、蕃殖保護及

び其の助成に因りて之れが増殖を期することは、實に生産の核心をなすものにして、總ての他の水産政策も之に因りて初めて生れ来るものなり。

今漁場を利用の状況によりて分類する時は大體三種に分つことを得べし。

第一 未開拓の漁場にして從來殆ど放任せられ、多大の生産力を包蔵するもの。

第二 現在の智識を以てしては完全に利用せられつつある漁場にして斯業に關する智識技術の向上に依り生産を増加することを得べきもの。

第三 濫獲酷漁若は他種産業の影響に因り、生産著しく衰頹し、又は天變地異により荒廢に歸したる漁場にして、生産減退の原因を除くか、或は進んで生産助長の方法を講ずれば生産を恢復し得べき漁場。

蕃殖の保護助成を要するは以上の内主として第二及第三に屬する漁場なり、即無用の生物を抑へ有用水族の増殖を圖り、漁場の利用度を高むることに因りて、人生に利益を招來せしむるなり。

消極的保護

禁漁期禁漁場の設定
體長體重の制限
輪採法の勵行
漁具漁法の禁止制限
漁獲物加工品の販賣禁止

生産の維持を主眼とし併せて生産の増加を期す。

人工孵化放流

種苗の配給
有害無用生物の驅除
磯掃除及投石
人工漁場の築造

生産の増加を主眼とし併せて生産の維持に努む。

有用物附着材の建設

二、補助獎勵の利用

國家は或る産業の存立若は其の發達が、國家社會に取りて重要なりと認むるときは、此の産業に對し特に直接的恩恵を施して其生産の維持發達を助く。然して水産業にありては經濟上に於ける生産の損失危険を減少するにあり。之れが實施に當りては補助獎勵を受くるものが、久しからずして改良の利益を知得し數度の經驗に獨立經營してよく利益を收め、企業者相踵いで起るに至り、遂には斯業の隆昌を招來せむことを眼目とすべきことなり。

三、指導機關の利用

本業指導機關は、水産業の技術に關し科學を應用し各種の實驗をなし、新方法の研究と發見とに努め、漁場の探究、生物及海洋湖沼に關する學術的研究及び各種の調査を施行し、種苗の孵化放流或は配給を斡旋し以て斯業の進歩發展を期し、講習講話模範作業等に因り當業者及其子弟を啓發指導するを以て任とせり。水産業者の之を利用すること未

だ多からざるは我邦の現状にして甚だ遺憾とす。是等の事業は云ふ迄もなく之を水産業の經營に應用せむことを目的とするものなるが故に單に試験研究の結了を以て満足すべきにあらず民間當業者も亦其結果と成績に注意し、之を信頼して自己の事業に參酌し以て期業の改良に資せざるべからず。

四、水産金融

水産資金の甚だ貧弱にして金融頗る逼塞せる現状に就ては特に説明する迄もなし。而して漁村に於ける金融機關の主なるものは、魚問屋・魚市場・魚類仲買人・水産物製造業者及金貸業者質屋無盡・仕込主・造船業者・魚網船具其他漁業用品の販賣供給者等にして近時漁業組合事業として資金の貸付をなすものもあるも未だ廣く行はれず。問屋・仲買人・製造業者より融通せるものは概ね無利子にして、漁獲物又は製品を之れに提供して販賣を托し、賣上金より漸次償還する方法を取れり。

資本は水産業經營上三要素の一にして、水産業に對する資金の缺乏と、金融機關の不備とは、云ふ迄もなく斯業不振の一大原因をなせり。事業に基づく収入的危険と、生命財産の不安とは、當業者の貯蓄心の缺乏となり、投資者には投資の躊躇を招き、自然資金の缺乏を來す。水産金融の改善として左に數項を掲ぐ。

一、水産銀行の設置

二、漁業組合自體の基礎を堅くし信用を高め低利資金又は簡易生命保険の融通を増額し、漁業組合をして更に資金貸付事業を大に擴張す。

三、漁船法を制定し漁船擔保の途を講じ漁業法を改正して漁業權の物權的價値を高む。

四、漁業財團抵當法の活用。

五、水産倉庫の制を完成し水産物の擔保を確實にす。

六、自治自營の方法により、漁業組合水産會等に於て相當期間資金の積立をなさせしめ自ら其途を拓かしむるの策。

五、水産團體・漁業組合

漁業組合は市町村若は部落等一定の地區内に住所を有する漁業者を以て組織し行政官廳の許可を得て設立する法人なり。

其の目的とする所は漁業權若は入漁權を取得し、又は漁業權の貸付を受け、組合員の漁業に關する共同の施設をなすものなり。

現行制度の下にありては漁村の振興は一に漁業組合の活動に俟たざるべからざるが故に各地にありては諸種の共同施設事業施行を勸奨しつゝあり。

現行制度は舊法に因る任務の外に新に企業參加の一形式たる産業組合的任務を加へ、共同施設をなすを目的とせり。左に漁業組合の振興策所謂組合員各自の更生策を掲ぐ。

一、生産の増殖に關する施設

水産の生産を増加するには遠洋漁業の開發獎勵と、沿岸漁利の保護増殖とを圖るを以て二大眼目とす。由來漁業組合は沿岸漁業に従事經營する者を以て組織せるものなるが故に比較的沿岸の生産増加には重きを置きつつあるも尙一層の努力を要す。

イ、積極的蕃殖保護施設

ロ、人工漁場の築設

一、漁獲物の價値増進に關する施設

イ、漁獲物及製品の統制共同販賣事業の經營

ロ、魚揚場・貯氷庫・冷蔵庫の設置

ハ、共同製造の經營設備

三、漁民の資力増進に關する施設

イ、漁撈用具及製造用具の共同購買

ロ、共同貯金

ハ、資金の貸付

四、遭難の豫防救済に關する施設

イ、漁港の修築

ロ、遭難救助遺族救済等(是等は現在設置しあり)

五、漁民の社會的施設

イ、簡易圖書館風紀娛樂に關する施設

ロ、共同病院、共同浴場の施設

ハ、講習講話會の開設、集談及展覽會等の施設

六、經營改善

由來我國の水産業は漁業養殖水産製造業、取引業保管業等を通じ小規模なる經營大部分を占めたり。試に漁業の組織を見るに其の漁法の如何に小規模なるかは漁船の總數三十六萬餘隻中五噸以上のもの僅に十%内外に過ぎざる事實に依りても之を知り得べし。是は日本近海は比較的岸深くして魚族豊富なる爲一沿岸小規模漁業に獨特の進歩を來したり。加ふるに機械力の利用少く、且漁期の關係上周年の操業困難にして、一時に多數の人力を要するがため生産額に比し多數の漁業従業者を必要とす。漁業そのものゝ小規模なる結果は自然個人經營多く經營者自ら船頭となり漁業に従事するもの大部分を占むるが故に生産者間の利益分配に關して、他の産業界の如く重大問題を惹起すること少し。但しトロール漁業・捕鯨業・鮭鱒鱒漁業(定置)工船蟹漁業・巾着網漁業・地曳網漁業・汽船底曳網漁業等規模稍々大なるものにおいて資本家と勞働者と相分ることあれども我國現下の状態に於ては全體的に見て未だ資本的漁業は盛ならず。然して是等の所謂資本的漁業にありても資本主と漁業従事者との間は多く歩合制度にして一種の共營的組織に依るもの多し。

思ふに現在我邦に於ける漁業の經營組織が、斯の如く幼稚なる所以は要するに資本と人力とを集中せしむることに於

て甚だ缺けたるものがあるためなり。即宜しく資本を集め、人力を合せ、事業の經營組織を改めざるべからず。例へば中産以下の漁業者は、相集りて組合を組織し、斬新なる漁船漁具を作りて資本的漁業の共同經營を爲し、若は冷蔵運搬船・貯氷庫・無線電話等の共同使用の如き資本と人力との結合及活用に依りて漁業の經營組織を改善することは斯業進展上最も緊要なる事項なり。

現時に於ける我邦の漁業が極めて小規模にして散漫的なるの結果は、漁獲物の處理加工の上にも種々の影響と束縛とを加へつつあり。即水産物の供給量は甚だ不確實にして、且短時間に行はるるが故に、加工場の經營には頗る不便と困難とを感ずべし。加之價格は騰落烈しくして豫想し難く、腐敗變質速かにして、之れが貯藏と保管とに困難なり。此等の缺點は漁業の發達と取引配給並に貯藏方法等の改善とに依つて次第に除去せらるべしと雖も水産加工の資本的工場經營は甚だ容易にあらず。或一部の冷蔵業罐詰業魚糲製造業等の機械工業魚油其他の機械工業を除けば何れも皆家内工業の域を脱せず。従て製品は統一を缺き販賣上優越の地位を占むる能はざるの状態にあり。一考を要す。尙養殖業には農業政策、製造業には工業及工場の政策、取引保管業には商業政策等各其の業態の類似に依り適用し得べきものは宜しく引用すべきなり。

七、分配政策の考察

分配政策は水産物が生産せられてより、消費に至る迄の中間に於ける取引が公正に且つ便利に行はれん事を希望し消費に際しては之を合理的に處理し水産の生産物をして人生に最も有利なるものたらしめんことを期するものなり。

イ、水産倉庫

水産倉庫は冷蔵品若しくは凍藏品の鮮魚倉庫と、鹽藏品、乾製品其他の保管倉庫の二種に區別することを得べし。何れも需給の調節機關にして收益の増加を目的とし、依つて以て水産業の進展に資するものなり。郷土に於ては保管倉庫ありて盛に斯業の進展に資しつつあれども鮮魚倉庫無し。要するに鮮魚倉庫は生産者は供給の調節を眼目とするものなるが故に供給地比較的遠隔なる生産地には其の必要僅少なり。

ロ、魚市場

生産と消費との間に介在し兩者に對して最も公正適切に之れが仲介をなすの機關なり。現行魚市場及賣買制度の缺陷中其主なるものは、商取引の組織複雑なる點にあり。理想としては生産者より直接消費者に販賣する方法を講ずるに如かずと雖、現下の狀勢にては斯の如きは到底實行不可能なるべし。抑も委託販賣の制度に於て市價を定むるものは問屋・仲買

人及小賣人の三者にして就中仲買人及び小賣人なり。殊に鮮魚の如き現在制度の下にありては殆んど、絶對委託にして、生産者は自己の生産品の賣價を定むるに、何等の力を有せず、甚だしき弱者の地位にあり。而して問屋(多くの場合魚市場業者)は單に委託品を仲買人に競賣し、一定の手数料を受くるを原則とするも、荷主は概して遠隔の地にありて直接監視する者なき爲め、往々賣行値段及び量目等の點に不正行爲の行はるゝあり。相當取締を必要とすべし。然るに彼の中央卸賣市場の開設に當り卸賣の業務を營む會社に於て、之れに所屬する仲買人を其の會社の株主に限定せるが如きは不當も亦甚だしと云はざるべからず。何となれば、卸賣の業務を營む會社は即ち生産者より販賣を托されたる賣手にして成るべく高價に販賣せざるべからざる立場に在り、其の會社が成るべく安價に之を買はんとする仲買人に依つて組織せらる、奇觀に非らずして何ぞ。されば假令仲買人に如何なる横暴の所爲ありとも、之を取締ること能はざるべし。

今や諸物價漸く高騰して、多數の國民は生活上の脅威を感じるること少からず。即社會施設の一として公設小賣市場、及中央卸賣市場等の政策行はる。此の政策は都市に於ける必需品の供給を圓滑ならしむるに極めて必要なる施設たるは、今更論議の餘地なしと雖、生活の脅威は獨り都會人士

一、個人としての利益

- a 有用の製品を得
 - b 生産物の貯藏性を増加す。
 - c 廢物を利用して
 - d 収入を増加す。
 - e 勞力の利用を増加す
 - f 副産品を得。
 - g 地力の衰退を防ぐ
 - h 家庭の和樂を増す。
 - i 趣味性を涵養し健康を増進す。
- 一、地方擧つて同一副産に従事する時の利益
- a 地方に名産を起す
 - b 他業の發達を促す。
 - c 地方の風紀を善くす。

五、農産加工の重要性

農業經營上農産物の原生産に精生産をも兼ね行ふ事は、農産物の經濟的利用價値の増進、並に農業組織の革新上農業の所謂小工業化に關する極めて重要な問題である。實際我が國に於ける農業の生産狀況並に粗生産物の販賣方法は

近來著しく各方面共改善進歩を見つゝあるも、精産物の處理方法等にありては、極めて遅々として振はれない、現に農民の手になるべき管の農産加工に依る一切のハム・一個の罐詰も一本のシロップと雖も、農村に於てすら殆んど是れを商店に需めねば、其の需要を充たすことの出來ぬ現況にありながら、何等、それに関して特に顧慮するところもなく、概ねこれ等原料を只現物の儘に賣却せられつゝあることは極めて遺憾としなければならぬ。剩さへ殊特の農産

農産加工に就て

檜山郡上ノ國河北青年學校

森川菊次郎

緒言 (省略)

- 一、農産製造の定義 (省略)
- 二、農産製造の類縁 (省略)
- 三、農産製造の分類 (省略)
- 四、農産製造を行ふ時に受くる利益

物を除く外、一般に粗生産品であるから、貯蔵も困難である爲め、購買者に乗せられ易きは勿論、農業者に工業的能力が少い結果農産物の轉化にまで及ぼすために工業的商品化の利益分配を取得することが出来ず、必然の結果として農業者の収益が少きことの結果になるのは、一般に已むを得ざる事實である。茲に於て各農家は家庭經濟の樹て直し、生活改善の第一歩として、自家の粗生産物に一通り加工を行ひ、其の價値を増加せしめ、収入を増加すると共に眞の自給自足的生活を營み、一面には消費の節約、農業組織の改善を計ることが刻下非常時に處する農業者の急務であると信ずる。

六、農産加工の設備及實際經營の大順

農産物を轉化し、生産物を商品化する爲めにこゝに小工業的の設備を必要とする。農産加工の設備は、主として其の地方の生産狀況に依り又事業計畫規模の大小等に依り一定せざるは論を俟たぬ所である。
 次には便宜上左の項目に類別せん。
 A 機構を類別して
 a 家庭的小經營——小規模に家庭的に實施の場合
 b 實習中心の經營——學校に於ける實習中心に經營する場合
 c 組合組織の經營——産業組合又は部落單位の經營をな

す場合。
 d 專業的の經營——工場等を有し專業的に經營する場合
 B 自家の生産物を主として
 a 蔬菜類の加工を主とする場合
 b 果實類の加工を主とする場合
 c 穀類の加工を主とする場合
 d 畜産物の加工を主とする場合
 以上各項に列述せるも一般に我が國各地に於ける農業組織の狀況に於ては、蔬菜・果實の生産を主とし、是れに多少の畜産物及穀類特用作物を加味したる生産物に對し、極めて小規模の加工設備を必要とする場合が最も多きものと思考される。

七、農産加工の實際

ジャムの一般法(省略)
 シロップの製法(省略)

八、法 規

- a 飯食物防腐劑・漂白劑・取締規則及び其の關係法規。
- b 同甘味質取締規則。
- c 飯食物器具取締規則。
- d 有害性著色料取締規則。

九、農産加工年中行事表

月	二	一	月二十	月一十	月十	月九	月八	月七	月六	月五	月四	月
蔬菜類加工	蕪菁の千枚漬・山葵の粕漬・各種菜類漬物	ワラビ・センマイの加工 菜類漬物・青豌豆の加工・根菜類漬物	豌豆の加工・甘藍加工・筍の加工・蕪の加工・根菜類・各種菜類漬物	胡瓜・茄子・甘藍の加工・紫蘇の鹽漬・青大豆加工その他	干瓢製造・トマト加工・各種蔬菜類漬物・胡瓜・越瓜味噌漬	絲瓜・干瓢製造・韭の加工・大根麴漬・人参加工・其他・トマト加工	大根・菜類漬物・薑の加工・蓮根の加工・澤庵漬	澤庵漬・菜漬・大根切干・菊の加工・午券・人蔘	大根九千・切干・各種野菜の味噌漬・粕漬	大根・人参・午券の加工・馬鈴薯・澱粉の加工	人参・午券加工・鹽漬品の加工・乾薑の製造・澤庵漬	
果實類加工	密柑類加工	密柑類加工	密柑の加工・苹果的の加工・梨の加工	苹果的の加工・苹果的の加工・梨の加工	苹果的の加工・梨の加工・苹果的の加工	苹果的の加工・梨の加工・苹果的の加工	苹果的の加工・梨の加工・苹果的の加工	苹果的の加工・梨の加工・苹果的の加工	苹果的の加工・梨の加工・苹果的の加工	苹果的の加工・梨の加工・苹果的の加工	苹果的の加工・梨の加工・苹果的の加工	苹果的の加工・梨の加工・苹果的の加工
其の他の加工	蠶糸加工・木工細工・牛乳加工	太繩・機械繩製造・錐の粕漬	太繩・機械繩製造・錐の粕漬	太繩・機械繩製造・錐の粕漬	太繩・機械繩製造・錐の粕漬	太繩・機械繩製造・錐の粕漬	太繩・機械繩製造・錐の粕漬	太繩・機械繩製造・錐の粕漬	太繩・機械繩製造・錐の粕漬	太繩・機械繩製造・錐の粕漬	太繩・機械繩製造・錐の粕漬	太繩・機械繩製造・錐の粕漬

産業振興に水産物製造業の提唱

爾志郡明和實業青年學校

鹽谷致一

(前略) 水産物製造業の必要

郷土の現状を考察し其の産業的發展を促進する階梯の第一として、漁獲せる水産物の利用研究に着眼することが急務ではなからうか。

實際この郷土には漁撈者に比し、製造業者の數眞に僅少なるを遺憾としなければならぬ。

然らば何が故に斯く製造業者が僅少であるか。

想ふに水産業なるものは原則として漁撈・製造・養殖の三大部門に分たれてゐるものである、夫々専門々々に全能力を傾注して互に連携してこそ、そこに圓滿なる發達が望まれるのである。

然るに郷土の現状はと見るに一人にて漁撈もし製造もし販賣もしなければならぬと云ふ、所謂一人にて何役もしなければならぬ、完膚なきまで餘裕なき生活状態である。

之で如何にして、漁業を發展向上が望まれるか、漁業の發展向上が望まれるか。漁業の發展を望まんとするには部門々々に分たれ夫が向上に邁進するにあらざれば断じてその實績を擧げ得ること至難なりと言はなければならぬ。此處に吾人の水産物製造業の必要を認める所以である。そこで製造業の經營にかゝるに先だつて、從來の單一無味乾燥なる製法然も其の日暮しの經濟状態から脱せしめ所謂眞に郷土を想はざる利己主義觀念を改める爲に小規模なりといへども水産物製造の準備に取りかゝる必要がある。此處に體験より出でたる確固たる信念の指導が要る。人間は目前の利益のみとらはれてはならない。要は百年の大計を樹立するにある。

過去の經驗よりヒントを得たるみりんたら製法研究

其處に於て先づ郷土の漁獲物を見るに鱈・烏賊が主要漁獲物である。

この鱈の利用法を見るに之皆凍寒品明太魚の製造である。他にこの鱈を利用した製品がない。後志の岩内では随分多方面の利用が行はれてゐる。然も相當の販路を持つてゐる。其處で過去に於て習ひ覚えし燻製業なるもの、計畫を樹立することになつた。

昨年の實業教育の研究會の際其の製法順序、燻室の構造等詳細に説明したのでこゝで省略することにして單に其の結果を記するに止める。

元來鹹なるものは非常に脂肪分の少い淡泊なる味をもつた魚である。

故に其の製造に取りかゝる前に非常なる吟味がいる。何故なら淡泊なる魚程、調味を考慮しなければ、味覺に非常なる優劣が生ずるのである。

其の點に於て失敗を來したのである。自分にはそう思はれる。何が失敗の原因であつたか左に参考までに記すことにする。

一、鹽味の程度稍々弱き爲

二、良鹽の使用をなさざりし爲

三、良燻材の使用をなさざりし爲
等である。

この失敗の中にて最も注意しなければならぬことは燻材の研究である。所謂燻製なるものは鹽と煙で調味するものである。

食して見れば何は燻材を如何にして燻せしかゞ解る。

過去四年間に亘り尊き時日を研究に向けし効未だ成らずしてこゝに自分では失敗としなければならぬ。今回の事業をかへりみて諸彦の心に訴ふる切なるものあるを痛感す

る。この管内に四五ヶ所青年學校を中心として本事業の設立を見たことは眞に欣ぶべきことである。

然るに未だ其の結果の發表を耳にせざりしを遺憾に思はざるを得ない。

希は本事業をそゞまゝ失敗に終らせず今後の研究を望んでやまないものである。

結局斯の如きものは一個人のみの問題ではないと思ふ。微々たりとも郷土産業振興に貢献したい念願からの發露ではなかつたらうか。斯く感じ來たる時に尙更弛ゆまさる努力を欲するものである。

其處で前記失敗に鑑み今少しこの淡泊なる味、鹹の調味研究をしなければならぬ。此處に味淋たら製造研究を施すことになつたのである。

先づその製法の説明を加へよう (製造法省略)

(中略)

斯の如きことが郷土の産業振興の將來を約束するものであるかと云ふことは此處で論斷することは出来ないが結局はそれに邁進努力することが吾々の使命であり斯の如き研究心に當む人物の養成が、郷土産業振興に向はしむるものではないかと信心するものである。

今少し管内漁業家に製造法の改良に意を致す人物の輩出を望むものである。(後略)

漁村の業務と勞力に関する一小見

檜山郡上ノ國中央青年學校
早川壽郎

經濟調査と業務及び勞力に関する問題

漁村に於ける業務及び勞力の配置に関する事情は、經濟機構と其活動の状態と共に經濟調査上不可缺の問題である。

一、水産業界に於ける労働問題

A 運輸又は工業等に於ける労働問題又は小作問題の如き労働賃銀を主題とする労働問題以外に漁村に於ては他に業務と勞力との配置に関する深刻なる問題がある。今論ぜんとするのは此事項に就いてである。

B 漁村に於ける業務の特性

(1) 勞力の必要量の變動

(2) 業務の繁閑に甚しき變動あるは漁村の振興上慎重考慮を要する問題である。

二、水産業の發達と業務の分化

A 原始漁業の態様

B 加工業の發達

(1) 漁期と貯藏

(2) 交換と運搬

(3) 調味

(4) 魚價の統制

(5) 漁業と製造業との分化

C 漁業と製造業との關係及び製造業發達の要件

D 養殖業の勃興

原始産業進化の一段階として必然の結果

漁農村に於ける重要性

三、上の國附近漁村業務の特性と勞力の消長

A 漁期と閑散期

B 漁獲物の處理と魚價及び鮮度

C 加工業の發達せざる原因の一として業務上の問題及び其他の事項

D 勞力の需給關係の變動

E 過剰の勞力と補助的勞力

四、漁村振興と業務及び勞力の問題

A 製造業者に対する原料供給と鮮度保存の手段及び家庭手工業と餘剰勞力

B 淺海の増殖と補助勞力

C 日常生活の單調と偷安又は射倖生活

D 慰安又は修養の機會。業務の餘暇の利用

五、漁村生活の欠陥

A 日常生活の單調と偷安又は射倖生活

B 慰安又は修養の機會。業務の餘暇の利用

六、漁村生活と都會生活

沈滞せる漁村の空氣明朗ならざる漁民の生活は、精神を保守的ならしむる。

業務と勞力の問題、及び之と關聯して慰安及び修養の機會に關する調査研究と、之が施設とは漁村振興の重大要素たるのみならず、一種の社會問題である。

水産業に對する私考察

瀬棚郡瀬棚青年學校
中村一人

水産業は農業や林業・鑛業等と共に自然物の獲得利用を目的とするものであつて、所謂原始的産業の一種と考へる。只他の原始的産業と區別されるのは其の生産の基本的要件を水界とする點である。

即ち水産業は水界の生物の獲得利用を目的とする原始産業であると言ひたい。分り切つて居るが水産業を分類して見ると漁業・水産製造業・水産養殖業となる。

勿論營利の目的で水産生物の捕獲、即ち漁撈を目的とする所の漁業が水産業の本體をなすことは申す迄もない。併し捕獲した魚類や、貝類・藻類等々が商品としての價値を保持する爲め、之を處理加工する事は極めて必要である。

此處に水産業としての水産製造の意義がある。又特定の魚族・貝類・藻類の繁殖を計り、或は成長を助けて其増殖を計るは單に天然自然の生物を採取することのみより進歩したものであり、之によつて吾々の需要を充分満足させることが出來ると思ふ。之を營利の目的としたのが水産養殖である。

此處に水産業の本體である漁業について見るに大正三年の統計で漁獲高は、三七、〇〇〇萬圓程になつてゐるが、専門家の計算によると、漁獲高は八億に達するさうである。是れ等の産額を上げる水界は北は露領沿海から南は南洋に至る廣大の區域である。其の中内地の産額は八割六分餘りを占めてゐる。

此の頃問題になつて居る日露漁業問題の中心地たる露領に於ける漁業が残る一割四分の大部分を占め約四千萬圓の數字を示してゐる。

さて、日本の漁獲高の九割を占めて居る内地の漁業について見ると、

沿岸漁業 〇・七

沖合漁業 〇・三

沖合漁業即ち遠洋漁業は逐年發達して、大正元年には内地の産額は六分位を占めてゐたが、現在は三割になつてあり、此の間沖合漁業は約六倍になつて居る。沿岸漁業の産額は

僅に二倍の数字を示して居る丈である。かくて現在沿岸に於ける漁業は行詰つてをるといはれて居るから、これからの漁業は沿岸の漁場を保護し、魚族の増殖を計ると共に漁場を遠き外洋に求めねばならない。

如何にして遠洋方面に進展するか、又行詰つたる沿岸の漁場の生産力の如何にして恢復するかが大に研究せねばならぬ問題である。

現今の科學が非常に進歩したとは言ひ乍ら漁業に關してはまだ多分に投機的事業の傾向をもつて居る。此危険性は漁業經營上の難關であつて、資金の關係上言ふべくして實施を試み得ざるものが甚だ多い。殊に資金に恵まれざる我町村漁民の大多數は此の點非常に慨嘆に堪へざるものがあると思ふ。

故に漁民により協力一致し組合組織の上に實現可能の最小限度の經營法を工夫し、常に自己の町村の海田を保護育成

し、漁獲物を尊重し、加工販賣の統制をはかり、優良品を産出することによつて、我町村の名を揚げんことを心掛くべきである。

而してこれ等漁民生活向上の根柢をなすべきものは實に科學に依りて指導さるべき新漁民道德其のものでなければならぬ。

私はこの様な考の下に青年學校生徒と共に努力してゐる。

農業ノートより

上川郡永山高等國民學校
遠藤 宗二

水稻壟水選の効果 (省略)
施肥量決定の條件 (省略)
肥料の評價 (省略)

肥料成分彙集

(一) 礦物質肥料 (百分中)

(A) 窒素質肥料

肥料名稱	保證成分		荷造狀態及重量	原料	製造所
	窒素全量	アモンモニア			
硫酸アンモニア	二〇、〇〇	二〇、〇〇	吸入り正味十貫	石灰瓦斯アンモニア及硫酸	日本製鋼所輪西工場
大日本硫酸アンモニア	二〇、五〇	二〇、五〇	同	空中窒素固定アンモニア瓦斯及硫酸	大日本人造肥料株式會社
英國中性硫酸アンモニア	二〇、六〇	二〇、六〇	同	同	英國
獨逸白色硫酸アンモニア	二〇、〇〇	二〇、〇〇	同	同	獨逸
石灰窒素	一八、〇〇	一六、〇〇	吸入り正味六貫 及皆掛二十七貫	空中窒素及カーバイト	電氣化學工業株式會社
智利硝石			吸入り正味十五貫 及皆掛二十五貫	硝酸曹達礦	南米智利

(B) 磷酸質肥料

肥料名稱	保證成分		荷造狀態及重量	原料	製造所
	磷酸全量	水性磷酸溶解性			
大日本十五過磷酸	一五、〇〇	一五、〇〇	吸入り正味十五貫	磷酸石及硫酸	大日本人造肥料株式會社
大日本精過磷酸	一九、五〇	一九、五〇	吸入り正味十五貫	同	同
大日本新製特許過磷酸	一五、〇〇	一五、〇〇	吸入り正味十五貫	同	同
⑤印 強 磷 酸	一九、五〇	一九、五〇	吸入り正味十五貫	同	同
④印 過 磷 酸 肥料	一五、〇〇	一五、〇〇	吸入り正味十五貫	磷酸石及硫酸	株式會社多木製肥所
別製別強磷酸	一九、〇〇	一九、〇〇	同	同	同
竹印過磷酸肥料	一五、〇〇	一五、〇〇	吸入り正味十貫	同	株式會社住友肥料製造所
櫻印強過磷酸肥料	一九、五〇	一九、五〇	吸入り正味十五貫	同	同

肥料名稱	保證分量	水溶性加里	荷造狀態及重量	原料	製造所
水溶十五度過磷酸	15.00	15.00	叭入り正味十貫	同	大阪アルカリ土地株式會社
水溶十九半過磷酸	19.50	19.50	同正味七貫五百匁	同	同
ラサ新過磷酸	15.00	15.00	同正味十貫	同	ラサ島磷礦株式會社
ラサ弱磷酸	19.50	19.50	同正味七貫五百匁	同	同
別製溶解磷酸質グアノ二號	11.00	11.00	同正味十貫	海鳥糞及硫酸	同
一號過磷酸	15.00	15.00	同正味十貫	磷礦石及硫酸	帝國人造肥料株式會社
最強過磷酸	19.50	19.50	同正味七貫五百匁	同	日東硫酸株式會社
普通過磷酸	15.00	15.00	同正味十貫	同	新潟硫酸株式會社
極強過磷酸	19.50	19.50	同正味七貫五百匁	同	同
二十五度磷酸アルミナ	25.00	25.00	同正味十貫	磷酸アルミナ礦	大成化學株式會社
二十度磷酸アルミナ	20.00	20.00	同正味十二貫	同	同
大日本三十度過磷酸	30.00	30.00	同正味十貫	過磷酸石灰及硫酸	大日本人造肥料株式會社

(C) 加里質肥料

肥料名稱	保證分量	水溶性加里	荷造狀態及重量	原料	製造所
硫酸加里	48.00	48.00	麻袋入り 皆掛二十七貫	加里鹽	獨逸
トロナ鹽化加里	58.00	58.00	同	同	米國

(D) 合成及び化成肥料

肥料名稱	全量	アンモニア態	硝酸態	全量	水溶性	拘性	全量	水溶性	及荷造狀態	原料	製造所
ニトロホスカ イーゲー	15.50	10.90	4.60	15.50	14.20	1.30	19.00	19.00	麻袋入り 正味十貫	空中窒素 加里鹽	獨逸
ロイナホス イーゲー	20.00	20.00	0	20.00	18.40	1.60	0	0	同	空中窒素 加里鹽	同
アンモホス	16.00	16.00	0	20.00	18.00	2.00	0	0	同	空中窒素 加里鹽	同
大日加本	0	0	0	15.00	13.00	2.00	5.00	5.00	叭入り 正味十五貫	硫酸安 磷礦石	大日本 肥料株式會社
化成肥料	8.00	8.00	0	10.00	7.00	3.00	5.00	5.00	叭入り 正味十貫	硫酸安 磷礦石	同
化成肥料	8.00	8.00	0	10.00	7.00	3.00	5.00	5.00	叭入り 正味十貫	硫酸安 磷礦石	同
化成肥料	0	0	0	15.00	13.00	2.00	5.00	5.00	同正味 十貫	加里鹽	同

(二) 植物質肥料

肥料名稱	保證分量	磷分量	荷造狀態及重量	原料	製造所
豐年撒大豆油粕	7.20	1.30	叭入り正味十貫	大豆油を浸出せるもの	豐年製油株式會社
特製萬歲撒大豆油粕	7.20	1.30	同	同	日華製油株式會社
萬歲撒大豆油粕	7.00	1.30	同	同	同

亞麻仁油粕粉末	五、二〇〇	二、二〇〇	同正味 十六貫	亞麻仁油を壓出せるもの	小樽川	北海製油株式會社
亞麻仁油粕粉末	四、七〇〇	二、〇〇〇	同	亞麻仁油を壓出せるもの	輕川	乙東製油株式會社
亞麻仁油粕粉末	四、五〇〇	一、五〇〇	同	亞麻仁油を壓出せるもの	輕川	乙東製油株式會社

(三) 動物質肥料

肥料名稱	保證成分量		荷造狀態及重量	原料	製造所
	窒素全量	磷酸全量			
蒸製骨粉	三、五〇	二一、〇〇	麻袋入り正味十六貫	獸骨	奈井江 池田今吉
海產粉末肥料	九、〇〇	四、五〇	又又は建入り正味十貫 同二十貫 皆掛十貫	各種海產肥料を混合せるもの	函館市 鈴木平太郎
雜魚粕粉末肥料	九、七〇	四、五〇	同	各種魚粕を混合せるもの	同 鈴木平太郎

(四) 配合肥料

肥料名稱	保證成分量		荷造狀態及重量	原料	製造所
	窒素全量	磷酸全量			
大日本新製完全十一號	三、〇〇	一、五〇	同	同	同
亞麻仁油粕	四、五〇	二、五〇	同	同	同
薄荷肥料	五、〇〇	三、〇〇	同	同	同
除虫菊肥料	四、五〇	三、五〇	同	同	同
調合肥料	五、〇〇	四、〇〇	同	同	同
改良しきしま肥料	五、〇〇	四、〇〇	同	同	同
特しきしま肥料	八、〇〇	七、二〇	同	同	同
印九重肥料	八、〇〇	七、七〇	同	同	同
完全特作肥料	八、〇〇	七、八〇	同	同	同
畑肥料	三、五〇	一、〇〇	同	同	同
水田肥料	四、七〇	二、〇〇	同	同	同
田肥料	四、五〇	二、〇〇	同	同	同
第八號配合肥料	二、〇〇	一、〇〇	同	同	同
人糞加工一號	二、〇〇	一、〇〇	同	同	同
完全肥料一號	二、〇〇	一、〇〇	同	同	同
人糞加工二號	四、〇〇	二、五〇	同	同	同

肥料名稱	保證成分量		荷造狀態及重量	原料	製造所
	窒素全量	磷酸全量			
大日本新製完全十一號	三、〇〇	一、五〇	同	同	同
亞麻仁油粕	四、五〇	二、五〇	同	同	同
薄荷肥料	五、〇〇	三、〇〇	同	同	同
除虫菊肥料	四、五〇	三、五〇	同	同	同
調合肥料	五、〇〇	四、〇〇	同	同	同
改良しきしま肥料	五、〇〇	四、〇〇	同	同	同
特しきしま肥料	八、〇〇	七、二〇	同	同	同
印九重肥料	八、〇〇	七、七〇	同	同	同
完全特作肥料	八、〇〇	七、八〇	同	同	同
畑肥料	三、五〇	一、〇〇	同	同	同
水田肥料	四、七〇	二、〇〇	同	同	同
田肥料	四、五〇	二、〇〇	同	同	同
第八號配合肥料	二、〇〇	一、〇〇	同	同	同
人糞加工一號	二、〇〇	一、〇〇	同	同	同
完全肥料一號	二、〇〇	一、〇〇	同	同	同
人糞加工二號	四、〇〇	二、五〇	同	同	同

人糞加工 完全肥料三號	七、〇〇	五、五〇	七、〇〇	五、五〇	同	同	同
----------------	------	------	------	------	---	---	---

(二) 其他各種肥料成分 (百分中)
(一) 礦物質肥料

種	類	燐	酸	加	里	石	灰	摘	要
木	灰	二、六四	二、一〇	八、三三	三〇、〇〇		各種平均		
蠶	灰	二、九二	〇、五一	五、三五	二、三〇				
骨	灰	〇、五一		四、三三					
海	藻								
貝	灰								
塵	灰	一、七〇		一、八五	三、五〇				
石	炭	〇、二〇		〇、二〇					
亞	麻	二、四〇		六、九九					
昆	布	一、二〇							
泥	炭	一、二〇		〇、五〇					
生	灰								
消	灰								
炭	石								
酸	石								

(二) 植物質肥料

種	類	水	分	有	機	物	窒	素	燐	酸	加	里	石	灰	摘	要
大豆	粕	一、二、三〇	七、八、四八	六、七〇	一、三、七	二、〇七										【一枚の重量平均七貫 四百匁】
胡麻	粕	一、一、一〇	七、九、六〇	五、八六	三、二七	一、四五										
酒	粕	六、二、〇〇	三、七、四〇	二、八九	〇、二七	〇、〇七										
燒	粕	二、一、八八	八、五、二〇	六、一六	一、二七	〇、三六										
麥	粕	八、〇〇	三、九、六七	三、六〇	一、八二	〇、〇八										
醬	粕	五、三、六〇	八、五、二〇	二、〇二	〇、二三	〇、八八										
餚	粕	八、五、七〇	一、三、八〇	〇、六八	一、三〇	〇、一七										
豆	粕	八、五、七〇	一、三、八〇	〇、六八	〇、一二	〇、一七										
麥	粕	八、〇〇	八、五、三〇	三、六八	一、八二	二、〇八										
濃	粕	一、七、三〇	八、一、〇〇	一、〇〇	〇、一八	二、〇八										
味	粕			二、二六		一、一六										
ホ	粕			五、九〇		一、一七										
向	粕			五、九七		一、一七										
米	粕	一、〇、三〇	八、四、七三	二、〇八	二、五七	一、四〇										
穀	粕	一、一、三〇	七、六、二〇	二、〇八	三、七八	一、四〇										
豆	粕	一、〇、〇〇	七、一、八〇	〇、六四	〇、一九	〇、四九										
大	粕	一、〇、〇〇		五、三四	一、〇四	一、二六										

種	類	(三)動物質肥料		窒	素	磷	酸	加	里	又 は 脂 石 灰 油	摘	要
		水分	有機物									
飼	粟	一四、三〇	七八、八〇	〇、六三	〇、一一	〇、八五	〇、二六					
小	麥	一四、三〇	八一、一〇	〇、四八	〇、二二	〇、六三	〇、二七					
大	麥	一四、三〇	八一、二〇	〇、六四	〇、一九	一、〇七	〇、三〇					
裸	麥			〇、五四	〇、一四	〇、九〇						
燕	麥	一四、三〇	七九、六〇	〇、五八	〇、二八	一、六三						
玉	蜀黍	一五、〇〇	八〇、五〇	〇、四八	〇、三八	一、六四						
大	豆	一四、〇〇	八二、八〇	一、三一	〇、三一	〇、五〇						
碗	豆	一六、〇〇	七九、七〇	一、〇四	〇、三五	〇、九九						
蠶	豆	一六、〇〇	七九、五〇	一、六三	一、六三	一、五九						
臺	豆	一五、五〇	七九、九〇	〇、五六	〇、五六	〇、二九						
小	豆	一三、五〇	二七、六八	〇、六六	〇、六六	〇、一〇						
松	葉	一四、〇〇	八五、三〇	〇、八〇	〇、八〇	〇、一〇						
落	葉	一二、六〇	八二、五七			〇、一三						
潤	葉		八二、八〇	一、〇〇	一、〇〇	〇、二一						

大	麥	一二、〇〇	八三、九〇	一、七六	〇、九一	〇、八三	〇、一九					
裸	麥			二、三〇	三、四〇	一、九〇						
小	麥	一四、三〇	七六、五〇	〇、七二	〇、四〇	〇、八四	〇、一〇					
小	麥	一三、一〇	八一、五〇	二、二四	二、六九	一、五三	〇、一五					
玉	蜀黍	一四、〇〇	八五、五五	〇、二三	〇、〇二	〇、二三						
同		八二、〇〇	一六、〇〇	〇、五六	〇、一五	〇、四四						
同		一六、八五	七八、五〇	二、四四	〇、六七	二、〇二						
赤	ク	八〇、〇〇	一六、五〇	〇、四八	〇、一三	〇、四四						
同		一六、〇〇	七五、〇〇	一、九八	〇、五六	一、八六	〇、四八					
白	ク	八〇、五〇		〇、五六	〇、一八	〇、三一						
同		一六、五〇		二、三二	〇、七八	一、三一						
青	刈	八〇、〇〇	一八、三〇	〇、五八	〇、〇八	〇、七三						
同		一四、〇〇	七八、七〇	二、四九	〇、三六	三、一二						
青	刈	七八、〇〇	二〇、〇〇	〇、四五	〇、一四	〇、四四						
青	刈	八一、五〇	一七、一〇	〇、五一	〇、一五	〇、五二	〇、三五					
青	刈	八二、九〇	一六、〇〇	一、一九	〇、一〇	〇、三七						
海	草	八一、〇〇	一五、二〇	〇、五〇	〇、二〇	〇、七〇						
野	草	七〇、〇〇	二八、二〇	〇、五四	〇、一五	〇、四六						
草		八二、〇〇	一七、三〇	〇、四七	〇、〇七	〇、二四						

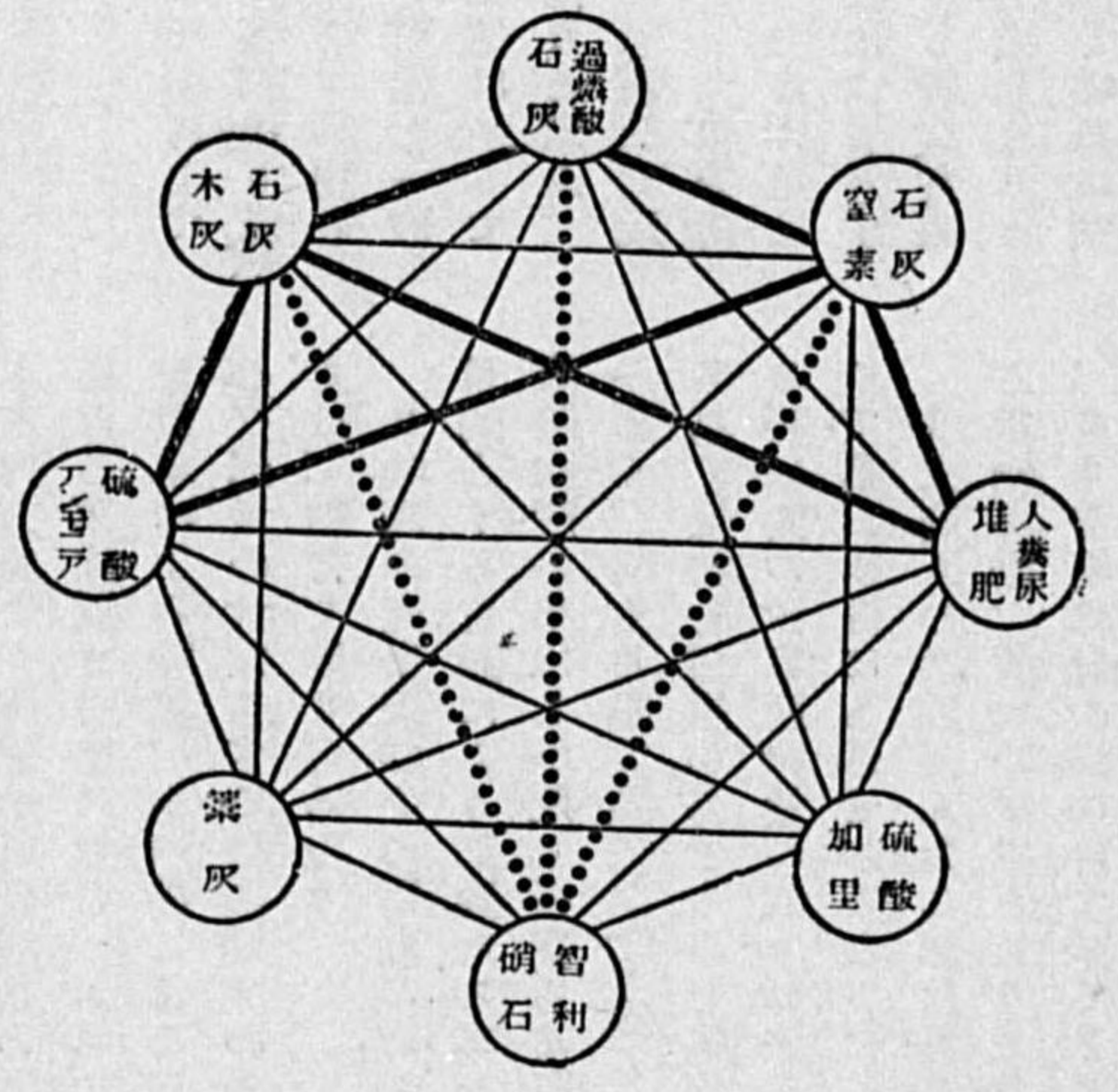
蠶糞	兔糞	鳩糞	同	鷄糞	蹄粉	角粉	髮屑	草屑	血粉	牛液	豚骨	馬骨	牛骨	豚骨	製骨	獸骨	鯨骨	鯨粉	鯨粉
五、三〇	五、九〇	一〇、〇〇	五六、〇〇			一〇、〇〇			一三、四〇	七九、〇〇					一二、二八	七、六一	一九、一三		一一、二四
		三〇、八〇		二五、五〇		八九、二〇			七八、四〇	二一、〇〇									
一、三二	一、九二	一、七六	三、九九	一、六三	一二、〇〇	一〇、二〇	一一、一〇	七、九〇	一一、八〇	三、二〇	五、四〇	五、五〇	五、二〇	二、七一	三、七〇	九、九七	三、三八	一一、二〇	
	〇、九二	一、七八	二、二七	一、五四	〇、三〇	五、五〇	一、三〇	一、三〇	一、二〇	〇、〇四	二、三〇	二、四、五〇	二、六一〇	二、六、一〇	二、七、七三	二、一、五四	〇、七八	二、三、六五	一、二、三
		一、〇〇		〇、八五		〇、三〇		〇、七〇	〇、〇六										

新鮮物
風乾物

雜魚粕	帆立	烏賊	肝油	八手	蛭	蟹	鱒	鮫	鱈	鮭	鰈	乾鰈	鱈	白子	仔目	鰾			
一三、二八	一三、四九	一四、〇九	一一、一六	一八、五〇	一一、五三	一八、四三	一三、四四	一一、七四	一四、三七	一四、〇二	一二、六六	一四、四四	一三、三〇	七、〇〇	一二、三〇	一四、五五	一二、五七	一二、五八	一二、五八
														六七、一〇	七四、四〇	六九、八四	六九、八四	七六、二三	
七、三〇	二、五八	四、〇五	五、八五	八、八四	三、八三	六、三四	五、〇二	九、九六	九、五二	九、五〇	九、五七	九、〇七	九、四三	七、五〇	九、七〇	一一、六〇	七、三六	七、九〇	
六、〇三	一、八九	二、一一	一、三三	一、七四	一、二一	三、四四	二、五九	二、八七	三、八八	七、一一	六、六〇	三、一四	五、一三	三、七〇	四、〇〇	六、三〇	五、三五	四、一五	
				〇										同	同	同	同	同	同
						四、四九								同	一六、三〇	八、三〇	九、七二	一四、四〇	二二、一〇

煤	流	魚	豚	羊	牛	馬	人	蠶	蠶	海	蠶
尻	煮	肥	の	の	の	の	糞	蛹	蛹	鳥	法
下	汁	液	肥	肥	肥	肥	尿	粕	糞	糞	法
五、〇〇	九、九六〇	九、八二〇	七、二四〇	六、四六〇	七、七五〇	七、一三〇	九、五一〇	八、五〇〇	七、八九〇	一、五〇〇	一、
七、一八〇	〇、二〇	〇、七〇	二、五〇〇	三、一〇八	二、〇三〇	二、五、四〇	三、四〇〇	一、	四、二〇〇	八、八〇〇	四、二〇〇
一、三〇	〇、〇二	〇、一七	〇、四五	〇、八三	〇、三四	〇、五八	〇、五七	一、〇、二四	一、九三	七、〇〇	二、一七
〇、四一	〇、〇一	〇、三六	〇、〇一	〇、一九	〇、二六	〇、二八	〇、一三	一、二八	〇、四六	一、四〇〇	〇、二九
二、四〇	〇、〇三	〇、四九	〇、六〇	〇、六七	〇、四〇	〇、五三	〇、二七	〇、四九	〇、二一	三、三〇	〇、一三
							石灰 〇、〇二			石灰 一、二、六〇	

肥 料 配 合 指 南 圖
(案考士博學農生麻)



一、圖中——線を以て連絡せる肥料は相互に配合すべからざるものなり、若し是等の肥料を共に施さんとする場合には、必ず時日を隔て、各別に用ひ決して同時に併用すべからず。

二、圖中……線を以て連絡せる肥料は、豫め配合し置くべからざるもの、混合して直ちに施用する場合には是等を併用するも、敢て差支なし。

三、圖中——線を以て連絡せる肥料は共に配合し又は施用して可なるものなり。

殺菌劑 (省略)

江差町の営業倉庫設置の可能性に就て

檜山郡江差實業青年學校

今井 一夫

一、概言 (省略)

二、江差町營業倉庫の盛衰狀況
當町に於ける倉庫業の起りは遠く明治三十五年頃にして町の有志西谷嘉右衛門氏關川茂平氏瀬戸太平洋氏等相計り當時練豊漁にて設置された取引會所の形骸をそのまま利用し會社組織として(會社名判然ならず)營業倉庫を設置し一般貨物の保管をなしたるも營業不振の爲め收支相償はずして約七、八年後の明治四十二、三年頃解散されたりと云ふ。

其の後大正十二、三年頃より昭和二年頃迄西谷嘉三郎氏が當町姥神町の所有倉庫五棟を以て一級倉庫として東京海上火災保險株式會社と保險を契約營業を開始したるも是は殆んど自己の商品を入庫せるのみにして、一般には普及するに至らず、倉庫證券の發行もなさず、純粹なる營業倉庫としての職能を充分と現はすことを得ずして閉鎖したりといふ。而して現在に至るも營業倉庫は一個も無く唯單に個

人倉庫として僅少の設置あるの現状なり。

三、倉庫業の國民經濟上に於ける機能 (省略)

四、江差町の現況と其の不可能性

江差町の現況を倉庫設立の要件に合致するや否や考察すれば次の如し。

1. 交通機關の中心點たる事は其の設立の大なる條件なるも當町は萬人ひとしく認むる交通不便なる箇所なり。近々木古内方面より鐵道の延長開通ありと云ふものゝ、其中心點たる事は近き將來に望むべからず。現在の如きは僅かに自動車による陸路、小汽船による海路の連絡あるのみ。その交通量の少なからざるは冬期間の交通杜絶の狀態に照しても敢て贅言を要せざるなり。

2. 物産の産出及びその運動の盛んなることは大量保管を目的とする倉庫にとり必要なる事なるも遺憾ながら僅かの海陸物産の集散しか期し得ざる當町は此の點に於ても又望み薄く、而も倉庫(冷蔵倉庫を除く)が生物其の他臭氣を放ち易く他物を汚損し易きものを保管物種目より除外せらるる時は其の收容產物量の益々減するを以て當町はこの點に於て第二要件にも適せざるなり。

3. 大商人の活動盛んなる事は商業取引の繁多、それによる貨物移動、貨物の集中となりて倉庫成立の一要因となるべきも當町は此の點に於て缺くこと衆目の一致のところ

なり。之は當町商業者の企業心の衰退に依るのみに非ずして交通不便取引貨物数の不足に原因する所なり。

4. 倉庫利用による經費節減の中、その最も大なるは地代の節約(其の借地料の高價、地價の高價とそれに固定する資本の節約)にして商業中心地在住の商人にとりてはその利用効力大なるも、當町は地代・地價安くその固定性も現時にては差程大ならず、各自倉庫の設立を容易ならしめて居り一般營業倉庫を利用せざるなり。

5. 特に重大なる點は當町に商取引の慣習ありて營業倉庫設立を困難ならしむる點ありと思考す。即ち特殊の金融取引と仕込制度を改むること。(註 漁師の仕込制度は農家の青田賣買・黒田賣買の同等の弊あるものなり)

右列記せるの外種々起因あるべくも其の概要に止めたり。特に第五項は充分研究の餘地あるべきものと思考するも未だ日尙淺く徹底的研究の出來ざるは、自ら遺憾とする處なり。

即ち前述の如く交通の不便取扱商品の不足其の他の原因より營業倉庫保管貨物僅少にして倉庫業の収益を低下せしめ、さなきだに収益率の低き資本家の企業心の不振なる現狀に於て(當町のみならず各市街地に於て)拍車をかくるの狀態に陥りたるものなり。

五、結語

之を要するに當町營業倉庫不成立の原因は前述の如くにして如何ともすべからず。然れ共近時鐵道開通を控へて、其の鐵道と倉庫の唇齒輔車の關係にあるを知り(既述の如く)當町の發展もこの鐵道に依據すべき現狀に於て一個の一般營業倉庫の設立は必然的にして、之により物産の集散、取引の繁多を促すべき根城となすことは重要當然なる措置と云ふべし。

農業簿記設計書に就て

札幌郡廣島東部青年公民學校

菊田 文作

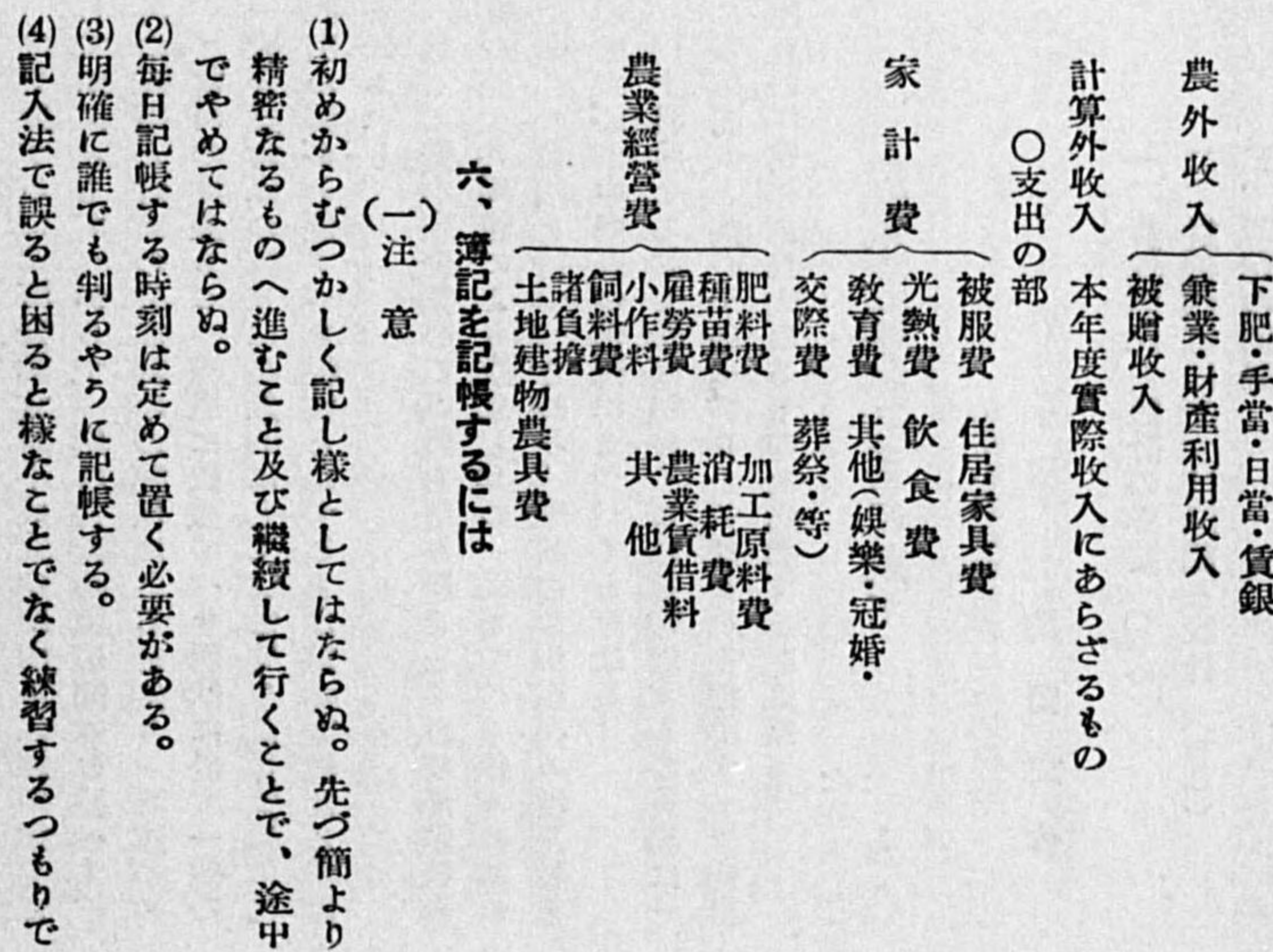
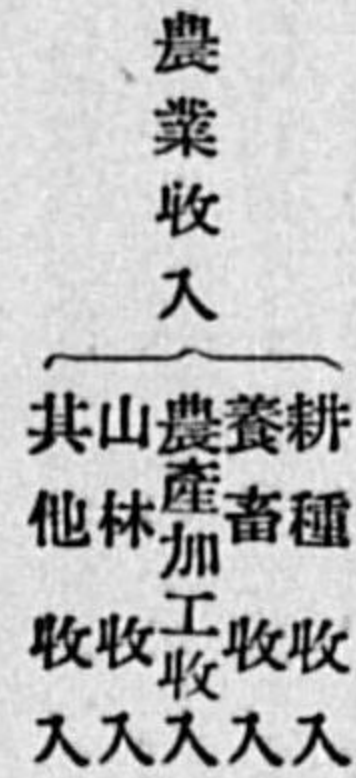
一、農業簿記と設計の必要 (省略)

二、耕種指導に先立は簿記と設計 (省略)

三、簿記の効果

- (一) 農家經營と生活改善とに資せられ其進化を促す。
 - (二) 農家經濟の反省録となる。
 - (三) 經營設計の指導標となる。
 - (四) 收支は自ら明確となり勤儉力行貯蓄心を養ふ。
 - (五) 一家の平和延いては平和の農村を築く基となる。
- 四、設計の効果
- (一) 農業經營の總べての研究は設計書によりてなされる故に知識・技能・工夫は練磨される。
 - (二) 設計書により純所得増加し其用途及方法も容易明瞭となる。
 - (三) 最も理想經營法を取り生活と經營の合理化を計ることが出来る。
 - (四) 收入所得が安定される。
 - (五) 各農家設計の實現は延いて國を榮えしむ。

五、農業簿記科目の分類



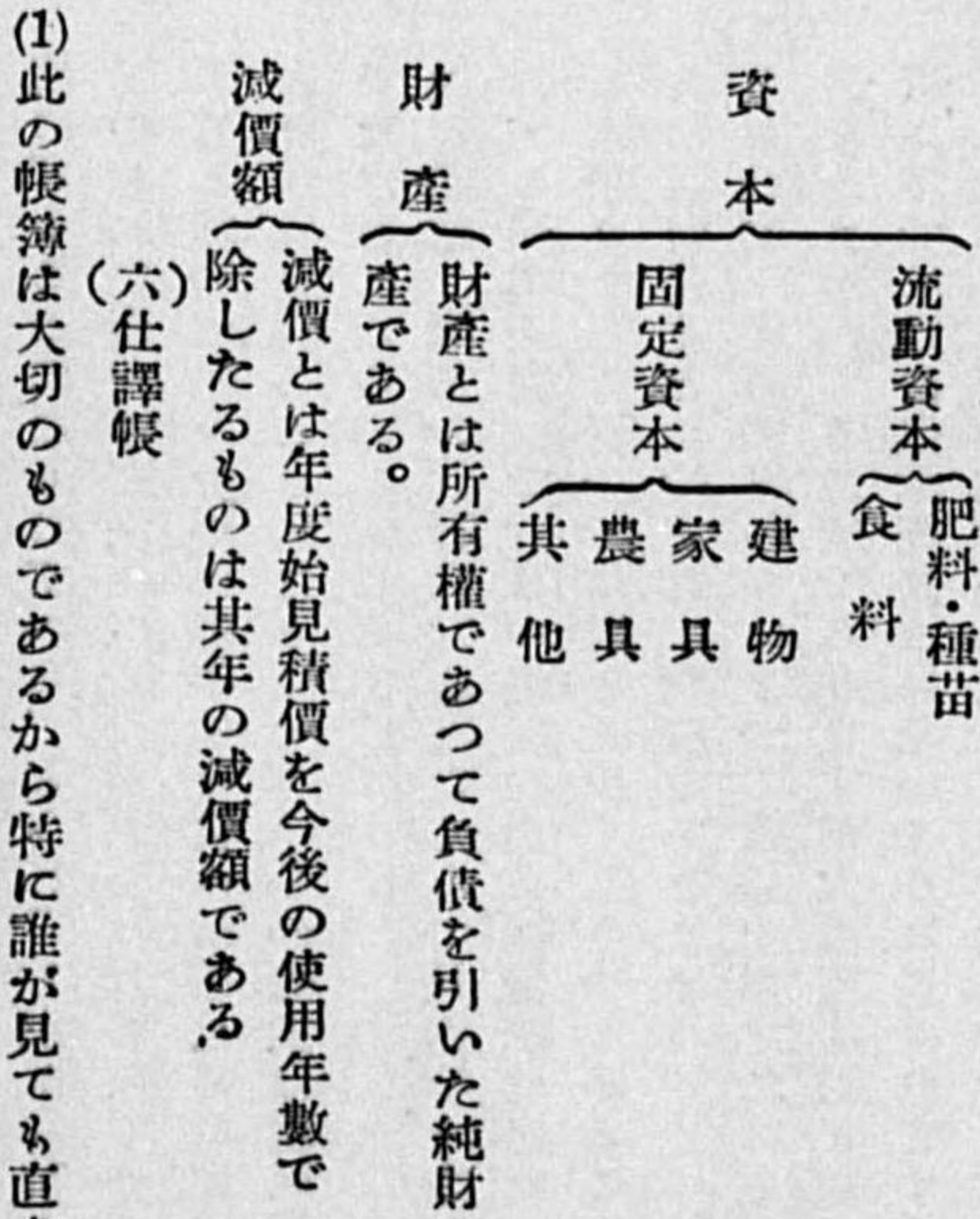
書く。

- (5) 當日のことは翌日に延ばさず必らず其日記入する。
 - (6) 多少仕事に差支あつても記入すること、それには一家の諒解を必要とする。
- (二) 金銭出入帳
- (1) 毎日の小使錢や小収入は忘れ易いものであるから注意すること。
 - (2) 月末毎に出入を計算して冗費がなかつたか、もつと節約は出来ぬかを考へ翌月の豫算を立て、行くやうにする。
 - (3) 初めから科目や種別等に分けないこと(熟練後にする)。
 - (4) 翌月末になつたら自分の豫算を立てたものとびつたり合致したかを調査し段々と合致するやうに工夫する。
 - (5) 財布と残高といつてもあつて居るかを見るために金銭出入帳には現金を記入する。
 - (6) 掛買の場合は別に覺帳に記入しておく必要がある。
 - (7) 熟達したなら月々のものを科目別に整理する。
- (三) 勞働帳
- (1) 一日に對する歩合で書く
 - (2) 従業者名農事家事別馬・動力の様式で記入する。
 - (3) 一日一行主義一ヶ月一枚で
 - (4) 従業者人は能率換算し其順に記入する。
 - (5) 作物別勞働調査は餘り小面積作付のものはない。

(四) 現物受拂帳

- (1) 現在の農産物は記入して置く。一品一口座主義を原則とする。
- (2) 受拂するものは麥・燕麥・馬鈴薯・其他(藥・堆肥・刈草)
- (3) 現物は年一回、金銭は毎月計算して決算すること。
- (4) 現物と受拂帳とは常に合しておく。
- (5) 科目・受入・拂出・残高は明瞭にし仕譯口座帳に計上するときは見積評價する。

(五) 財産及資本調



- る様に見出を付ける。
- (2) 口座は最も判り易くしておく。
- (3) 経営主が記載するやうにする。

(七) 決算表

仕譯帳がはつきりとさへしてゐるなら其計を寫しかへるやうなものである。
(簿記様式省略)

農業經營設計書

理想的の農業の經營をなさんとするには農業經營設計書を指針とし進まなければなりません。
其年に於て農業設計書と實際の經營とがびつたりと合致する様に練磨・攻究し増々農業經營の進展を計るのが眞の農業經營者でありませう。しからば農業經營設計書は如何にして作るかと云ふと其様式は大體差異もなからうと思ひます。

一、經營の種類

(一) 混同農業 各種の作物を耕作し一方家畜の飼養によりて收益を得る目的の農業經營法であります。此の經營法が最も安全でありまして若し天候不順で作物で思ふ様な收益を得ずとも家畜の飼養即ち乳牛の收益によつて生活も立てられるのであります。又同一の土地に年々耕作するのでありますから土地も脊薄となる一方で肥料を施すには金肥を思ふ様に使用しては生産費が多く、とても收支

償はざることになりますから、どうしても家畜(乳牛)を飼養して副産たる糞尿を以て代用しなければなりません。すると却つて年々土地は理學的性質の改善はされ肥沃となり増收を得ることになりませう。今の農家は混同農業でなければならぬと信じます。

(二) 主穀農業 家畜の飼養(乳牛等)なくして只作物一方を耕作する農業經營法で昔日の農家の農業經營法は之れに屬して居りましたが今では段々と少くなりつゝあることは右の混同農業と比較すれば明瞭でありませう。

(三) 主畜農業 家畜飼養のみによつて收益を得之れにより生活をなさんとする農家でありませうが大農家は別として中農以下では此の農業經營法はないやうに思はれます。今私は混同農業の設計書に就いて略説致しませう。

二、農業狀況(調査方法)

(一) 經營面積 經營面積は畑・田とに分ち面積を記し自己の經營面積を明かにして置くのが目的で勿論従業者數及能率によつて差があるのです。
(二) 經營地集散狀況 經營面積は農家により住宅の周圍に集合して居るものではなく一里或は三里位の遠距離に通ひ作をして居るものもあります。其狀況を調査し明かにするのが目的であります。耕作面積の狭い地方では多く通ひ作の者があります。

- (三) 地勢 農業經營地は平坦又は丘陵かを精査し作付利用の目的であります。
- (四) 土性 土性は粘質壤土・泥炭土等種々ありまして一家の農場でありまして一様なものでなく種々あります。
- (五) 乾濕 一年中濕潤勝の土地或は乾燥に過ぎる土地もあります。之れも自家の農場に對し調査して置いて作付計畫の利用に資する目的であります。

三、本年度の改善を施す點

- (一) 經營組織 自給自足を原則として多角型農業に努むる組織として行きたいと思ふのです。余り耕作面積は大きくしないで聚約的農業經營法を目的とし小面積より収益の増収法を考慮すべきでありませう。
 - (二) 養畜 乳牛等の増減飼養法等
 - (三) 土地利用地力増進 土地利用は輪作法を考へて作付をなすことが將來に於ける得策で一時の利益のみ拘泥せざるやうになし堆肥及厩肥により又地力増進に努力すべきであります。
 - (四) 生活改善 農家の生活改善は至る所で叫ばれて居るところであります。
- イ、衣食住 ロ、慰安娛樂 ハ、貯蓄等でありませう。
農家は他の企業家に比較するに實際驚くばかり生活程度の低いものでありまして生活改善をなさんとするには先づ増

収法を考へなければならぬと思ひますが産物の余り低廉な爲之れが一番難問題と思ふのです。

一般物價が一〇〇%騰貴しても農産物は六〇%しか上らぬし又一般物價が三〇%低落するとき農産物は五〇%低落する有様であります。

四、農場及作付略圖

農場と作付略圖は必要なことは論ずるまでもないと思ひます。一ヶの建物をなすにも設計圖によつて建築をなして行くと同様に是非必要のものであります。

五、輪作

五ヶ年間に亘る輪作法により肥料の節約地力の増進法を考へ純益の益々増加を計るに工夫しなければなりません。其他(客土・排水・灌漑・風防)

六、作付及生産計畫

之れは農場に對して作付面積(各種作物に對して)及生産數量並に總金額を計畫し又生産費(肥料・種苗)を計畫し差引残概算なすものであります。様式は後にあります。

七、養畜計畫

生産高・原料高の計畫であります。(様式は後にあります)
八、農家の所得及家計費
以上によりまして大體農家の所得は判ります。(概算所得)

之れより間接農業經營費を差引と農家所得が現れます。家計費は昨年度の簿記によつて大體の計畫に立てられるのであります。(以下省略)

實業補習學校に於ける 畜牛の飼養管理と將來の計畫

野村郡恩根内實業補習學校
川尻壽朗

- 一、我が郷土より見て實業補習學校に於ける畜牛飼育は必要なり (省略)
- 二、我が校の畜牛飼育狀況及其の計畫

- A 牛舎
1. 總坪數 十二坪(開口 四間 奥行 三間 南面方)
 2. 方位 南面方
 3. 位置 校舎の裏側二十米の距離
 4. 構造 (省略)
 5. 管理法 (省略)

B 飼料
飼料作付狀況は (省略)
C 我が校の實習地は之を三ヶ年輪作型式に則り地力の増進を計り且つ増收を目的として次の如き經營方針を取

つた。

- (1) 當校飼料耕作實習地作付狀況
- (2) 肥料の研究

a 麥類 (當地方開墾後年地として)
過燐酸石灰 三貫五百匁(村農會幹旋のもの)
堆肥 三百貫
右の三性分

堆肥	窒素分	磷分	酸分	加里分
一ノ百十匁	37%	一ノ九百五十匁	17%	一ノ八十匁
四百五十匁	17%	一ノ八十匁	36%	

尙地力を持続増進せんためには必ず反五百ノ堆肥が必要なり。

h 牛一頭に就き出来る肥料

排尿量(一日五升—六升) 一年十七石—
融雪後一回撒布
刈取後一回

排糞量(一日十三、四貫) 一年五千貫
野草日量 十五貫
青刈日量 十二貫
但し畑のうち堆肥の行き渡らざる場所はクローバーのすき込みにて補充すること。

3) 生徒作業狀況

クリームとして販出し得らるゝまでになしたいと考へてゐる。

- 分離器 十型一 二〇〇圓位
建築費 十二坪 二〇〇圓位(原野として)

三、兒童と榮養の考察

参考までに我が校下の兒童及生徒あるのみの戸數八十五戸(兒童及生徒百六十五人)に就き生活程度を考察したる結果

- 食量
- 一、米のみを食する家 一戸
 - 一、(半分半分)麥稻黍 四戸
 - 一、米を二分を食するもの 十三戸
 - 一、全然米を食せざるもの 六十戸
 - 一、半年はヨモギ及ソバの 二戸
 - 二番粉を食するもの

農家に於て一戸平均三俵—四俵の米は購入するも之は盆正月法事祝儀等に消費す。

右の有様にて大分の生活程度はうかゞはるものなり。然し校下農家の主食物の榮養價値に就いて調査してないが兎に角兒童の榮養の不足せる事は勿論である。然らば當校に於て乳牛を飼育し兒童に提供する事は當地として最も時宜に適した事と思ふ。脱指乳の飲用も良からん。

補習學校生徒にして幾何の耕作成功に可能なりやを研究

- 一生徒當り 七畝歩
全生徒制當 二町八段

- イ、開墾 一日 五反の割で四日—六日 六組十二人
- ロ、ハロー 一日 一町歩の割で二日 三組 六人
- ハ、スヤ切り 三日 三組 六人
- ニ、蒔付 後殘全部
- ホ、除草 一日 一人七畝の割で三十人で二町歩
- 三回 除草器使用 (一日一町歩平均)
- ヘ、刈取及收穫

本實習場は莖葉を利用する作物が多い爲め刈取のみにて調製を要する作物が少い故生徒が二日間の作業に依つて完了す (一日七時間労働平均)

(4) 課定表の作製

右の如き生徒作業を課するには其の時間の課定表を注意して作製せねばならぬ。

(5) 牛乳の處置考察

右の如き計畫に依り三十人及至四十人の補習學校に於ては畜牛三頭は飼育し得る計畫である。而して其の乳量一日平均一斗二升として四ヶ月全校生徒一日八勺の牛乳を與へ得る見込みである(同校生徒數百五十八)。

尙 全校下に乳牛が普及徹底すれば分離器を購入し、

四、産業五ヶ年計畫の必成と補習學校の任務(省略)

魚類燻製法

利尿郡鷺泊水産青年學校
堀川 徹

一、燻製の沿革

燻製品は十四世紀頃既に歐羅巴方面に知られ主として獸肉に利用せられしが漸次魚類にも及びし各國共自國內消化を目的として製造され、現今に於ては著しき進歩をなしつつあり。

原料は主として、鯀、ハドック等を用ふるも其他あらゆる種類の魚類に利用されつゝあり。

本邦に於ても最近漸く發達の過程にあり、一般の嗜好も之を歓迎しつゝあり將來共斯事の發達は期して信ぜられる處なり。

一、貯藏法としての燻製の目的

燻製の目的としては二つの意義あり。一は乾燥に依る貯藏であり一は燻煙による調味である。往々にして燻煙は魚體に附着せる細菌を撲滅し、以て貯藏の目的を達すると信ずるものもあるも、燻製品の貯藏に堪へるは主として乾燥に依る爲である。只僅に燻煙中に含まれる醋酸・酪酸・石炭酸・

「クレオソート」・「フォルムアルデヒド」等の少量が、燻煙中に、魚體の表面に附着せる細菌の繁殖を防ぎ、更に肉中に浸透して食鹽と共に多少の防腐力を附與するに過ぎず。要するにその目的とする處は燻煙により乾燥し以つて貯藏の目的を達すると同時に芳香を與へんとするにあり。

二、燻煙中に於ける細菌の死滅状態(省略)

三、燻製法の種類

一般燻製法は大別して二種とされる。一は冷燻法と稱し華氏七十度前後にて燻乾するものであり、一は温燻法と稱し華氏百度より百八十度迄に上昇するものあり、その燻乾温度より思考するに寧ろ前者を温燻法後者を熱燻法と稱するが至當ならずやとも考へられる。

冷燻法は華氏七十度前後にて三週間内外燻煙し製了す。この方法に依れるものは本道に於ける一般燻製鯀・鮭にしてこれは長期の貯藏に堪へるものである。

温燻法は華氏百度乃至百八十度内外の高温にて一週間前後短きは三時間位にて製了す。従つてこの製品は冷燻法に依るものゝ如く乾固せず従つて長期の保存に堪へざれども、其の味は冷燻法製のものより美味なるは論を俟たざる處である。

歐米に於ては冷燻製よりも温燻製が賞味せられ従つて需要も多きが只長期の保存に堪へ難ければ鮮魚同様に取扱は

る。

依つて本法に依り製品を製造せんとせば消費都市に近接し原料運搬に圓滑の地點なるを要す。

本製品を長期に保存する爲罐詰となしたるものも甚だ美味なり。

冷燻製品は温燻製品に比し味劣れるも長期の保存に堪へ且本邦一般消費者も温燻製品よりも冷燻製品に對しその味覺を知る故、一層發展の可能性あるやも知れず。

何れの方法に依るも鯀其他魚類の燻製品の味覺を普及しその消費を喚起することは徒に榮養價大なる魚類を單に魚粕に製造するに比較し國民保險上より見て又經濟上よりしても重要なことなりと信ず。

四、鯀燻製

(詳細は頁数の都合に依り省略した。依つて希望者は同校へ照會せよ)

養兎に就て

春日實業補習學校
吉村直愛

- 一、養兎に對する現下の狀勢
- 二、飼育簡易

三、學校經營と養兎

四、經濟的價値

一、兎毛皮の利用(防寒用)

ロ、兎肉

ハ、其他の用途

五、種類

六、飼養及管理

養蜂

勇拂郡鷺川農業青年學校

圓子嘉次郎

はしがき

一、創飼の動機

一、大正十年七月一青年の勸誘によりて。——不安のため一旦辭退。

ロ、理科教授の參考資料に見學を申込み。

ハ、見學の結果

不安の解消。用具の簡單なること。作業の容易なること。趣味あること。

ニ、購入申込。

二、失敗(書籍によりて不正種蜂と判明)

- 1. 實地指導する條件を履行せず。
 - 2. 質問に對する満足な應答を得ず。
 - 3. 種蜂の不完全。(處女王蜂)
 - 4. 巢箱の不正。
 - 5. 越冬法も口述せるのみ。
- 三、研究の必要痛感。
- お先きが眞暗であるから不安に堪えない。系統的概念だけでも欲求する念むらむらと我が胸に迫る。書籍を求む。佐藤勝四郎氏著副業養蜂。絶版と聞いて落膽。某氏に苦衷を訴へて該書を借りて一讀しました。

養蜂

- 一、文明と養蜂
 - イ、養蜂と文明に伴ふ生産業。
 - 文明的甘味料を生産。(文明に伴ふて消長ありと)
 - ロ、養蜂は文明の義務を負担する業。
- 二、養蜂の利益。(趣味と實益)
 - イ、飼料が要らぬ。
 - ロ、建物が要らぬ。
 - ハ、土地が要らぬ。
 - ニ、取扱に労働者が要らぬこと。
- 間接の利益
 - イ、衛生上無害有益なること。

- ロ、生産物の處分容易なること。
- ハ、農作物の結實を助くること。
- ニ、文明的甘味料を得らるゝこと。
- ホ、吾々人類の参考となること。

生活状態

各自の分を守ること。
貯蓄心に富んでゐること。
一致團結
家を守り子孫の繼續。
一族相扶け相和して秩序を亂さぬこと。

蜂群

- 三、養蜂と植物 (省略)
 - 一、蜂群の組織 (省略)
 - 二、蜂群の獨立 (省略)
 - 三、蜂巢の構造 (省略)
 - 四、蜂群の一族 (省略)
 - 五、蜂群の慣習 (省略)
 - 六、蜜蜂の一生 (省略)
 - 七、養蜂業 (省略)
 - 八、巢箱 (省略)
 - 九、器具 (省略)
- 蜜蜂の飼養
- 一、蜜蜂取扱の心得
 - 1. 蜜蜂を取扱ふには靜かにすべきこと。

- 2. 蜜蜂を取扱ふには手早くすべきこと。
- 3. 蜂の出入を妨げざること。
- 4. 煙煙は蜂を赫し又は酔はしむること。
- 5. 王臺のある巢脾を取扱ふには特に注意すべきこと。
- 6. 王蜂の居る巢框は取扱上大いに注意すべきこと。
- 7. 蜂を押し殺さぬ様取扱ふこと。
- 8. 取扱者は蜂を恐れざること。
- 9. 取扱者は蜂の性質を辨ふべきこと。
 - イ、種類によつて蜂の性質に相異がある。
 - ロ、季節によつて性質に變化がある。
 - ハ、天候によつて性質に變化がある。
 - ニ、蜂の老若によつて性質に變化がある。
 - ホ、蜂の境遇によつて性質に相異がある。

二、蜜蜂取扱の方法

- 1. 王蜂の検査。
- 2. 巢箱の掃除。
- 3. 越冬群の検査。

蜜蜂の管理

- 第一、春の管理
 - 1. 餌を與ふること。
 - 普通砂糖(黄ザラ)一斤に温湯三合位文火にかけて酒石酸少量及蜂蜜若干。

- 2. 蜂の働きを奨励すること。
- 3. 出初時の手當。
- 4. 巢箱内の温度を保たしむること。
- 5. 蕃殖採蜜群の手加減。

第二、夏の管理

- 1. 轉地飼養すること。
- 2. 日被を設くること。

第三、秋の管理

- 1. 雄蜂を去除すること。
 - 2. 晩蜜を採取の善惡。
 - 3. 秋分封の善惡。
 - 4. 弱群を合同すること。
 - 5. 越冬用の蜜を給すること。
- 約一萬羽一日八・九匁、越冬期百日、蜜一貫匁。

四、冬の管理

- 1. 越冬準備をなすこと。
- (雪五寸外氣の温度華氏の三十度以下なるとき)
- 2. 越冬中の手當。
- (華氏四十度四十五度あれば經濟的なること)

蜂群の整理

- 一、大群の整理

1. 分封の處理法(働蜂 三四千羽)

獨立の要素(王蜂 一羽)

雄蜂 數十乃至數百

自然分封させぬこと。

人工分封 王臺に蓋をしてから行ふべし。

2. 分封防止法

繼箱を用ふるもの。

雄蜂房を取除き王臺を切り取るもの。

無分封装置。

二、小群の整理

弱小なる原因は無理なる分封による場合多し。

合同 弱小なる群。王蜂の不良。

合同法

イ、煙煙合同法 ロ、金網合同法 ハ、夜間合同法

ニ、撒粉合同法 ホ、藥品合同法

三、無王蜂の整理法 (無王蜂) (不良王蜂) 王蜂誘入法

(王蜂籠を要す)

蜜蜂の越冬法

一、越冬の要件

1. 小群とならざること。(五千羽以上約一斤)

2. 蜂群に相當する貯蜜のあること。

八千乃至一萬羽 越冬期百日間には蜜一貫匁、越冬期百五

十日間には蜜約一貫五百匁。一日約十匁。

3. 王蜂善良にして働蜂若きこと。

4. 巢箱の完全なること。

5. 寒濕に對する保護を充分にすること。

6. 巢門を適宜にして空氣の流通を計ること。

7. 靜かで暗くなければならぬ。

二、越冬の方法

1. 室内越冬法(専用越冬室)

2. 室内越冬法

3. 普通室内越冬法

4. 普通舍外越冬法

5. 埋藏越冬法

蜂蜜

一、花蜜と蜂蜜

水分	果糖	葡萄糖	蔗糖
花蜜 六〇—九〇%		一二・二九%	一二・二〇%
蜂蜜 一〇—二五%	三八・六五%	三四・四八%	〇—一〇%

二、成熟蜜と不熟蜜

熟蜜は二週間を要す。濃度四〇度乃至四二度。

三、蜂蜜の利用

- 1. 薬用
- 2. 甘味料
- 3. 漬物料
- 4. 化粧料
- 5. 蜜蠟

四、採蜜期間

本州四國九州の各地方では四・五の二ヶ月間。本道では六・七・八の三ヶ月間で養蜂界は恵まれてゐる。それ故養蜂家は本道へ移動養蜂をなす。

昭和八年の移動養蜂、二萬群、收量價格二十萬圓といひます。(昭和八年九月六日北海タイムス参照)

むすび

一、農業と養蜂は不離の關係

蟲媒花は自然に發する蜂や蝶の花粉の媒介に依つて結實を完うしてゐます。氣温の不順の年には蜂や蝶の發生が遅れたり其の數も少い様であります。従つて農作物の結實も思はしくないことがあります。熱心な農家では人工交配をしてゐます。それを補ふためにも養蜂が必要であると存じます。

二、蜜源(蟲媒花)のあるところには蜂群の飼養が可能であります。

三、前記の如く花粉を媒介するのみならず文明的甘味料である蜜を集めてきてくれます。

四、前にも申述べたやうに

- 1. 徳義心
 - 2. 經濟思想
 - 3. 貯蓄心
 - 4. 職務忠誠
 - 5. 友愛
- 等の精神方面まで參酌するならば私共が大いに教へられ

るものがあります。

五、氣温との關係

華氏五十度以上の温度に達すれば活動を開始します。

六、頗る杜撰な研究發表で皆様のお耳をけがし且つ貴重な時間を費したことをお詫び申します。

蕃茄の結果に及ぼす目傷並に剥皮の影響に就て

男拂郡厚真中央青年學校

竹澤 潔

一、はしがき

双子葉植物の莖内の養液の通路としては木質部と韌皮部とはその作用を異にして、木質部は根の吸収して送り來る粗養分即ち無機鹽類の溶液を上昇せしめる通路となり、又韌皮部はその篩管細胞により同化濃粉の溶液の通路となり兩者共普く體の各部への養液の運送を司る。これによつて莖を環狀に剥皮して外皮と共に韌皮部をとり去る時は、剥皮部より上部の同化濃粉を停滞せしめて果實の成長を促す事が可能である事は人のよく知る所である。此の技術は主として葡萄等に行はれてゐるが草本の種類に關しては寡聞の

ため未だ多くの実験を聞かない。実験者中にはダニエル・ヘドリック・ステンパウナー等の諸氏があるが、何れの実験者も餘り認むべき効果は無い様に報告せられてゐる。これは要するに草本一年生植物では根群に於ても果實の生育結果と共に葉の同化澱粉を利用し葉の同化澱粉を利用し發達するものである爲に環状剥皮を行ふとその同化澱粉の移動を阻止して、根群の形成發育に影響すると共に地上部も根群の土中より仰ぐべき養水分の供給が遮断されるのに原因すると見なされてゐる。

私は昨年一月に此の実験報告を得たのであるが、昭和七年に偶然この方法を改善した如き操作を行ひ熟期に於て五―七月を促成せしめる事を得た。それについて正確度を検討する必要があつた爲、昭和八年更に稍精確な方法によつて実験を試みた。その実験觀察は殆ど餘暇的に行はれた

播種	發芽	本葉發生	第一回移植	第二回移植	第三回移植	定植	摘心
四月四日	四月九日	四月十八日	四月十九日	五月一日	五月十六日	五月三十日	八月一日

ものであるし、試験圃も厚真中央小學校實習場に設け兒童にも秤量、記録をなさしめたもので、幾多不備の點も存する事と思はれる。果して効果ありとする事は難いが、茲に一實驗成績として諸賢の前に披き充分なる御批正を乞ふ次第である。

二、栽培経過の概要

試験に供した品種 札幌トマト
 栽培距離 畦幅一米株間七〇糎
 各區面積 五平方米 一區本數 八本
 施肥量 1/10 ha 堆肥一五〇〇斤 糠粕 二五斤
 過磷酸石灰 二〇斤 藁灰 八斤
 土質 浮石を含む砂土 地下水地表より二〇米の高
 丘地にして南面傾斜地
 栽培曆

剥皮及目傷の施行部位及其の時期

施行部位は凡て地表と第一果梗の間とし莖の周圍全部を
 行はず〇・八一―〇糎の長さとし三分の一周位に行ふ。
 第何果梗結實後とあるのは、凡て第何果梗の頰の直徑二

―三糎に發育した時に剥皮又は目傷を施行した事を現はす。
 剥皮及目傷は何れも切出しを用ひ外部の柔軟部に對してのみ行ふ。

三、實驗成績

生育結果の状況

區順	區別	草丈		第一果梗開花始	收穫始日	收穫終日	試驗區收穫總重量	試驗區總數	1/10 ha當收穫總重量(貫匁)	病蟲害	
		定植二日後	定植五日後								
一	剥皮目傷を施さず	一二・七	一一・一	三	六月十九日	八月六日	九月十三日	一四、一四〇	一七五	七五四、〇〇〇	果頂腐敗ありき
二	第一果梗結實後剥皮を施す	一二・四	一一・七	五	"	"	九月十二日	一七、三五〇	一八一	九二五、八〇〇	"
三	第一果梗結實後目傷を施す	一二、八	一〇三、三	"	八月一日	"	"	一七、〇三〇	一七八	九〇八、二〇〇	"
四	第二果梗結實後剥皮を施す	一〇、八	九三、五	"	八月四日	九月十一日	九月十一日	九、二一〇	一二五	四九一、二〇〇	"
五	第二果梗結實後目傷を施す	一二、〇	一〇六、三	"	八月二日	"	"	二〇、八七〇	一七六	一一三、五〇〇	"

備考

- 一、果頂腐敗病の頰は算入せず。
 - 二、頰の收穫期は何れも所謂ターニング(Turning)の状態に達したるものは標準とせず充分成熟を莖に於て行はせ色を發現せしめた。
 - 三、實驗區中第四區は病害稍多く、第五區は生育當初から稍環境が良好であつた。
- 此の結果を考察すると次の如くである。
 一、目傷及剥皮を施行したものは施行せざるものに比して收穫は大である。

- 二、成熟日数は第一區の四十九日に比し第三、五區は夫々五日又は四日促成なし得た。
 - 三、目傷を施すものは剥皮を施すものに比し、又施行時期は早きよりも遅きものが良好である。
- 次に更に收穫時中の状況を表出して見る。(成績表省略)

五、結び

以上の實驗成績を綜合して考察すると結局第二果梗結實後に於て目傷を施したものは收穫の増加並促成の目的を果す事が最も可能であつたわけである。

稻象の研究に就て

茅部郡河川青年學校
泉 則 義

一、農作物害蟲の驅除法につきては

當地方は大正十年來造田の實施を見たるものなるが其の後漸次害蟲の發生を來たし、其の被害少からざるものあり、往年之れが爲め一時農家の收穫を殆んど皆無ならしめたることもあり。就中夜盜蟲・どろつと・螟蟲・青蟲うんか・稻象の如きは被害最も大なり。之れが驅除法の研究は當然なさねばならぬ。之れが驅除法の如何につきては農家の經營上由々しき問題なれば今日尙幾多苦心考慮せられつゝある處なり。されば今茲に稻象に關する研究の一端を發表し敢て參考に共するものである。

二、農家經營の實際狀況より見て左の三要件に基づき研究の方法を進めたり。

1. 害蟲驅除は經費及勞力の節約せらるべきこと。
2. 最も簡單にして實行し易き點を考慮すること。
3. 害蟲發生經過を審にし、之れが習性を充分調査すること。

三、稻象に對する研究の一端

イ、發生經過

稻が水田に一寸―二寸の伸長を見たる場合葉を喰ひ切りて莖部内に産卵する、冬季稻株に於て成蟲(幼蟲)となりて春を待つ。耕作せらるゝと同時に田の畦や、枯木の蔭に潜居し、水稻の伸長期を待つて産卵をなす。

ロ、習性

暖氣を好み午前の九時以前は草蔭や土中にあるも十時頃に至り暖氣を待つて出づ。されど一度出ても東風が吹けば再び草や土中に入る、彼は暖氣によつて活動せらるゝものゝ如き習性を認む。

ハ、驅除方法

發生經過によりて存在を知り習性によりて之れが驅除の方法を考ふ。

蘆を中節を付して上下六寸位に切り之を畦際に二尺位の間隔を離して水中に立て蘆の中に入りたるものを日に二回乃至三回巡りて捕獲して驅除すること。
男女老幼にても容易に實行が出来ること。

早生甘藍の採種法に就て

有珠郡伊達實業專修學校
佐々木勝治

一、はしがき

層細心なる注意を必要とします。

甘藍原種採種に當つて先づ母本を育成しなければなりません。母本は晩秋に收穫し球葉完全にして損傷なきものを選び翌春まで貯蔵するのであります。それで早生甘藍は生育期間が短きため普通早熟栽培地より母本選擇しやうとすれば秋期母本貯藏期までには球葉破裂し又は腐敗して母本として用ふる事が至極難かしいので母本育成の場合に普通栽培時期より遅らせなければなりません。それは此の播種期と破球との關係は其の地方によつて多少の相違はある筈ですから充分研究する必要があります。

札幌附近にてはコペンハーゲン、マーケット播種期を六月上旬頃にしたのが最も良い成績を表してゐますが當地は氣候の關係上破球率を少くする爲め六月下旬を最適として居ります。(成績表省略)

右の成績によつて當校にては早生種コペンハーゲン、マーケットは六月二十五日以後を標準としゴールデンエーカー(早生種)は七月上旬を標準として播種してゐます。

普通播種期による中生種晩生種の結球期は前者にありては九月上旬後者にありては十月中下旬であるから播種期を遅らしめ中生種にありては六月上旬(本年は六月七日播種)晩生種にありては五月下旬頃播種するのが良成績を示してゐます。

北海道に於て甘藍は到る處に栽培されて居りますが本道産の種子は極く僅少で其の大部分は原産地から求めたものか或は他府縣産のものであるのみならず品種が統一してゐないものが多い様で御座います。

それでは本道で甘藍の良い種子が採種出来ぬかと申しますと決してそうではありません。私の此れ迄の經驗によりますと採種量も相當多く又それによつて生産された甘藍は美事の前來榮で原産地や他府縣産のものに優るとも決して劣らないので本道にても甘藍採種は容易であると確信を得ました。

北海道廳にても甘藍採種に力を入れ今年より甘藍(コペンハーゲン、マーケット)の採種圃を伊達町に設置せられました。私の意見としては各學校に於て採種圃を設けて採種方法の實習指導は勿論地方農村啓蒙の爲め是非必要があると信じます。私は茲に甘藍採種特に早生甘藍の原種採種方法について從來の實驗の一端を述べて諸賢の御批正を乞ふ次第であります。

二、採種法の種類

(1) 母本採種法

甘藍の種子を採種しやうとするには是非原種の採種をしなければなりません。原種の採種は申し上げる迄もなく何れの作物でも至難であります。特に十字花科作物に於ては一

これは當校の試験によるものですから他地方にては氣候に應じて適宜斟酌する必要があると思ひます。次に母本を選

- 一、品種固有の特性を具備するもの（單に外觀の美のみ標準を置かず品種の特性を顧みる事）
- 二、結球完全なるもの
- 三、病蟲害に犯されざるもの

以上の點によつて選擇せる母本は根付の儘貯藏致します。

（貯藏法につきましては後記参照）

(2) 萌芽採種法

此の方法は普通早熟栽培の面積中より理想的な球葉で最も早く結球したものを選びまして普通の様子に收穫致しまして其の收穫した切株の葉腋より萌芽したものを利用するのであります。若し球葉を收穫しました所から腐敗してきま

耕種の概要

一、土質	砂壤土
一、栽培面積	一アール
一、供試品種	コペンハーゲン、マーケット。
一、施肥量	堆肥一八七・五kg 魚肥二・二五kg (五〇貫) (六〇〇匁)
一、栽培距離	畦幅六〇糎 株間六〇糎
	過磷酸石灰一・五〇kg 下肥一・二五kg (四〇〇匁) (三〇貫)

したら其の部分に土を覆ひますと萌芽した基部から發根しできます。かくして晩秋になつてから其の儘翌春まで貯藏し翌春になりましてから健全なる萌芽三本（普通三・四本が可し）を残して採種圃へ定植し其の後は追肥培土其の他管理を行ひ萌芽より抽苔採種して見ましたが採種量は少なかつたのですがそれによる球葉は決して原産地に劣らぬ良成績を示しました。

然し乍ら甘藍の採種に最も良好な方法は母本採種法であると稱せられて居りますが母本採種による種子と原産地の種子と同日に播種し左記耕種概要表によつて同じ方法で栽培して比較試験を行ひましたが地種の方は原産地の種子によつたものよりも球葉の總收量に於て稍多かつたのですが、少々成熟期の遅れたのが遺憾の點でした。

原産地種子と母本育成による種子の比較試験

種	類	播種期	發芽期	第一回移植	第二回移植	定植期	收穫初	收穫終り	收量
原産地種子	三月十八日	三月二十五日	四月四日	四月十五日	五月九日	六月二十三日	七月七日	四六四・八六八七五kg (一二三・九六五貫)	
當地にて母本育成によつて採種せるもの	三月十八日	三月二十五日	四月四日	四月十五日	五月九日	六月二十八日	七月九日	四七八・一六二五kg (一二七・五一〇貫)	

右の成績によつて見ますと地種は原産地のものより總收量に於て一三・二九三七五kgの増加を見ましたが收穫期に於て五日遅れたのであります。僅か五日の遅れと言ひますが一日を争ふ蔬菜販賣上に於て實際生産者の打撃は甚大なものと痛感する私はこの缺點を除く事に就て種々調査して見ましたが母本育成は普通播種期より遅れさせる爲めに甘藍の球葉は普通播種期によるものよりも大きくならないで結球する爲めに其の品種特有の性質を充分鑑別する事が

不充分的な點でこれが爲め容易に且つ最も理想的で原産地の種子に劣らない早きものを得る事が出来たならばと考へまして此の萌芽法による採種法を試験的に行つた譯であります。次の試験表が示す様に案外の好成绩を得て原産地より輸入する種子よりも發芽歩合もよく、又統一した品種の特性を表し收穫量の増加並に促成の目的を果す事が出来ました。

種	類	播種期	發芽期	第一回移植	第二回移植	定植期	收穫初め	收穫終り	收量
産地原種子	三月二十日	三月二十六日	四月六日	四月十八日	五月十一日	六月二十五日	七月十日	四六二・二四三七五kg (一二三・二六五貫)	
萌芽法によつて採種せるもの	三月二十日	三月二十六日	四月六日	四月十八日	五月十一日	六月二十二日	七月六日	四七五・七四七五kg (一二六・八六六貫)	

備考 供試品種、早生種コペンハーゲン、マーケット。

栽培面積一アール。

栽培距離畦幅六〇糎株間六〇糎

(3) 挿苗法

此の方法は球葉收穫後切株の葉腋より萌芽しましたものを生育中に古梢部を附し切り取りこれを土壤中に挿苗するのであります。土質は粘稠な所は川砂を入れ充分排水を良好にし最初十日間位は日覆をしてやりますと發根してきます。管理中最も注意する事は灌水であります。灌水に充分注意しますと腐敗致します。土質が排水良好で灌水に充分注意する時は露地にも發根生育させる事が出来ます。かくして發根生育して來ましたら施肥し充分なる發育をなさしめて晩秋になつて貯藏し翌春になつて採種圃へ定植し抽苔採種するのであります。この方法は良好な苗を一株より八本乃至十本選び育成すれば母本による採種法位は採種量もあります。(萌芽法・挿苗法の採種の場合細側枝の摘心は必要でありますが略します)此の方法によつて播種したものは球葉も決して劣らぬのであります。此の挿苗法は猶研究試験中でありまして前二方法と比較しての成績は本年度採種せるものによつて得んとして居ります。

三、貯藏法 (母本貯藏法)

選擇せる母本は根付の儘貯藏致します。貯藏の場所は排水良好で日光透射充分にして春季雪融の早い所を選びます。貯藏法には北海道農事試験場奨励方法による小屋掛貯藏法

が最も良いのであります。それは幅九〇糎深さ約三〇糎長さ適宜に土地を堀つてこれに根付の儘三列に植へ其の上に丸太を組合せ更に燕麥稈類を以つて覆ふて簡單な小屋掛の装置を致します。

伊達地方の様な積雪の少い所ではもつと簡單な方法で完全に貯藏する事が出來ました。それは排水良好な土地を幅三〇糎深三〇糎掘り下げその溝に甘藍を植へ其の上に丸太を横にのせ、麥稈類を上げて覆土するのみで腐敗せず完全に貯藏する事が出來ました。

四、定植

貯藏した母本は翌春雪融後之を取出し健全なるもののみを選んで球葉の頭部を十字形に庖丁にて淺く切目を入れ定植致します。定植距離は畦幅、株間共に七〇糎位に致します。猶甘藍は雜交し易いものでありますから隣接地に於て花柳菜羽衣甘藍類の様なもの採種を行ふ事を絶対に避け同一地には一品種のみ採種を行ふ様注意しなければなりません。最も完全な原種の採種には選擇せる一株より採種する様にしたならば品質の良好なもののみが出來るのであります。更に雜交を防ぐ方法として金網室を設けてやる事は最も必要であります。金網の目は五厘以下のものでなければなりません。金網は最も理想的ですが高價なものでありますから金網代用品として古蚊帳にても充分であります。

當校にては金網代用品として防蟲網を利用して採種圃に用ひて居ります。

五、採種

定植後は普通栽培法と同じ管理を行ひますが其の内でも培土は特に厚く致します。かくて開花は六月上旬頃であります。風に倒されない様に支柱を與へます。

八月中旬頃莢が黄變して參りますから過熟しない内に刈取りまして充分陽乾の後脱粒致します。脱粒したものは篩にて選別し更に唐箕によつて精選致します。

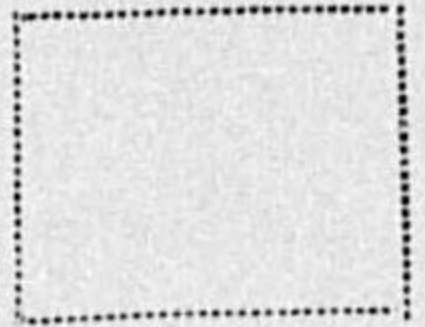
採種量は其の年の天候によつて多少の増減はありますが當校にての採種量(昭和八年コペンハーゲン、マーケット)母本育成によつて採種したもの一株より八・五勺、萌芽法は一株より六・五勺、挿苗法は一株より六本用ひたもの七勺で御座いました。

六、結び

以上の實驗成績を綜合して考察しますと採種量の最も多いのは母本による採種法で此の方法は最も良好であります。播種期を遅らせて母本を育成せねばなりません。萌芽法挿苗法による時は普通栽培地の大面積より理想的なもの最も早熟なるものを選択採種する事によつて收穫増加並に促成の目的を果すことが可能であつたわけでありまして、各方法とも一長一短は免れないものであります。今後益々研究に

精進し品種の統一を計ると共に他の蔬菜採種改良にも及びたく念ずるものであります。

昭和十年七月十五日印刷
昭和十年七月二十日發行



青年學校施設經營の實際

定價金貳圓八十錢

編纂者 北海道廳

東京市麹町區飯田町一丁目七番地

發行者 北海出版社

代表社員 石田磊三

印刷所 東京市神田區猿樂町二丁目十番地
岩見印刷所

發行所 合名 北海出版社

東京市麴町區飯田町一丁目七番地
電話(九段)三三九〇九番
振替口座東京三九三七七番
札幌市南二條西十二丁目
電話三五〇六・二二七二番
振替口座小樽二二七〇七番

272
48

終

